週刊朝日

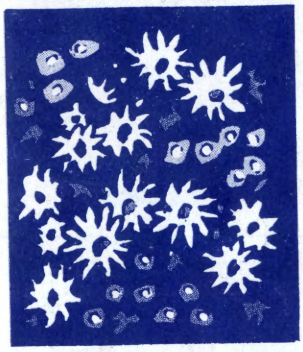
10月14日号

定価30円

大正十一年三月二十五日第三種郵便物認可通巻一千六百六十五号（日曜日発行）昭和二十六年十
昭和二十四年三月二十八日日本国有鉄道特別扱承認雑誌番号第二一〇六

只今売出中の

三福定期



カラクジなしの総花

その中に咲く

50万円の大輪咲

三和銀行

1口千円・期間6ヶ月・全国185の本支店でお取扱い

秋深し 感冒 肺炎に

"第一"のダイアジン

テラジアジン

フトした風邪もこぢらすと恐ろしい肺炎にもなります。テラジアジンは単なる解熱剤やいわゆるかぜ薬と異り其の強い効果は既に定評です。テラジアジンで徹底的な治療を致しましょう。（御使用には医師の指示を受けて下さい）

感冒・肺炎・扁桃腺炎・悪性下痢・淋疾・化膿症

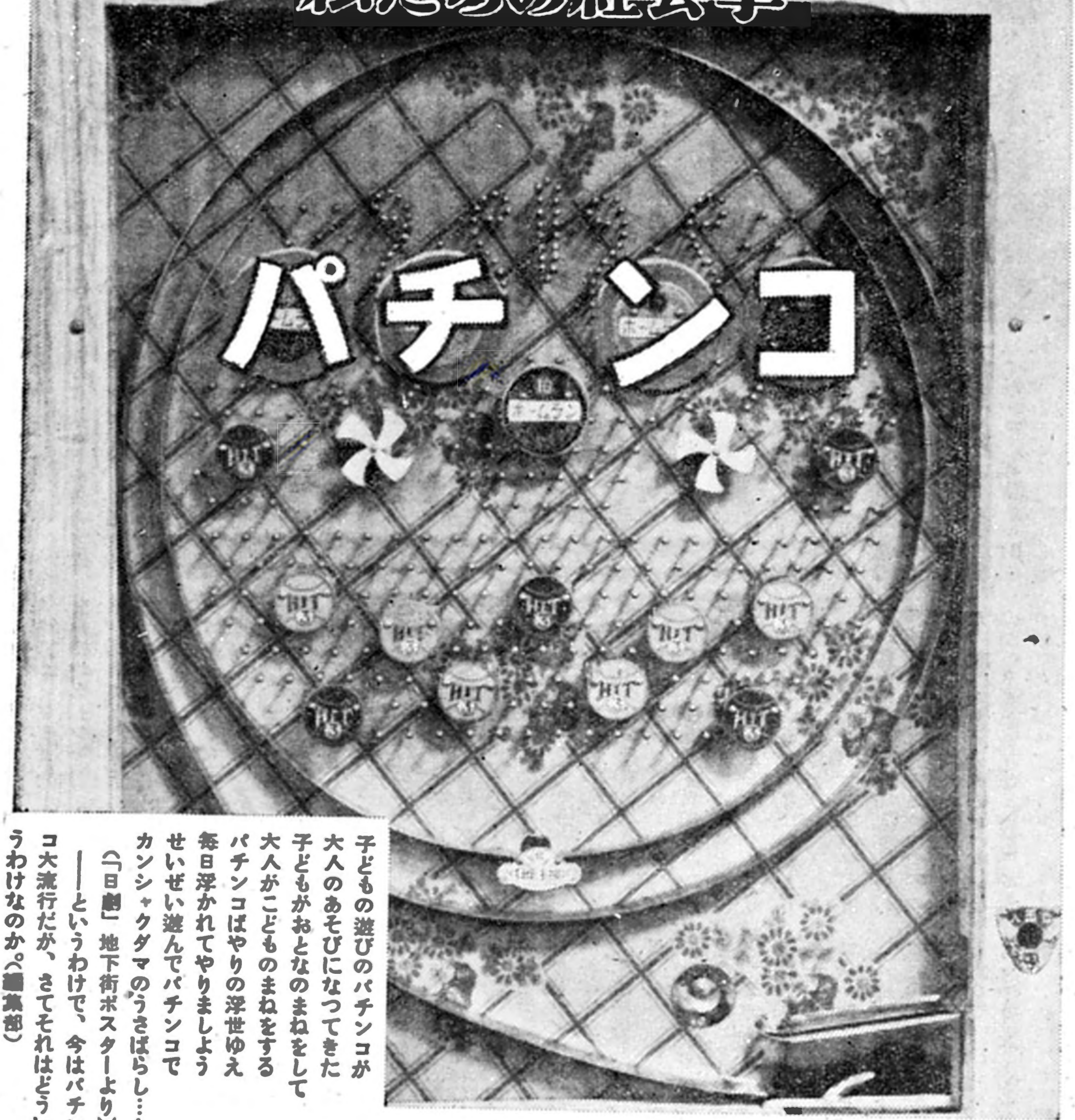
10錠 200円　100錠 380円

第一製薬株式会社

東京日本橋・大阪道修町・福岡下祇園町

私たちの社会学

パチンコ



子どもの遊びのパチンコが
大人のあそびになってきた
子どもがおとなのまねをして
大人がこどものまねをする
パチンコばやりの浮世ゆえ
毎日浮かれてやりましよう
せいぜい遊んでパチンコで
カンシャクダマのうさばらし……
（「日劇」地下街ポスターより）
――というわけで、今はパチンコ大流行だが、さてそれはどういうわけなのか。（編集部）

目次

10月14日号

表紙「美粧室」　渡辺阿以湖

〰パチンコ社会学〰
・パチンコ必勝法……3
・パチンコの力学……5
・パチンコ経済学……6
・パチンコ攻防戦……8
・パチンコの哲学……9

「パリー東京―パリ」②

アヴェック風俗……ギラン……16

三新聞社の入社試験……12

ニュース・ストーリー
戦後派小遊侠伝……砂津角夫……34

放言（7）　画　市川笑猿（18）

（グラビア）
嬖を語る……井口基成……20
今日の群像　女流文学者会……30

問答有用　第31回
夢声対談・服部良一……24

三大連載
現代小説　夏子の冒険　第11回　三島由紀夫　猪熊弦一郎・絵……36
新・平家物語　第80回　吉川英治・杉本健吉絵……51

（ローターリー）ストラディバリウス、特派員、五七型、マツタケ……33

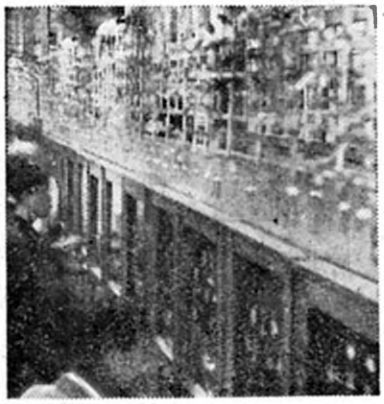
ニュースの背景
行政整理問答……田中二郎……46
空宣伝・美術の秋……44

週刊図書館「加賀騒動」ほか……21
週刊試写室「麦秋」ほか……49

婦人のメモ
秘訣ご案内
セーターの洗濯法ほか（20・41）

打の巨人・足の南海……43
画漫…異本「宮本武蔵」…荻原賢次……10
ブロンディ（42）サイレント夫人……19
碁将棋学校……40
読者と編集者……57
カット・大川一夫

1 パチンコ必勝法



秘訣はなにか　もう、ずい分と書きつくされたパチンコである。従つて、私たちは、先ず、そのものズバリと、パチンコ必勝法から、この報告を始めることにしよう。

必勝法といつても、先ず第一に機械、熟練度、さらには心理的条件によつて様々で、一概にはいえないが、一時間で、ピース十個は軽く稼ぐという、ユーモア作家の宮崎博史氏（浦和市岸町三ノ八五五）などは先ず、セミプロ級に属するであろう。氏の必勝法によると、こういうことになる。

第一に良い機械を選ぶこと。バネは強からず、弱からず。軽くはじいてみて、玉がグラウンド（はじかれた玉が転がる所）の最上部まで達するのがよい。手前の方に傾いている機械は駄目。垂直になつているか、すこし後に傾いている方がよい。電燈のためにガラスが光つて、玉の動きがよく見えないような機械、クギが非常にゆがんでいる機械は避けること。ことに穴の直ぐ上の二、三本のクギは、よく注意して見ることが必要。玉が通らない狭さにクギを曲げてある機械もある。また、あまり玉が入り過ぎるとみると、裏側で、パチンコ屋がバネの調子を変える場合がある。機械の後ろで、女の子がゴソ〳〵やり始めたら、別の機械に移つた方がよい。（この時、「ワアッ」とか、「ダメだよ、そんなことしちや」と女の子を牽制する手もある）

第二は、バネをはじく右手を固定させ、いつも同じ強さで、バネをはじけるようにすることだ。両足を少し開いて、安定した、ゆつたりした姿勢をとり、玉は、左手で投入する。右手で玉を投入すると、バネをはじく調子が、どうしても一定に行かない。

バネの下に、指をいれるのは、同じ強さではじくために有効。バネの強さによつて、指を二本にしたり、三本にしたりして調節すればよい。（某機械工は、ネジ回し器で高さの安定をはかるものを携帯したともいう）あとは、慣れとカンで一定の調子を覚えることだ。

第三は、一つ穴に狙いをつけて、そればかりを狙うこと。どの機械にも、入り易い穴というものは、一つか二つしかない。まずはじめに、無駄玉のつもりで、いくつかはじき、早く入り易い穴を見つけることが肝心。グラウンドの向つて左半分のなかに入り易い穴が多い。クロウトは、左半分だけで勝負する、とよくいわれるのは、このためだ。また玉は、一回転させては絶対に駄目、はじいた玉がスッと上の方まで上つて行く途中から、狙う穴に落ちるようにならなければいけない。クギに玉をぶつけ、そのはねかえりを利用して穴に入れようとするのも止めた方がよい。パチンコのクギは、玉突きのクッションのように、物理的に、一定の方向にはねかえるものではないから。

第四は、無心になることだ。調子の良い機械を選び、入り易い穴が見付かつたら、あとは、右手のバネの手加減を変えないようにして、虚心坦懐に、パチンパチンとはじく。あまりあせつたり、ピースを何箇所いでやろうなどと欲ばつたりすると、必ず右手の調子が狂うものだ。

さらに、自信を持つて、機械に向うかどうかも案外成績に関係する。大げさにいえば、機械を呑んでしまつて、機械と我と一つという心境でやることだ。

第五は、賞品にかえられるだけの玉を稼いだら、すぐ賞品にかえてしまうこと。玉を百ためようとか、二百稼いでやろうとかいう野心を起すと、必ずといつてよいくらいに、損をする。手持ちの玉が多いと、どうしても、玉のはじき方が粗雑になる。

賞品にかえた残りの玉が、少いようだつたら、オール十などを狙わずに、一箇の玉を二箇にする「紅白」とか「赤青」とかいう機械に移つて、まず着実に、持玉を倍にしてから、オール十に向う。これが損をしないパチンコの秘訣だ。

セミプロ銘々伝　パチンコのセミ・プロは宮崎氏だけではないどこにでもいる。例えば、渋谷区穏田二の四五に住む白川意泰（トモヤス）氏（薬剤師し業）も、その一人。氏の必勝法はこうだ。

「パチンコ台をえらぶには釘の按配に注意する。とくに穴の真上で三角形をつくる三本の釘は一本でも曲つていたら入らない。入口の二本の幅の広い狭いは大して関係ない。反つてこの二本はタマが食い込む程度の広さだとピタリ入る。

バネは、晴れた日と雨の日では加減を変える。天気がよいと台（ベニヤ板）の弾力性が強いから、バネをはじく時、少し力を抜き、雨の日は心持ち力を加えて離す。コンディションは、まさに雨が降り出しそうな空模様が、適当の湿気があつてよく、時間からいうと、同じ理由で夕方がよい。また、手の中にいつも10なり15なりタマを握つていて、何回入るか、自分のペースを自然と計れるようにする。このペースが崩れてきたら、引きあげる潮時と思うこと。

タマはなるべく、同じ重さのものを選ぶ」

また各古屋大学医学部助教授古田荒爾医学博士なども中京におけるパチンコ・チャンピオン？かも知れない。博士は、昨年六月知多半島へ検屍に出かけた折、熱田駅で検察庁の人を待つ間に一寸やつてみたのがやみつきだが、あくまで「時間つぶし」の健全娯楽が目的で、「二十円から四十円までで三十分から一時間くらい」を楽しむという主義だという。それでもふしぎと殆ど毎日タバコ一個ないし三個くらいとる。しかも今やあのオール十個のジャリーンという音を耳にすると、何ともいえぬ爽快な気持になるというのであるが、この博士のコツはこういうことになる。

2 パチンコの力学

東京・新宿所見

「いわゆるプロの連中のような特殊なコツというものはなく、指を何本入れてバネを加減するとかはしない。いつも力一ぱいバネる。力一ぱいやってうまくはいる器械を撰ぶんです。台の表のクギが下向きのははいりがわるいです。そのはずですよ、みんなガラスに当るんだから。クギは太い方が弾力性が少なくてヘジキ回らんから、よく穴にはいる。クギの開きとかスポミには関係はない。が——、まあ、結論としてはパチンコは、はいらんことの方が多いように出来とる」

というのであるが、ではパチンコは、どの程度まで入り、また入らぬものか、パチンコの確率論を東大物理学教室平田森三教授に科学的に検討してもらおう。

クギ五段の場合

クギの配列は、機械によっていろいろだが、もつとも普通な型は、A図のような配列になっている。そこで、もしクギの間隔や太さが一定であるとして、五段に並んでいるクギの第一列の図のような位置に入った玉は、どこの穴に入る可能性（確率）が大きいか。A図の場合は、(a)か(b)に当りの穴があつた場合、図のような位置に来るように玉をはじけば、最も入る確率が大きいということになる理窟だ。ただし、確率〇・三一二というのは、十箇はじいた玉が、必ず三箇当りの穴に入るというわけではない。

いま、十箇の玉を、図のような位置から転がすという動作を、千回くり返してみる。きわめて稀には、十箇が全部当りの穴に入る回もあり、また逆に一箇も入らない回もあるが、千回終つたときには十箇のうち三箇以上が当りの穴に入つた回は五百八回ぐらいあり、四箇以上入つた回は、ぐつと減つて三十回ぐらいになる。

クギ四段では

クギが四段の場合はB図のように、当り穴の真上に玉を持つて行けばよい。ここで五段の場合と同じような動作をやると、三箇以上入る回数は九百四十回ぐらい。千回のうち、大部分が、三箇以上の当りとなる計算だ。

このようにクギの列が一段ふえると、非常に目指す穴に入りにくくなるわけで、いかに名人といえども、この確率以上に当りの穴に入れることはできない。また風車があちこちについている機械があるが、これにぶつかると、クギの列が一段ふえる以上に、同じ穴に玉が入る確率が小さくなる。

そこで名人の腕が発揮できるのは、C図のように、穴の上に、何列もクギの並んでいない穴ということになるのだが、これが、見た眼より案外入り難い。

抛物線画く玉

バネにはじかれた玉は、周りの帯金を離れてから後は、抛物線（ほうぶつせん）を画いて行くものだから、穴の上にあるクギに対して勝手な角度で、玉を落すというようなことはできない。たとえば、真上からクギとクギの間を通りぬけるようにボトンと玉を落すということはできない。

従つて、玉が帯金のどこから離れて抛物線になるかで、玉の方向がきまるのだが、これは、玉が打ち出される時の初めの速さできまる。だから、二つのクギのどちらかに玉を当てるためには、一定の範囲内の初速を与えなければならない。パチンコの名人たちが、バネの力を常に一定にすることを強調しているのは、科学的にも正しい。

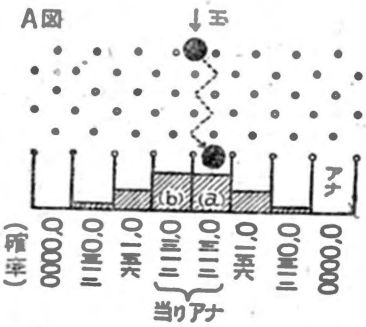
しかし、クギに当つても、そのクギの間を通つて下に行くかどうかは、玉がクギによつてはね返される強さによつて、非常に違いが出て来る。完全な固さの玉とクギだつた場合には、光の反射と同じようにはね返る。そのような場合には、クギの内側に近いところに玉が当つても、クギの外に出てしまうことが多い。実際のパチンコでは、玉もクギもそれほど固くないから、何回か両方のクギにぶつかりながら落ちて行く。

曲者・クギの間隔

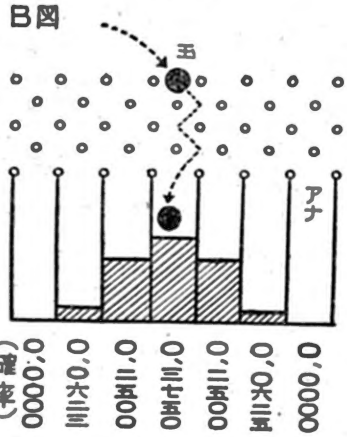
しかも、クギの間隔が十三ミリある場合でも、玉（直径一一ミリ）の中心が二ミリずれれば、クギの外にはね返つてしまう。玉も大きく、クギの間も広いので、比較的自由に、玉がクギの間を通りぬけるように思うだろうが、実際には、一ミリ、二ミリのずれが、大きく影響するのだ。パチンコ屋が、クギをちよつとしめると、玉が穴に入り難いようになるのは、以上のような理由からだ。

グラウンドの向つて左半分にあ

A図



B図



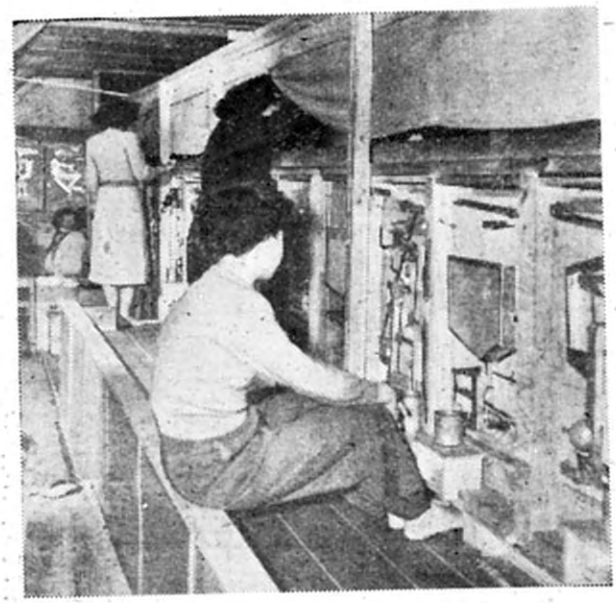
C図

る当り穴を狙えというのも理由にあっている。つまり、右半分では、玉の回く抛物線が、水平に近くなるから、クギにぶつかり易く、穴に入り難いということになる。また、玉をはじく力がいかに一定していても、帯金にふれる時間が長いほど、摩擦などの不規則な要素が多くなるから、玉の方向が変り易いということもいえる。玉を一回転させるのはまずいというのも、こうした理由によるのだろう。

3 パチンコの経済学

少し話が専門的になりすぎた。この辺でパチンコ経済学について調べてみよう。

パチンコの分布　最盛地は、戦後パチンコの発祥地の名古屋市が筆頭で、同市警調べによると市内だけで七二二軒、総台数約五万で、名古屋市民百万とみて「二十人に一台」という勘定。同市のメーカーの調べによると、各地の景況は東京（一三〇〇軒、七万台）大阪（八〇〇軒、五万台）静岡（八〇〇軒、二万五千台）となっており、その他盛んなのは北海道秋田、盛岡、水戸、新潟、大津、山梨、神戸、高松、福岡等で山陽、山陰地方にはまだ普及していない。



機械の裏では，故障にそなえて従業員が坐つている

最高は月百万円　パチンコ屋はいったいどの位、儲けるか？

パチンコ屋の儲けは一日の売上げがごく小さい店で五千円、普通一万円、大どころは二万円といったところ。人件費その他が約二割景品が六割占めるとして、純益が二割というのが東京の業者の言葉、実際は純益はもっと上廻るものとみられる。売上げが二万円なら、純益は日に六千円、月にすれば、十八万という相当な額になる。

これは東京の例だが、名古屋ではパチンコ五十台を備える「標準の店」で、三万円というが、実際はその二倍七万位はかせぐところが多い。かりに一日七万円として、景品に七割が出ても、二万一千円のこる、税金、人件費その他を五千円引いても一万六千円残る。名古屋駅付近のあるパチンコ屋は「一ヵ月百万円の純益」を目標にガンばっているそうである。

儲からぬ〳〵と業者は口を揃えていうが「現金」取入の魅力は、小企業者をどし〳〵パチンコ屋に転業させてきた。ことに最近の主食統制が緩和され、濫立した飲食店が共倒れとなり、これらの業者がパチンコ屋に転業するのが一番多い。月に二百軒増えるという東京のパチンコ屋の半分は飲食店からの転業だという。

東京浅草では店を二つに区切り、メリヤス問屋とパチンコ屋を併業している業者もある。本業のセンイ品が大量にはける時は、パチンコの方はだめ。ガチャン〳〵の音がにぎやかな時には、メリヤスがだめ。

「パチンコと不景気とはつきものです。当分は副業のパチンコの方で……」

と店のオヤジさんは甘ずっぱい顔。

ほかの商売が不景気でうまくゆかぬから、パチンコ屋が増え、大衆も金がないから、パチンコ屋が繁盛するというわけである。

パチンコ機　パチンコの製造業者は、ほとんど名古屋に集中し、その数は、二百軒を超える盛況。あとは東京に二十軒ぐらい、大阪に二、三軒ある程度。このうち、工場らしいものを持っているのは、せい〳〵一割ぐらいで、大部分は、家内工業の下請でやっている。戦前からの古いメーカーは数えるほどで、最近のパチンコ熱盛に眼をつけた戦後派がほとんど。ガラス屋から転業して、いまでは押しも押されもしない一流メーカーにのし上ったものもある。

月に五百台以上生産するのが一流、二百台以上が二流というのが業者間の通り相場だが、一流に入るものは、名古屋で約三十軒、東京で二、三軒という所。なかには月に八百台から千台ぐらいを売りさばいている業者もある。月二百台が最高といわれた三年前にくらべると、驚くべき〝生産増強〟ぶりだ。

パチンコ一台のお値段は、三千八百円ぐらいから、七千五百円ぐらいまでだが、メーカーの儲けは一台八百円から千円といわれている。材料は北海道の上物ベニヤを使ったものが最上。月に千台売れるとすれば、百万円が転がりこむ勘定になる。

今年の初めから四月ごろまでは「ヤク物」と呼ばれるのが流行った。「ヤク物」とは玉が十出るアナが一つと、あとは一個二個の出る穴のあるもの。

現在、よく売れるのは、いわゆる「オールもの」という種類。どの穴に入っても、同じ数の玉がドーッと一時に出る機械だ。それもオール十から、十五、二十、三十、五十というふうに、だん〳〵出る玉の数が多いものに移って行く傾向があるという。また、穴に入ったときに、チリーンと景気のよい音をたてるものでなければ駄目らしい。

当りの穴が二つしかない「ポケット式」というのも、最近よく出るという。同じポケット式でも、両方の穴に入らなければ当りにならないという新型も出て来た。競馬のフォーカス（連勝式）が流行るのと、同じ心理だろう。これと似たのに「ダブル物」がある。ふつうのパチンコを二つ上下につなげたような形で、上に入らなくても下がある形式。一つのタマが二度の役目をはたすワケ。またある特定の穴へ入るとまず十個出る、そして中にランプがあつてともり、それから他の穴に入ると廿個合計三十個出る仕掛けのものもある。

穴に入る玉の率は、普通五割を目標にして作つている。クギの間隔と、穴の数で調節するわけだがクギの間隔は、普通玉が転がり落ちて行く所が一三、四ミリ（玉の直径は、一一ミリ）穴のすぐ上の所のクギは、それより〇・五ミリぐらい狭めてある。穴の数は、オール十五で七乃至八、オール十で九乃至十、オール五で十五あける。

一応五割で作つておいて、あとは、お客さん（パチンコ間屋やパチンコ屋）の希望に応じて、クギの間隔を拡げたり、狭めたりするわけだが、パチンコ屋の競争激甚となつたためか、最近ではクギを拡げて、入り易くしてくれという注文が多いという。

税金 パチンコ屋は玉つき、ピンポン、マージャン、金魚すくいなどと同じで、遊技場業として取り扱われている。

パチンコ屋にかかる税金は国税として所得税、地方税として事業税、入場税（十割）がかかる。パチンコ屋は資金の回転が早く、一年もまたずに資金の回収ができるから、業者は短い期間に廃業したり、引越してしまう。税務署のちがう地域の業者同志が、店を交換したりすることもあるので、いよいよ実情はつかまえにくいわけ。新興事業だけに、どれだけ儲かつているかを知るのは税務署でもナヤミの種。いきおい、係員が店の前に立つて、どのくらい客が入つて、機械の回転はどれくらいと、いわゆる「商況調査」によることになる。

入場税も同じことで、東京都の場合、盛り場の地区別に標準をきめて課税されている。一カ月パチンコ機一台について、最低五十円最高四百円、平均百円。同じ地区でも表通りは、裏通りの二倍だつたりする。最近は税額引き下げの陳情が多い。客がパチンコが巧くなつて、景品代がカサむのと、故障修理代が大きくなつたので、入場税を負けてくれというのだが、都の主税局では決して過重ではないとみている。

都の調べではこれらパチンコ屋の七月分入場税は、百二十一万円（マージャン屋は百五十七万円、玉つき屋は六十二万円）で映画、芝居その他を含めた入場税総額四億円弱の、〇・三パーセントに相当するが、なお入場税課税の基準が、あま過ぎるのではないか、ともいわれている。事業税については昭和二十五年の年間の課税標準は、パチンコ屋全体で千八百万円で、この百分の七・二、約百三十万円となつている。

景品 パチンコ流行の、一つの原因は「景品の魅力」にある。浅草のパチンコ屋に張り出してある景品番付をみると。

タマ	景品	
50コ	Fドロップ	1罐
30〃	靴下	1足
〃	タオル	1
25〃	ピース	1
20〃	光	1
〃	キャラコ・ハンカチ	1
15コ	タオル・ハンカチ	1
〃	石ケン	1
〃	ドロップ	1
10コ	クリーム	1

……

といつた調子。本場？ の名古

大橋法務総裁は、九月廿八日、大阪に向う車中において、「団体等規正法案」の要綱なるものを発表した。目的とするところは、来るべき講和条約の批准後においてこれを治安立法の中心とし、以て国家公安の保障を期するにあり、それは近く臨時国会に上程せられる予定となつていると説明せられた。

そもそも団体等規正令というような一眼で内容のつかめない立法が試みられ、先ずその手初めに右傾団体の解散や取締がなされた当時、やがてそれが左右両極の団体的政治行動の一切に対する取締にまで発展せられるであろうことは、一部識者の十分に予想するところであつた。果してその予想は大体、朝鮮事変にも刺戟せられた昨年の夏から秋にかけて実現せられつくしたと見ることが出来る。そこで法務当局としては、第二段に、講和成立後に備える手段を講じつつあるものと察せられる。

如何なる国、如何なる社会においても、その組織を守るべき治安維持なるものは、

危険な伝家の宝刀

なるほどあくまで必要であろう。然し同時にそれは国家社会の進化し発展して行く傾向を阻み、機構の固定化を計ることであつてはならず、また一にぎりの当局者の勝手気儘に決められるような仕方は厳重に避けなければならない。かつて治安維持法なる二十世紀に恥ずべき悪法があり、「私有財産を否認し国体を破壊せんと企てるもの」は三年以上、死刑までの処罰を受けることになつていたことを思い、またそれらのものが新憲法の今日では著しく違つた解釈を与えられねばならなくなつた事実を思えば、問題の「団体等規正法」もその実現した暁において、当局者がその適用の基準に十分の理性と連帯心と進化主義とを忘れないことが望ましい。とかく官僚というものは、自己を進化的一生物と見ずに、我が世の春を永久不変のものと錯覚したり、希望したりする結果として、一度びいわゆる「伝家の宝刀」なるものを把めば、無暗にこれを振り廻したがる癖を出すものであるが、それほど民主々義に縁遠いものはないのである。（一〇・二）

◇

◇

屋では、ウィスキーの小瓶や、場所によつては、現ナマを出すところさえあるという。大阪では瓶入焼酎、ビール等の酒類。浦和では、お惣菜買出しの主婦を狙つて、トンカツ、コロッケを出している。

終戦後、一時流行したパチンコが、昨年夏には火の消えたように衰えてしまつたのも、景品が少かつたためだという。当時の景品は、売上げの二割だつたが、現在は、七割から八割。出費は多いが客の頭数でコナすという名古屋式が風ビしているわけだ。景品のNO1はなんといつてもタバコ。パチンコ屋に景品用として流れるタバコの量は、毎月二億六千一百万本。専売公社から、小売店への売渡し価格（たとえば、ピースは七分五厘引きの三十七円、光は八分引きで廿七円六〇銭）で仕入れるのだが、金額にして、六億六千八百万円。専売公社にとつて、パチンコ屋は、最大の顧客というわけだ。

4　パチンコ攻防戦

忙しい閉店後

メーカーによると、出来たばかりのパチンコは、大体五〇%は入る仕掛けになつている。それでは、商売は上つたりである。「故障修理中」というハリ札がよくかかるが、ズバリいえば、当らないように修理中というわけで、「パチンコ屋、閉店後がいそがしい」などという川柳も生れて来る。

閉店後の主な〝修理法〟は表のクギを上向けにしたり下向けにしたり幅をひろげたり、狭めたり、つまりクギの「しめ変え」と「打ち変え」ということになるのだが、よく当る機械については、ハリガネの先に玉をくくりつけて、色々な角度から、玉の流れ具合を研究する業者もあり（大阪）この店の屋人をつかせて、客に使わせないところもある。

といつて、余り出なくなると、客足がつかないので、十台の中一、二台は必ず出る台を作つておき、一台から出る一日の玉の総数を定めておいて（例えば名古屋市内では大須二〇〇、広小路四〇〇、円頓寺六〇〇）その定め玉が出てしまうと、「本台本日終了」などという札止めをする。これを俗に〝バネ切り〟という。

タマは貨幣

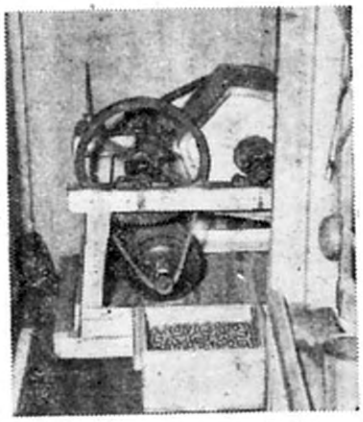
客の方でもこれに負けていず、ハリ金や磁石をつつこんで台のうらのテコを押して玉を出す〝暴力派〟もあるという。

いま、パチンコ屋最大の悩みの種は、余剰玉（又は不足玉）の問題である。日劇地下なぞはどの店も、月平均五千個ぐらいなくなり逆に上野あたりはドン〳〵タマが増えて行く、というのは東京のパチンコ屋さんの間には景品の協定がなく、例えば光一箱について、日劇地下ではタマ25、浅草タマ20、上野15という風にタマの相場がちがう。だから日劇で玉を稼いで、上野へ景品を買いに行くというわけである。（もつとも一つにはヤミの「光」「ピース」が上野方面に出まわつており、本物よりも十円がた仕入れが安いので、上野では15コに一箱でも十分もうかるという話もある。

もつと大仕掛けの移動もある。静岡でタマが一個二円したころ、一円そこそこの東京のタマをトラックで買いにきたというのであるが、こうなるとパチンコ玉は正に貨幣である。

余剰玉がふえるとパチンコ屋は安い値段（一円くらい）で、これを他店に売る。玉の仕入れはヤキのはいつたヤキ玉で一個一円六、七十銭、普通のス玉で一円二、三十銭。だからよそから安い玉をもちこまれることはパチンコ屋では大いなる痛手で、流行らぬパチンコ屋など、思い余つた場合、お客を装つて景品と換えて行くという手合もあるそうで、こうなるとアンタンたるものである。

名古屋あたりでは、景品を最小限にとめるために、「玉預り券」をつくつている店もある。次に来た時にタダで遊ばせて、最後にはゼロにさせようというコンタン。玉預り券は「二十個券」「五十個券」「百個券」の三種類。もちろんこれは業者組合協定違反である。



パチンコの研磨器

5　パチンコ是非論

パチンコの犯罪についていままで報道されているものは案外少い。本社の調査によつても

（イ）パチンコで損ばかりしている廿一歳の牛乳配達人が腹いせにパチンコ屋に押し入り、出刃ボウチョウで家人をきりつけたという事件（九月廿六日名古屋）とか

（ロ）店の従業員が、客と結託して、うしろからタマをジャラジャラ出し、それを客がトランク一杯につめこみ、運んだ事件（淀橋署）

（ハ）十三歳の少年が、まがつた針金をつゝこみ、真中のホームランのアナをたくみにこじあけ、二百三十個のタマをかせいだ。キャラメル十三個、ガム七個にかえたところを御用（上野）

（ニ）中学の同窓会費に困つていた高校一年生が、パチンコ屋の

友達から、パチンコ玉を買い、それを他店に転売して、金にかえた所が、今度は返済に困って、別の店から玉を盗んで検挙された事件（大阪）

（ホ）アベノ（大阪）の方では、

パチンコ屋のオヤジが、小学生を唆かして、玉を盗ませていた事件及び中学生の五人グループが、針金の先を7の型に曲げて、パチンコ台に突込み、計一万個の玉を盗んで売っていた（大阪）

といった程度だ。ただパチンコの結果として、中学生が賞品からタバコを喫うのを覚えた、という報告は各地からされているが、全体としてみると流行のパチンコはいまや子供の遊びであるより、より多く大人の遊びとなっているのでもあろう。名古屋の例だが、パチンコ屋が町内に軒を並べたため親たちが困り、一日借り切って子供たちにあきるほどやらせ、結局損なのだということを得心させて、親は安心したという話もある。

で結局警視庁保安課ではいまのところ、パチンコについては、機械と景品の二点を主な取締りの対象としている。

機械からいえば、お客の考えや技術が入りこむ余地のないような「丁半」式の機械は遊技機としては行きすぎで、今後、どしどし取締るといい、景品の方は、現金はもちろん、米などの統制品、有価証券、またはこれと類似のものは厳禁。賭高も、料金の五倍を超えた場合は、トバク行為と見なすという法務府の見解に、従っている。

しかし、全体として、競馬競輪等のもつと「大規模な」賭けごとが非常な人気を得ている世相では、パチンコの景品のタバコの五つや六つ、大した問題じゃないという見方を、警視庁でさえとっている。

——それはその通りでもあろう。然し、問題はそれだけで片附けらるべきものであろうか。パチンコという余り目新しくもないこの遊びが、どうして、今日、かくも爆発的に人気を得ているのか、むしろ問題は、このパチンコに現わされている社会心理の解明であろう。

新型ダブル式パチンコ……普通のパチンコを上下に重ねた形。

6 パチンコの哲学

「どれだけの人が、何も彼も忘れ果てて、こんな情けない遊びのなかで、夢中というより忘我という状態にはいってパチンとやっていねばならぬのだろう。どれだけの人が、全くの一人きりになって人がたかっているという感じのなかで、めいめいは全くの一人きりになっている——ただ時を消すというそれだけのために、これほど孤独純粋に我を忘れてパチンとやっていねばならぬのだろう。これほど全く互いが切りさかれた孤独のなかで、これほど純粋に我を忘れてでなければ消すことのできぬその始末の全国的なながされ方。全くここに、今の日本の、一方の側における全文化の貧困があるという荒涼としたそれは眺めだった……」

これは、ある作家が、旅の見聞で得た感想である。地方によって、多少流行のズレはあるにせよ、いまパチンコの盛況は全国にこだましている。時をとわず、所をとわず、熱病のようにひろがりつつあるこの街頭風景は、いったい何を意味するのだろう。このすさまじい風景を、いったいどう説明すればよいのだろう。

私どもは、多数の社会評論家、社会心理学者たち（大宅壮一、宮城音弥、大阪女子大田中太郎、藤沢和夫、長沖一氏等）から得たさまざまな解釈を、以下に整理してみよう。

機械の構造　比較的簡単な構造でありながら、ゲーム的要素とトバク的要素を兼ね備えたのがパチンコである。ゲームのルールがあまりに難しかったり、容易に賞品が取れなかったりする機械ではこうも人気はわかなかったろう。反対に、あまりにゲームが易しいようでは、第一、店が損をして経営がなりたたなくなる。客の方でも、ラクに賞品が取れるのではトバク的興味を失う。心理学で「要求水準」（level of aspiration）という言葉があるが、客は、要求水準にまで達していないと、食いついていかないものだ。

パチンコは、このかね合いがうまくいっている。しかも、バネを堅くしたり、クギを曲げたりして、そのカネ合いを適当の水準に維持してゆける。

パチンコの玉は全国共通である。これは、ある点で貨幣と同じ性格をもっている。今日取った玉

パチンコタイトウ

を、明日使うこともできる。ある店で獲得した玉を他の店で試してもよい。

機械の製作費が安く、小資本で開業できることが繁盛の一因であることはいうまでもない。

社会的条件　戦後の社会風景の特色は、おびたゞしい人の街頭進出である。人々は、たゞ何となく家を出て街頭を歩いている。勤め人は、できるだけ、家へ帰る時間を延ばそうとする。生活のルンペン化。

この現象の説明を、住宅事情に求める見解もある。たしかに、子供がギャアギャア泣いている狭いわが家に帰りたくないサラリーマンは少くないだろう。不景気と、社会不安に求める意見もある。

また、労働基準法の必然の結果という注目すべき説もある。それによると——

日本では、戦後はじめて労基法が生れた。抱束八時間労働制。工員も、店員も、当然ヒマな時間を持つようになった。だが、こうした法律の面における近代化にひきかえ、社会的条件は戦前よりも悪化している。レクリエーションの施設は、外国に比べれば皆無といっていい。酒は高くて手が出ない。映画では、時間がかかりすぎる。図書館、遊園地、公園、いずれも満足すべき状態ではない。

彼らの余ったエネルギーのハケ口はどこにもない。彼らは時間をもてあます。彼らは、たゞ何となく街頭をうろつきまわる。

そこに、パチンコ屋がある。彼らは争って中にとびこむ。最小限の金で、これほど長い時間を消す方法がほかにあろうか。しかも、賞品は必需品——タバコである。トバク的興味、スリル。彼らは一切を忘れる。時間を消すのに、これほど能率的、刺戟的、安価な遊びはあるまい。レクリエーションとしてのパチンコの風靡は当然である。

これが刻みつきになれば、仕事の途中で、一寸、ということになる。社用で外出中パチンコとやるサラリーマン、配達の途中、自転車をおきっ放しでパチンコとやる小僧さん。主婦は買い物カゴを下げて。オフィス・ガールは同僚とつれ立って……。

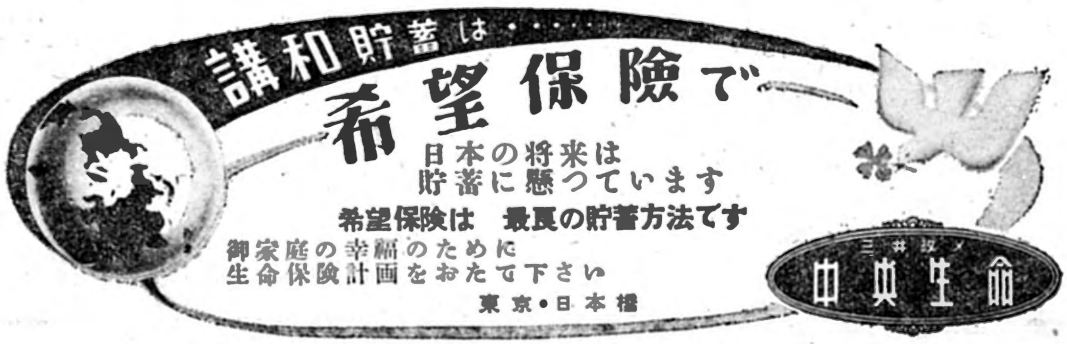
賭ける金もわずかだし、当った賞品だって大したものではない。だが、外れたって笑ってすませられる。要するに、ミミッチイ勝負である。それは小市民のミミッチ

東京台東区のメーカー兼パチンコ屋

サイレント夫人代記

【青春期】

秋の遠足　根本進



先週の記錄

9月26日—10月2日

——国　外——

26日　◇米英仏，軍備制限撤廃など対伊条約の改訂，イタリアの国連加入を認める用意ありと共同声明

27日　◇イラン国営石油会社，英従業員に国外退去命令◇米，イラン政府へ退去命令の撤回要請◇リ大将休戦会談再開，会場に松賢里を提案

28日　◇英，対イ石油紛争を国連安保理事会に提訴◇ブラッドレー米統合参謀本部議長日本へ◇アルゼンチンに反乱，直ちに鎮圧

29日　◇アトリー英首相，選挙演説で対ソ会談の用意ありと言明

30日　◇董北京政府副総理，平和解決に努力と休戦会談の続行を示唆

1日　◇英イ石油紛争討議の安保理事会開く◇訪日中のブラッドレー元帥，リ大将と朝鮮戦線へ◇米英仏対西独交渉を再開，平和取決め難航

——国　内——

26日　◇首相，日商総会で演説，世界の信用得よと経済人に要請◇内閣に地方制度調査会の設置きまる

27日　◇政府，与党の懇談会，米の統制撤廃4月実施の方針決定，人員整理は「橋本案」を原則的に了承

28日　◇総司令部，政府へ覚書，在外事務所の権限を拡大，外交権を大幅に承認

29日　◇団体等規正法など公安保障の立法，臨時国会提出にきまる◇日銀公定歩合2厘引上げ1日実施◇帝銀事件の平沢被告控訴判決も死刑◇鈴木大阪警視総監ついに勇退声明

30日　◇集団暴行の飯能事件（埼玉）の首謀者24名送検◇大相撲秋場所終る，幕内優勝は東富士

1日　◇新聞週間はじまる，名古屋で大会，言論統制反対を決議◇元陸海将校5,267名の追放解除

2日　◇講和，安保両条約への態度決定の社会党中執委開く

イ消費生活をそのまま反映するすがたなのだ。

戦後の一時期に比べれば、社会はよほど安定した。明日の食糧に追われたひところに比べれば、余裕は出てきた。さりとて、月給は多寡が知れている。娯楽費、教養費に割き得る予算は、せいぜい五、六百円どまり、戦前に比べたらあわれなものである。

その金を、如何にして最大限有効に活用するか——これは、誰のアタマにもある計算であろう。

心理的風景　パチンコは戦前にもあつた。だが、それは子供相手のアメ売り機械としてである。戦後のパチンコ屋は、まるで大人の世界である。そこには、「十八歳以下の人は同伴者がなければ入れません」とハリ紙がある。パチンコの構造が変つたからではない。賞品がタバコになつたためであるのはもちろんだが、他に、もつと重大な条件が考えられないだろうか。

パチンコは、一種のトバクである。戦後のインフレは、投機心と、トバク心を国民の頭にたたきこんだ。地道に、明日に備えて貯えたり、マジメに、生活の向上を考えたりすることはできなかつたからだ。その日、その日の僥倖を追う偶然主義と刹那主義——宝クジ、競輪の流行。この心理的傾向は、今なお、われわれの生活に根強く残つている。

だが、何と息苦しいこのごろの世の中だろう、インフレ気構えはジリジリと強まつてゆく。冷たい戦争の激化、ことに朝鮮動乱以来の国際情勢の不安。第三次大戦の恐怖。原子爆弾。さまざまの圧迫は重苦しくのしかかつてくる。パチンコで晴らす憂さは、いくらだつてある。

パチンコは、しよせんミミッチイ賭けである。むしろユーモラスな賭けである。他のトバクに見られるような、顔をそむけるあくどさもなければ、頽廃もない。こうしたトバクに比べれば、パチンコはむしろナンセンスに等しい。

プロ（賞品を売つて生活する人）は論外として、一般の大衆は、むしろパチンコのナンセンスに時を忘れている。心理学で「対抗現象」というのがある。社会的な抑圧にぶつつかつて、克服できないときに、幼児の状態にかえつて楽しむ現象のことをいう。大人が、子供の遊びをするから楽しいので、パチンコは一切を忘れさせる。それは重苦しい生活に対するマッサージであるかもしれない。

パチンコは孤独の遊びである。相手は人間ではなく、一台の機械である。耳をろうする周囲の騒音も彼には聞えない。彼の眼が一個の玉を追うだけである。人間相手なら、敗ければくやしいが、相手が機械なら、腹も立つまい。ケンカになるまい。「壁」のように無表情なパチンコでは、人間は傷つけられないのだ。他人から全く隔絶された孤独の忘我——これがパチンコの世界である。ここに現代の小市民の自慰がある——。

世界に誇る特許（No 111696）電気滲透法応用芯は我が国唯一のドイツ製超高圧製芯圧縮機の使用に依りいやが上にも良芯を生産しています良芯の鉛筆，それはあなたに無駄な神経を使う心配を無くすでしよう。

地球鉛筆

何問出来ますか

各新聞社の入社試験

新入採用のトップを切つて各新聞社が一齊に採用試験を始めた。例年とガラリ変つた今年の出題――さて、皆さんは、この中何問出来ますか。

毎日新聞社

受験者九八五名、採用四十名の予定。

講演筆記　人口問題についての講演（約三千五百字、講演時間十二分）をメモなしで聞かせ、二十分間でまとめる。

作文　（五十分）「紙」「私の愛読書」「昨夜から今朝まで」のうち一題を選択。

常識問題（一）　【（一）（二）（三）（四）を通じて六十分】

左の単語を簡単に説明しなさい。

ハリ・スコット、松賢里、生産年齢、オスロ、平和契約、桂まさ子、ホルシュトーセン、十月廿五日、青票組、シャー

左について答えなさい。

政府が行政整理しようとしている国家公務員の予定人数、安全保障条約の細目協定はどんな機関で作られるか、一九五三年の国際物理学会はどこで開かれるか、現在米国留学中の歌舞伎俳優は誰れか、朝鮮休戦会談の口火を切つた人の名

同（二）

左の各問題について正しい解答に当る字句の上に○印をつけなさい。

一、「羅生門」が大賞をうけた都市。

パリ、ローマ、ハリウッド、ヴェニス、カンヌ

二、日本に空路を持たぬ航空会社。

パン・アメリカン、ノース・ウエスト、エア・フランセ、ブリティッシュ・オバーシース・エアライン、フィリッピン・エアライン

三、上と下の一致するもの。

1自由党幹事長　広川　弘禅
2社会党政策審議会長　和田　博雄
3民主党幹事長　千葉　三郎
4自由党政調会長　吉武　恵市
5社会党書記長　加藤　勘十

四、作品と作者が一致しないもの

1裸者と死者　メーラー
2月と六ペンス　モーム
3背徳者　ヘッセ
4ペスト　カミュ
5凱旋門　ルマルク

五、八月一日以降値上げされたもの。

地代、家賃、電気料金、ガス料金、鉄道運賃、郵便料金

六、北大西洋条約に参加していない国。

フランス、ベルギー、スエーデン、オランダ、ノールウェー

七、色彩映画でないもの。

白い国境線、バンビ、ハムレット、白昼の決闘、若草物語。

八、見返資金の投資運営機関。

復興金融金庫、日本銀行、日本興業銀行、日本開発銀行、日本輸出銀行。

九、管轄に誤りがあるもの

1海上保安庁　運輸省
2国税庁　大蔵省
3中央気象台　運輸省
4婦人少年局　厚生省
5電波管理委員会　電気通信省

十、上と下と一致しないもの

1果断と根気とは人間の最大の美徳である　ゲーテ
2サイコロは投ぜられた　シーザー
3剛毅ぼくとつは仁に近い　孔子
4弱き者よ汝の名は女なり　ユーゴー
5真実の勇気は哲学研究に必要な第一の資格である　ヘーゲル

十一、ポツダム政令によらないもの。

警察予備隊、出入国管理庁、証券取引委員会、公益事業委員会、引揚援護庁

十二、共産党を非合法化していない国。

スペイン、ポルトガル、オーストラリヤ、南亜連邦、ビルマ

十三、日銀の現行公定歩合。

1日歩　六　厘―八　厘
2同　九　厘―一銭一厘
3同　一銭二厘―一銭五厘
4同　一銭六厘―二　銭
5同　二　銭―二銭三厘

十四、新生活運動を提唱したもの。

日経連、総評、経済同友会、主婦連合会、経団連

十五、人口の密度の一番高い国。

イギリス本土、ベルギー、オランダ、日本、ジャワ

同（三）　短　文

オッタワ宣言、対日援助資金、新政クラブ、民間放送

同（四）　外国語

英、仏、独、露、中国語のいずれかを選択。

朝日新聞社

受験者、編集九一七名（女性八名）業務一八六名（女性三名）採用は編集十数名、業務若干名。

アチーブメント・テスト　（一時間）

一、次の言葉を三十字以内で解説しなさい。

高炉、消費貸借、UNO、加工賠償、減価償却

二、A　日本の現在人口は昭和十一年にくらべてどう変化したか。次の答に○印をつけなさい。

増加している、増加していない

B　昭和二十五年における日本の人口の出生率は二八・三、死亡率は一〇・九、自然増加率は一七・四である。この三つの比率は人口何人にたいして言つているのか。

C　戦後最近までの出生率は、昭和十一年以前の五、六年間の趨勢にくらべてどう変化しているか。次の答に○印をつけなさい。

著しく増大している、大して変らない、著しく低下している

D　戦後最近までの死亡率は、昭和十一年以前の五、六年間の趨勢にくらべて、どう変化しているか。

次の答に○印をつけなさい。

著しく低下している、大して変らない、著しく増大している

三、次の生活必需物資のうち、すでに統制を撤廃されたもの、なお統制されているものを区別するため、統制撤廃のものに○印をつけなさい。

米、麦、木炭、砂糖（家庭用）、綿糸布

四、次は三大政党の掲げる綱領です。それぞれの党名を明かにしなさい。

1労働を重んじ、企業の自主を促して産業経済の復興を期する。

2わが党は資本主義を排し、社会主義を断行し、もつて国民生活の安定と向上を期す。

3われらは社会連帯の理念と協同の精神にもとづき、生産の自由と生活の保障を調整し、均せいなる国民経済機構を確立する。

五、本年八月二十一日全国一せいに行われた選挙は、左記三つのうちどれか。○印をつけなさい。なおその選挙では投票率九八・八％という好成績と、追放解除者の著しい進出を示した。

市町村会議員選挙、都道府県農業委員選挙、都道府県教育委員選挙

六、次の税金は国税か、地方税か。国税には○印、地方税には×印をつけなさい。

勤労所得税、酒税、入場税、遊興飲食税、関税、地租家屋税

七、あなたが新聞社に入社してから間もないとき、バスに乗っていて、そのバスが転覆し、他の乗客十数名が死傷したとする。この場合、あなたとしては次の手段のうち、まず第一にどの方法をとればよいと思うか。適当と思うものに○印をつけなさい。

事件の内容をよく調べて社に電話する。急いで事件のあったことだけを社に電話する。一切を調べてから社に帰つて急いで記事を書く。

八、次の数字は昭和廿五年度の家計支出額と実効物価の内容です。

A、昭和廿四年度にくらべて消費水準の向上したものがあれば、その項目に○印をつけなさい。（昭和廿四年＝一〇〇）

B、この数字からエンゲル係数が計算出来るか。○印をつけなさい。

出来る、出来ない

	総合	主食	非主食	被服	光熱	住居	雑
世帯当家計支出額	九九	八六	一〇〇	一一五	一〇九	九八	一〇四
消費者実効物価	九三	九六	八四	八〇	一一四	一〇三	一〇六

九、次の言葉を三十字以内で解説しなさい。

ヴィールス、「一事不再理」、「われ思う、故にわれあり」、24D、親告罪

十、次の答に○印をつけなさい。

A、農林省は八月下旬、本年度産米予想収穫高につき「平年作を確保出来そうだ」と発表した。どの数字が該当するか。

七千五百八十万五千石、五千四百六十三万石、六千三百五十五万八千石

B、農林省は麦の推定実収を二千八百五十万石と発表したが、これは平年作とくらべてどうか。

平年作を上回る、平年作、平年作より悪い

十一、次の答に○をつけなさい。

1、対日講和条約の承認を求めるために近く臨時国会が召集されるが、これはだれが召集するか。

内閣総理大臣、内閣、天皇、両院議長、衆参院議員の総議員数々の連名

2、この講和条約を批准するのは次のだれか。

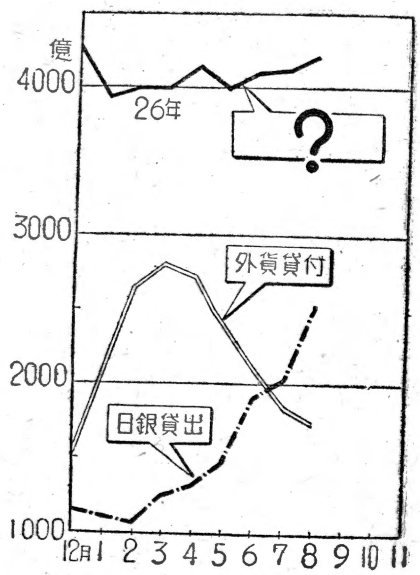
天皇、内閣総理大臣、内閣、外務大臣、国会

3、この講和条約で、わが国として条約締結に伴う一切の手続が終るのは、次の段階のどれか。

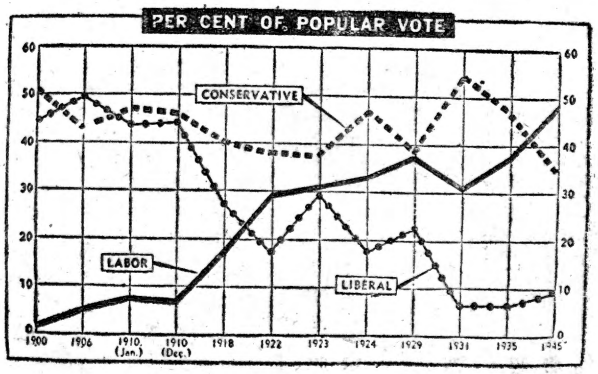
批准、署名、国会の承認、寄託、天皇の認証

十二、今回調印された対日講和条約は、去る八月十五日重大な三点が修正され、最終草案として発表された。その際修正された三点は次のどれか。○印をつけなさい。

主権承認の条項記入、戦争裁判の判決、引揚条項の追加、条約の存続、復活、賠償義務の明確化



右図　問題十五
下図　問題十六



十三、太平洋の平和を確立する目的をもつて、最近三つの条約が調印されたが、条約名と締結国名は何か。

十四、次の諸国の首都を記しなさい。

ビルマ、セイロン、パキスタン、イラン、インド、カナダ、インドネシア、スイス、フィリピン、ブラジル

十五、上のグラフの中段と下段は説明の通り、外貨貸付と日銀貸出の動きを示している。上段の黒線は何を図表したものか。今年八月中旬その額は四千百八十億円に達している。

十六、右の図はイギリスの今半世紀における政党が総選挙で得た得

票率のグラフである。現在の内閣は第三次労働党内閣といわれるが次の問いに答えよ。

1第一次労働党内閣は何年にできたか。2第二次労働党内閣は何年にできたか。3第三次労働党内閣は何年にできたか。

十七、次の人名につき二十字以内で説明しなさい。

モハメッド・モサデグ、南日、藤田たき、ウイリアム・ランドルフ・ハースト、林譲治、長崎惣之助、千葉胤明、ハンソン・ボールドウィン、テルマ・カラマ嬢、河田烈

十八、次の答に○印をつけなさい。

1、最近ある委員会が衆議院議員の選挙法改正について答申案を出したが、その委員会は左記のうちどれか。

地方行政調査会、選挙制度調査会、国家公安委員会、全国選挙管理委員会、地方財政委員会

2、現在の選挙法は次のうちどれか。○印をつけなさい。また右の答申案による選挙区制に×印をつけなさい。

大選挙区単記制、中選挙区制限連記制、小選挙区単記制、中選挙区単記制

3、右の答申案によると、一選挙区から出る代議士は何人になるか。

一名、二名、三名、四名、五名、六名

4、今度の答申案のような選挙法は、次の国のどこが採用しているか。

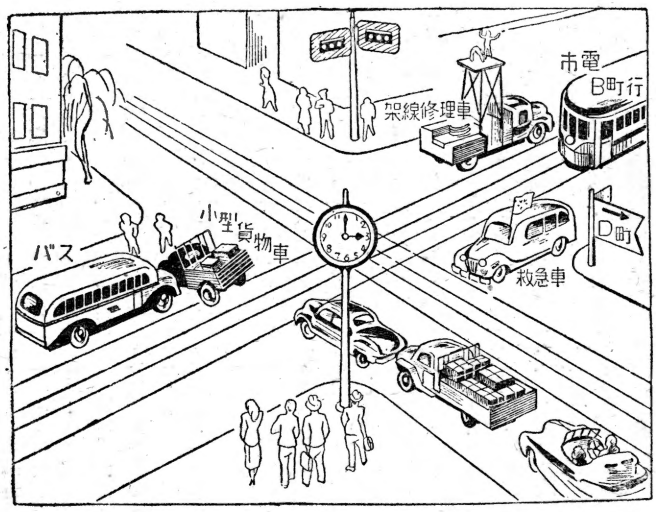
イタリア、イギリス、フランス、アメリカ

5、この選挙法をとる結果として次の何れの形になると言われているか。

二大政党の対立、小党の分立

十九、次の書名の下にその著者を書きなさい。

ドイツ国民に告ぐ、史記、昆虫記、The Wealth of Nations, 徒然草、たけくらべ、大言海、ジャン・クリストフ、鎖国、学問のすすめ



右図は記事作成問題（二）

作文「対立」（一時間、千字以内）

外国語 英、仏、独、露、露語のうちから選択（一時間）

記事作成（編集関係、一時間）

一、次の三人の談話からこの内容の記事を作りなさい。（答案は原稿用紙一〇〇字詰二枚以内）

吉田首相談

だれに会ったか？

それはいえない。何を話したか？

そんなことをいう必要はない。

苫米地民主党最高委員長談

三日夜吉田さんの代理から突然電話で、これから首相が私にお会いしたいといって来た。そう、この私の目黒の家に吉田さんが来られたのは十時三十分でした。こんなにおそく、そこまで礼を尽されると私も動かされますよ。党派をこえて私も吉田さんと一緒にアメリカに参ります。

岡崎内閣官房長官談

講和全権は超党派的に選びたい、というのが首相の考えです。民主党からも全権を出してくれることについて政府は確信がついた。

二、上の図と補足説明によって、これを内容とした記事を作りなさい。（答案は原稿用紙二枚以内）

◎図の補足説明

一、本日Z市での出来事。一、電車通りはAからBに通じる「C通り」一、これに交るのはDからEへの「F通り」一、正面のビルはX百貨店。一、上左角の建物はYホテル。一、小型はエンジン、左前輪その他大破、運転手O（大正十年十二月生れ）は即死。一、積荷のミソだる四本破損。一、バスは緩衝器、ドロ除けを破損、運転手PはハンドルでMを強圧したが異常なく、車掌Q（大正十五年三月生れ）は前額部擦過傷、乗客イ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘ、ト、チ、リは全員無事で、運転手が一応取調べを受けた後、間もなく発車した。一、原因はZ市警で取調べ中だが、まだ判明しない。

特別問題（業務関係、一時間）

（一）次の場合、あなたは朝日新聞の特長として、どんな点を強調しますか。

（イ）朝日新聞の購読を人に勧める場合（ロ）朝日新聞に広告掲載を勧める場合

（二）重大事件の号外を積んだトラックが深夜本社を出発し、一二〇キロ遠方のF市を最終目標として途中A、B、C、D、Eの順序で各地所在の販売店に号外を配布するため、時速四〇キロで急行中、交通の要衝C市で故障のため動けなくなった。これは本社を出発してから一時間三〇分後の出来事である。

この場合、トラックに同乗している輸送責任者は、臨機にどのような措置をすればよいか。列記して下さい。

（三）「週刊朝日」の発行部数は毎週五〇万部で、その最終頁に掲載される四色刷広告の料金は、一回一頁二五万円です。

今この広告と同じものを単独の印刷物として、同じ大きさ、同じ品質の紙で五〇万枚つくるとすると、その費用は概算五七万円（用紙代四一万四千円、製版代六千円、印刷代一五万円）を要します。

（イ）この印刷物で広告宣伝をするには、さらにどんな費用がいりますか。（金額を示す要なし）

（ロ）「週刊朝日」の広告料が、この印刷物による宣伝に比較して割安になっている理由は？

読売新聞社

受験者、編集五九六名（女四名）業務は募集せず。採用十数名。

論文（一時間二十分）

次の二題について論述せよ。（各原稿用紙四百字詰二枚以内）

A、日本の前途と新聞の使命

B、五題中一題を選ぶ

一、吉田首相論、二、いまの世相について、三、アプレ・ゲールについて、四、日本の人口問題、五、日本経済の前途。

国語問題（三十分）

（A）次の言葉を簡単に説明。

威容、修好、首唱、称揚、折半、惰力、陶然、傾倒、欠如、反映

（B）次の言葉を読んで漢字に「ふりがな」をつける。たゞし「新かなづかい」を用いること。

行脚、塩梅、燕雀安ぞ鴻鵠の志を知らんや、横行闊歩、会稽の恥、換骨脱胎、旗幟鮮明、揣摩臆測、素封家、破綻、病膏肓に入る、羊頭狗肉、委嘱、一視同仁、平和克復、無間地獄、基督教、不撓不屈、竹葉の鰻丼、韋駄天

（C）書き取り（二十五分）（注意）次に読む文章（各原稿用紙四百字一枚）を出来るだけ漢字を使用して書き取つて下さい。

一、今後の奮闘誓うと題した、綠風会徳川宗敬氏の帰国談

二、「函館発」駅員が小荷物抜取り—函館で恐喝した同僚も検挙及贈収賄事件の記事

常識問題（三十分）

各項の該当するものに○をつけよ

一、スターリンの年齢（満）

四十二、五十二、六十二、七十二、八十二

二、神近市子の年齢（満）

二十三、三十三、四十三、五十三、六十三

三、鳩山一郎の年齢（満）

四十八、五十八、六十八、七十八、八十八

四、日本の農林大臣

橋本龍吾、根本龍太郎、周東英雄、広川弘禅、石橋湛山

五、中華人民共和国の外相

毛沢東、朱徳、金日成、周恩来、李済琛

六、河上丈太郎

文芸評論家、労働組合総評議会議長、社会党政治家、参議院議員、新劇俳優

七、日本の参議院議長

林譲治、佐藤尚武、徳川宗敬、植原悦二郎、松本治一郎

八、マガネッド・モサデグ

イラン首相、メキシコ大統領、イラク外相、アラビヤ国王、ブラジル大統領

九、麻生和子

社会事業家、外務官吏、婦人代議士、女子大校長、代議士夫人

十、いまの日本の国鉄総裁

内田信也、藤山愛一郎、長崎惣之助、小林一三、白洲次郎

十一、日本国憲法施行の日

廿一年五月三日、廿二年五月三日、廿二年十一月三日、廿三年五月三日、廿三年十一月三日

十二、ソ連の対日戦（第二次大戦）参戦の日

一九四三年六月廿日、一九四三年十二月八日、一九四四年五月十日、一九四五年七月九日、一九四五年八月九日

十三、カイロ宣言発表の日

一九四一年一月一日、一九四一年五月一日、一九四二年二月一日、一九四三年十二月一日、一九四三年八月一日

十四、サンフランシスコの八日午前十時は東京の何日何時か

八日午前四時、八日午後十時、九日午前二時、九日午後一時、九日午後十時

十五、日本の石炭生産高（昭和廿五年度）

三千八百万トン、四千八百万トン、五千八百万トン、六千八百万トン、七千八百万トン

十六、日本の米生産高（昭和廿五年度）

五千二百万石、六千二百万石、七千二百万石、八千二百万石、九千二百万石

十七、日本政府の一般会計本予算の総額（昭和二十六年度）

五千六百億円、六千六百億円、七千六百億円、八千六百億円、九千六百億円

十八、次のうちソ連圏にはいる国

オーストリア、ポーランド、チェコスロバキア、アルバニア、スウェーデン、ハンガリー、ノルウエー、オランダ。

十九、次のうちサンフランシスコ会議の対日講和会議に参加した国

インドネシア、スイス、アルゼンチン、トルコ、イタリア、セイロン、ブルガリア、カナダ、イラン、タイ。

二十、「少年期」の作者。

坂西志保、坪田譲治、堀辰雄、波多野勤子、鈴木道太

廿一、「風と共に去りぬ」の作者。

パール・バック、ジョン・スタインベック、ドス・パソス、モリエール、マーガレット・ミッチェル

廿二、小説「武蔵野夫人」の作者。

大岡昇平、菊田一夫、国木田独歩、三島由紀夫、平林たい子。

廿三、日本の公務員（国家、地方）の数。

八十三万人、百八十三万人、二百八十三万人、三百八十三万人、四百八十三万人。

廿四、日本の人口は昭和廿五年度におおよそどのくらい増えたか。

五十万、百万、百五十万、二百万、二百五十万、三百万

廿五、衆議院（日本）議員の定員数

一六六、二六六、三六六、四六六、五六六

廿六、こんどの対日講和条約で日本の領土は戦前にくらべてどの位減つたか。

二五%、三五%、四五%、五五%、六五%

廿七、マーシャル米国防長官の後任者。

ロベール・シューマン、ロバート・ラヴェット、アニューリン・ベヴァン、アンドレー・グロムイコ、ディーン・G・アチソン

廿八、さきごろなくなつたフランスの名優。

シャルル・ボワイエ、ジャン・ルイ・バロー、モーリン・オハラ、ルイ・ジューヴェ、ジュリアン・デュヴィヴィエ

廿九、次の野球チームのうちセントラル・リーグ所属のチームの名。

阪急、名古屋、大映、阪神、大洋、南海、巨人、西鉄、広島、近鉄

三十、映画「羅生門」の監督

谷口千吉、今井正、藤田進、山本嘉次郎、黒沢明

記事作成 一、愛川論説委員が「朝鮮戦線先頃の膠着状態打開の国連軍方針」について十五分間講演、要旨を記事に作る。（原稿用紙二枚以内）

二、「笛の行方」という紙芝居を紙芝居業組合長川崎辰雄氏が実演これを論説、短評、文化記事、社会記事のいずれかのスタイルに書く。（原稿用紙二枚以内）

外国語（一時間）和文外国語訳（英仏独露中）英文和訳

パリ－東京－パリ ②

ジープが一台、馬場先門の角に、とまります。若い娘さんが一人それに乗つて、二人のカーキ・シャツの兵隊さんの間に、すわります。キャッキャッと笑いながら、髪の毛を風に波うたせて、娘さんはいきなりどこかに連れていかれてしまいます……銀座通りを、二人連れが、歩いています。水兵服とキモノ。男の頭が、女の肩に、のつかつています。二人は、しつかり抱きあつています……熱海行きの汽車のなかに、マニラ帽子をかぶつた「バイヤー」と、東京のワシントン・ハイツからやつてきた小柄なタイピスト嬢。もちろん日本の娘さんですが、口を合せて、ベーゼです……

＊

なんと皆さん自由なことではありませんか！　なんと凡てが、てつとり早いことでしよう！　何事も、なんとおおつぴらなことではありません。私は、吉田さんと同じように、祕密外交の信者です。

私は、その小柄なタイピスト嬢を、ちよつとわきに連れだしたくなります。（あの人がもつと美人で、足の指まで真赤に染めていなかつたらネ）いや、あのマニラ帽のバイヤー氏も、呼出した方がむしろ都合がいゝかもしれません。そこで、私はその二人に対し、いわゆる「封建時代」に行われていた熱海旅行の古い祕訣を、さずけてやるでしよう。

日本が、デモクラシーの海の中を泳いでいる現在でも、私は確信をもつているのです。その古い祕訣こそは、バイヤー氏にも、タイピスト嬢にもおそらく気がついていないような喜びを与えることになることを。

＊

彼氏、彼女とは別々に、一足先に、たつた一人で駅にやつてくるでしよう。そして、駅のホールに、待ち構えます。柱時計に向きあつた小さな花屋の店の前に、そしらぬ振りで、待つのです。

今度は彼女が、一人でやつてくるでしよう。もちろん二十五分はおくれてネ。（デモクラシイだろうが、なかろうが、それは忍ばねばならない掟です）郊外電車の乗客の彼方に、いきなり彼氏は、彼女の姿をみつけるでしよう。広いホールの向う側、柱時計の下に背をもたせ、彼女はつまらなそうな、浮かぬ顔です。煙物を煮ています。二人は、遠くから顔を見合せ、といつて微笑もかわさずに、別々に出札口に行つて熱海までの二等切符を買うでしよう。二人は、巡査や、駅長や、すべての制服の人間の眼をさけてあくまで離れ離れに、プラットフォームにのぼります。そして、めいめいの列の尻について、同じ列車の両端から、乗りこむのです。二人は、いくつかの椅子

風俗

こっそりか？

ロベール・ギラン

JAPAN NEWS
Japan's Best English Newspaper

Order from your local newsagent
Or send a postcard to:
JAPAN NEWS
No 6, 7-chome,
Ginza Nishi, Tokyo
Only ¥150 (delivered free every day)

Editor and Publisher: Mr Gordon Jenkins
News Editor: Mr A. Balhorn
Printer: Mr E. Rowney

Produced in the highest traditions of British journalism

★ NEWS
★ FEATURES
★ BUSINESS PAGES

Independent — Factual — The Foreigner's View

をへだてて、坐ります。お互いに、遠くから、頭の毛だけしか見えません。あるいは、こゝらで、互いに背伸びをして、ニッコリ笑うことにもなるでしょう。

＊

車掌が切符の検査にやってきます。もちろん車掌は、自分をとりまく陰謀のあることに気がついておりません。五つも椅子がはなれて、鋏を入れたこの切符と、あの切符とが、よくきれたトランプのハートの王様と女王のカードのようなものであることを、車掌さんは知らないのです……

「アタミ！……アタミ！……沼津方面の方は乗換え！」……二人とも、別々に、汽車から降りました。もう夜になっています。駅を出ます。右へ下る坂を曲りながら「彼氏」は自分のうしろに、足音を聞くのです。「彼女」は「ゾーリ」をはいています。歩くたびに、パタパタパタと、音がします。音は近づきます。ずぐそばにつゞきますが、ぴったりくっついているわけではありません。海岸通りの低いところに、赤いランプをつけた交番があります。警官殿は、外国人が独り寂しく、そぞろに歩いているなと思って見るばかりです。

たれも、なんにも、気がつきませんでした。たゞ、二度にわたって、別々に、玄関の戸が開いて、閉まった音がしただけでした。ところが間もなく、外人の靴とゾーリとが、玄関のタタミの前にきちんとそろえて置かれました。それは、なんだか笑っているように、見えました……

まあ、そういった調子だったのです。そんなに古い昔のことではありませんが。

そこで、バイヤー殿よ。まだ貴方の知らない祕訣は、いくらでもあるのです。もし貴方が、祕密の素敵な世界を知りたいと思うならばネ。たとえばシネマで、隣りの椅子に並んで坐るといったことにも、なかなか大変なくふうがいるのですよ！　あるいは、日比谷公会堂の音楽会です。二枚つゞきの前売券を買って別々に持っておいて、その日がくると、ちょうど祕密文書の半分ずつがぴったり合されるように、二人が一緒になるといったこともあるのです。また、別別に家を出て……都電の六番線電車の停留所の両端で、もいうはっきりしないランデヴを約束して……待ちに待ったあげく、見失ったかと心配しながら、終点まで来てしまいます。そして、最後の町を後に、御嶽山の森の入口で、遠くから姿を互いにみつけます……こゝから先は、あゝなんとすべてが自由だったことでしょう。バイヤー殿よ、御嶽の山のなかではネ！　こっそりやればこそ、なにもかも貴い喜びだったのです！

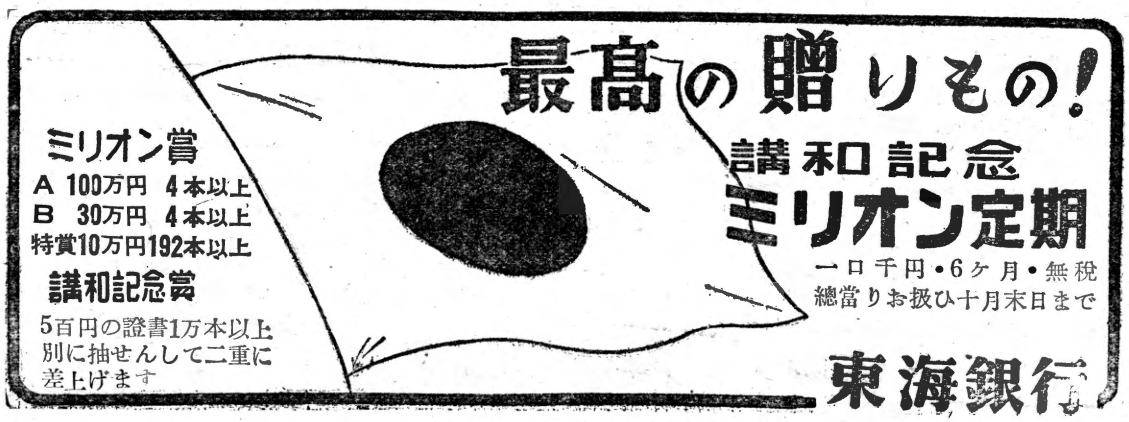
＊

バイヤー殿、こうして私は非民主的な習慣を、捨てるつもりはないのです。戦争の時代から、私は封建趣味をしっかり持ちつゞけています。私は、汽車や電車で、旅をすることが好きなのです。どんな時でも、こっそりと、そして、しんみりしたことが、すきなのです。

（筆者は仏、ル・モンド紙特派員）

アヴェック
—おおっぴらか？

岡部冬彦・画



市川笑猿（歌舞伎俳優）

笑猿改メ十代目岩井半四郎の〝顔〟、実にいゝ顔である。目がつぶらで、いたずらッぽく、二重まぶた、鼻筋が通つて口許がきりゝと締まつて、色白で、じッと向い合つていると、よく言う言葉だが男でも惚れたくなつてしまう。この顔が売れ出したのが先ず映画「帰郷」のアプレ青年から。続いて今年三月の歌舞伎座「源氏物語」の少年光君。この二つで俄然美男相場の最高線へ突き上げられ先輩美男長谷川一夫、市川海老蔵の塁も、相手が若く発剌としているだけに、今や危しというところ。爾来新派へ借りられたり、映画へ呼ばれたり、いい男を欲しい場合は引ッ張り凧で、現に十月興行再度の「源氏物語」上演には歌舞伎座出演中（この舞台で半四郎襲名披露）だが、その初日の一週間前までは映画「鞍馬天狗」の撮影に京都へ引ッ張られ、「源氏」再稽古のかつ〳〵にやつと間に合つたというキワドイ持て方で、それも同時に申込まれていた「江戸五人男」を左右衛門と撮る筈だつたのを、半四郎襲名宣伝のために、やつと断つて歌舞伎座出演が叶つたのだという。美男相場、かくて上昇するばかり、若い身にとつてはこゝらが最も危険期間。

が、世間はそうでも師匠猿之助と、僅かばかりの劇通の間ではもッと以前から彼の珠玉を知つていた。筆者が彼を発見したのは戦争中、明治座で演つた時の「高野物狂」の子役からだつたが（彼、十五歳）、その前には東宝重役の一人が彼を珍重し、例の解散した東宝劇団に迎えていろんな役をつけた。だから初舞台の子役は八歳の時の、水谷八重子の「侠艶録」（有楽座）である。「馬方三吉を演る子役が急に出なくなつて、何にも知らない僕が代役をすることになつたんです。それまで僕、芝居だの映画だの大嫌いでね。そんなもの観に行く位なら寄席へ行きました。近所に（新宿区四谷一丁目一九踊り師匠花柳寿太郎の息子、本名仁科周芳。廿四歳）喜よし—寄席—があつたでしよう。だから子供ひとりでもよく寄席へ入つていました」と当人も言つてる。

踊りは父親仕込みだが「紺屋の白袴で自信はありません」という。「お父つあんは平常どんなことを言つて君を訓戒しているか」ときくと、「最後はお前一人だ。自分の事は自分で考えて始末しろ。とよく言われています」と言う。岩井半四郎襲名のことに就ては、「歌舞伎社界には、僕たちの馴染めない仕来たりがありましてね。相思の深い女ができているのに、それを泣き別れして名家と縁組している先例が沢山あります。名の有る系統を踏んでいないと出世ができない伝統のワクなんですね。

だからそういう結婚はつまり政略結婚なんですよ。僕のは結婚じやありませんけど、やつぱり政略襲名の一つですかね」と頗る率直である。何もかも明けッ放しでよく語るが、ひとの結婚の噂をしながら、自分の事になると口籠る。「或る雑誌に女房もある、子もあると書きたてられて困つてますよ。（否定しないでコソばゆく笑つてる）でも、それが出てからファン・レターが殖えているんですよ。ファンですか？ 学生、生徒が多いですね。今も家を出て来る時に二通来ていましたけど、一つは十四になる茨城の娘さんでね、うちが薬問屋らしいんですよ。お体を大切にして下さい。あなたの体に要る薬なら、うちになんでもありますから、言つて下されば直ぐお送りします。なんてあるんですよ。子供、中学生、大学生が多いですね。可愛がつて——というのは僕がよく喋るもんだから面白がるのでしようか立派な会社の重役さん方と、それに師匠（猿之助）が実によく可愛がつてくれます。今度の襲名だつて師匠が先立ちになつて骨折つてくれたんです」

礼儀は忘れていない青年だ。師恩を忘れないために十二年間名乗つた「笑猿」はそのまゝ俳号に頂き、虚子の所へ通つて「古池や——」もやつているという。演劇の素質は十分に、筋も良いと思うが、それが十分に発達するのは先のお楽しみで、今までのところは可愛さと美しさで売出して来ている俳優だ。それだけに不安も危険も絡んでいる。好酒、晩酌二合ずつ、呑んだくれの失敗もあるらしい。明治大学文芸科卒で、歌舞伎俳優中では屈指のインテリだが、その明快、軽快な顔と挙動を見ていると、寧ろ岩井半四郎なんて古臭い名が無残な位だ。

秋は音楽と共に訪れる！

レコード演奏は勿論ラジオの感度，音質共に絶対自信を以ておすゝめ出来ます。

5球スーパー兼用電蓄
￥ 29,600

Columbia

コロムビア電蓄

異本 宮本武藏 ②

荻須貞次

無記名・利廻年7分2厘8毛余

御遊金は安全地帯へ!

割引商工債券

9.321円20銭
払込めば一年後に1万円で還る

取扱店 和一興村 大山日野 各証券

商工組合中央金庫

東京都中央区京橋1の10 電話京橋(56)8851—8

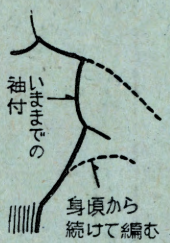
婦人のメモ

秘訣御案内

今秋の編みもの

昨年は編物が、洋裁に接近し、今年は洋裁の中に入つたという感じがいたします。これは大変よいことだと思いますが、あくまで毛糸の本質を忘れず、型の上からも、経済的にも、労力的にも生地で作つた方がよいと思われるような無理なデザインは、絶対にさけるべきだと思います。いままでのスエーター、カーディガンと今年の型を比較して見ました。

今年いちばん多く見られるドルマン・スリーブは、いままでの袖付と違つて、身頃から増目をして続けて編む、つまり袖付の縫目が無いのです。袖がゆつたりして着よいもので、このために余計いる毛糸は1オンスか2オンスにすぎません。袖付の寸法は好みの型によりますが普通のドルマンでしたら26センチから30センチまでです。（木村鞠子）

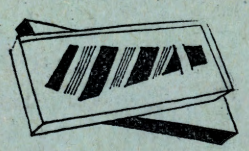


変りドルマン。袖付を大きくする

結婚祝のベストセラーズ

そろそろ結婚のシーズン、何か贈物をということになると選択がむずかしい。都内主要三デパートの販売実績からみた贈物ベスト・ファイブ（ただし五百円から千円まで）を御紹介しよう。

婦人用❶ヒメ鏡台❷チリ面フロシキ❸花ビン類（有田焼ほか）❹電気スタンド（特に寝室用）❺ハダ着類（日本橋三越）



❶チリ面フロシキ❷帯メ❸電気スタンド❹ウール・スカーフ❺クツ下類（銀座松坂屋）❶ヒメ鏡台❷化粧道具❸チリ面フロシキ❹電気スタンド❺ハダ着類（日本橋白木屋）

紳士用❶ネクタイ❷ワイシャツ❸クツ下❹マフラー❺皮手袋（日本橋三越）❶ワイシャツ❷ネクタイ❸クツ下（二、三足組）❹革バンド❺タバコ・ケース（銀座松坂屋）❶ワイシャツ❷電気スタンド❸シッ器類❹ネクタイ❺ハダ着類（日本橋白木屋）

結局一位を五点として採点すると婦人用ではチリ面フロシキが十二点でトップ、ヒメ鏡台十点、紳士用ではワイシャツ十四点、二位ネクタイ十一点という至極平凡な結論が出た。結婚の贈物とはいえ、むかしと違つて今は家庭的実用的なものが、この値段の範囲では愛せられているという。

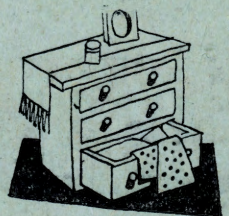
虫干しをするには

虫干しの時期は年二回。ツユ明けと、これからの十、十一月。前の場合はツユの間の湿気をサッと乾かす程度で、本格的にやらねばならぬのは秋である。虫干しというとすぐ「土用干し」の言葉が浮び、夏やるものと考える人が多いが、夏は湿度が高く、效果なく、注意もマメに行きとどかない。気温廿度、湿度六〇%以下の十月初旬以後がよい。

虫干しの日は雨があがつて二、三日たつた晴れた日を選ぶ。時間もすつかり空気が乾いた十時から三時頃まで。夕方まで干すと、かえつてシメつぽくなる。

虫干しといえば、とかく行李の底からタンスの奥まで、全財産を一ペンに干すが、これでは拾收がつかなくなる。面倒でも少しずつ何日かに分けてやること。すると一つ一つの衣服の始末にまで気が付くし、虫干しも丹念にできる。

干したあと、タンスなどにしまう場合、防虫剤と一緒にアドソールなどの乾燥剤を入れておくとよい。（日本女子大教授・上田柳子氏談）



ほろにが問答

問　ビールで月給をもつていた官吏がありました。どこの国の話でしよう？

答　今から五千年前、バビロニヤの官吏です。文献によれば、高級官吏は、労働に従事する最下級者の五倍の量を給与されていたそうです。バビロニヤではビールが通貨であると共に、経済価値の表準であつたわけです。どなたですか？　バビロニヤの官吏になりたいなどとおつしやるのは。

アサヒビール

週刊図書館

和辻哲郎氏の著書

『埋もれた日本』

和辻哲郎著

「埋もれた日本」という題名は、本書に収められた著者の近作二十篇の評論、随想のうちの、一つの論文の題名である。ところがその題名は、中央公論に論文を発表する際に、同誌の編集者の希望によつて、そのように付けられたのであつて、著者の真意でもなく、また論文の内容を示すものでもないのだそうである。そして今度また、そのように著者の真意でもない題名が、著作集全体の題名となつたのも、やはり著者の真意ではなく、出版社の希望によつたのであつて、従つてこの題名は、本書の内容とは何の係わりのないものだと、著者は「あとがき」の中で断つている。

実に厄介千万な題名だと言わなければならない。この「埋もれた日本」という題を付けられた論文の、本当の題名は「吉利支丹渡来時代前後における日本の思想的情況」というのだそうである。題名はまことに長く、いきさつは複雑であるが、内容は至つて簡単なものである。室町時代末期に流布されたと推定される「熊野権現の縁起物語」や「厳島神社の縁起物語」の中に、首を切られた母親が首のないままで乳児を育てたという話があるのを根拠として、日本にもキリストと同じ苦難の神があり、復活の神の思想があつたのだとし、だから外国から宣教師がやつて来た時、日本の民衆にはキリスト教の教義が理解しやすかつたのだと説いている。

また北条早雲とかその他の、当時の武家の書いた家訓書の中に、文章の言葉使いから、彼の個性を論じていく一篇などは、非常に興味も深く、優れた随筆だということが出来よう。この著者の特長は、自分の体験を通し、それを生き生きと語つていく文章にあるように思える。なにか学問めかして、難しい言葉で理論を語ろうとするとき、この著者の弱点が現れるようである。だから「亘椋池の蓮」の印象を記し、「京の四季」を語る時は面白いが、「二条離宮の障壁画」に、東西美術の比較論を試みようとすると何かコケおどしのようなむなしさを、その文章の背後に感じさせられる。感受性の鋭さを生かすべき人であつて、地味な実証的な研究の上に始めて成り立つ理論を語るべき人ではないように思われる。著者の長所と短所の両端を示す論文や随筆が、一所に並べられてある点で興味のある本である。（SUN・I）（B6・三二四頁・三八〇円＝東京都新宿区矢来町七一　新潮社）

「手習学文すべし」とか、「道理を知れば迷いなし」などと書かれてある言葉を根拠として、当時の日本には、ヨーロッパにおけるルネッサンス以後の近代精神と同じような合理主義の思想があり、学問芸術への動きがあつたのだと説いている。

そのような合理主義の思想が、日本で育たなかつたのは、徳川家康の政策のためであつて、もしそうでなかつたならば、徳川時代の「日本の思想界は十分ヨーロッパのそれに伍することができたであろう」という結論である。これは随分大ザッパな議論で、お茶でも飲みながら、思い付きとして語るにはよかろうが、一つの論文としては、少しも研究された跡がない。まことに近代的ならざる論文である。これは本書の中で一番長い論文であるが、一番つまらない。

本書の中で一番面白いのは、漱石や藤村について、著者の思い出を書いた随筆である。殊に藤村の

『結婚について』

レオン・ブルム著
福永英二・新関嶽雄訳

一九〇七年に刊行されたこの本は、三十年後の一九三七年の再版で急に社会の問題になつた。それは、当時著者が人民戦線の花形、フランスの首相であつたことにもよるが、主な理由は、内容が革命的であると同時に、一般大衆が結婚という大きな問題について真剣に考え始めたからでもある。

著者はこの本で、結婚という観念に付随する法律上の問題とか、契約の形式には全然触れず、ただ日常の経験と観察から、今日行われている結婚がどんなにわれわれの理想や幸福から隔たつているものであるか、それをどのように改めていかなければならぬかを究明したのである。著者はこの本を妻に捧げているが、「私がこれを書くにいたつたのは幻滅や恨みがましい感情に動かされたのでなく、むしろ幸福な一人の男によつて感謝の思いをもつて書かれたのだ」と断つている。

著者は、今日行われている一夫一婦制度が悪いというのではなく、それを誰にでも押しつけ、他を不徳義とする狭い考え方を非難しているのである。彼の結婚論を端的にいうなら、もう身を固めてしまつても大丈夫だという確信がつくまで結婚するな、ということになる。では、その確信はどうして生れるかということになるが、人間は、男女ともに結婚生活に不要なものをたくさん身につけているから、先ずそれを発散させ、安定した状態に入つた時にのみ結婚

わつじ・てつろう＝明治廿二年三月兵庫県生れ、満六十二歳。一高を経て東大哲学科卒。学生時代には小説の筆を執つたこともあり、京大、東大、放送局に歴任して、昭和廿四年停年退職した。文博、学士院会員。「ニイチェ研究」、「古寺巡礼」、「日本古代文化」、「風土」、「倫理学」、「鎖国」などの著書多数。（東京都練馬区練馬南町二の三八三八）

しろ、というのである。本能的な嫉妬、理性で抑えることの出来ない情熱、青春にともなう軽い淫奔性、非現実的な野心などをそのままにして、厳しい訓練と理性の判断が必要な結婚生活に飛び込むのは、あまりに冒険的で、危険が多い。よし抑えつけて結婚したところで、何時かは恐ろしい力で爆発し、放擲がつかなくなる不用な本能や情熱を焼きつくし、もうこれで大丈夫というところに到達したとき、始めて結婚によって休息と堅実さとを獲得するのだ。というのが著者の結婚論なのである。

言い換えるなら、著者は、結婚は堅実で永続的なものでなければならぬのであるから、それを妨害する激情を先ず発散させなさい、という。従つて、日本のように年頃になつたとか、家の事情によるとかで結婚するのは危険である。それでは、後日、物足らない時期が来て、眠つていた本能が突然暴れ出したときに、結婚生活は混乱してしまう。今までは家庭とか社会の圧力でごまかしたり、抑えつけたりして来たが、もうそうはいかなくなつた。そうかといつて、著者の結婚論を今日実際にやつて見るのは気の毒な結果になる。著者は、この本の最初の数頁で結論を出し、後は全巻を通じて誤解のないようたくさんの具体的な例をひき、男女の成長の過程とその時時の問題をどう解決するかを述べている。彼は、知性の発達した道理のわかる人たちを対象として議論を進め、彼等の経験に基づいて反省をうながしている。従つて、彼の結婚論は、成熟し、判断力のある大人の見解で、男女の交際や性生活について知性も良識もない今日の青年男女が放縦、淫奔な行動をやり出しても、罪は著者にあるのではなく、読者にある。

レオン・ブルム Léon Blum
＝一八七二年パリ生れ、高等師範卒。一九一九年下院議員に当選、二四年社会党の党首となり、三六年ナチスに対する人民戦線を結成、第一次ブルム内閣を組織した。第二次大戦中は、ナチスの手で監禁されたが、四六年には第三回目の首相となり、戦後の復興のため活躍した。五〇年三月急死。「スタンダール論」「回想録」「人間の尺度」など著書多数。

『加賀騒動』

村上元三著

伝説の「加賀騒動」では、大槻伝蔵は、加賀の殿様前田吉徳の妾お貞と結託し、主人や他の妾の子供を殺し、お貞の子供を加賀百万石の後嗣ぎにしようとする悪人である。作者はこの伝説を覆し、大槻伝蔵を才腕すぐれた人物とし、吉徳にその器量を認められ、茶坊主から三千八百石の重臣へと出世する。異常な立身出世をし、吉徳の信頼を一身に集め、藩政にその意見が重きをなすに至つた大槻伝蔵は、藩の年寄、前田土佐に憎まれる。大槻伝蔵が吉徳のために忠勤をはげめばはげむほど、彼は前田土佐の憎しみを買う。そして吉徳が病死した時、その後を継いだ前田宗辰を手中に入れた前田土佐により、大槻伝蔵は、無実の罪をきせられ、流刑に処せられることとなり、その配所で自害して果てたというのが、作者の新しい解釈によるこの「加賀騒動」である。

だから題は「加賀騒動」でも、内容には少しも御家騒動が出て来ない。出て来るのは、少し間の抜けた偏狭な前田土佐という人物の大槻伝蔵に対する嫉妬と憎しみだけである。それほどにもこの小説では、大槻伝蔵という人物は、正直な忠勤一途の、そしていくらか気の弱い男になつている。どうして彼が人から憎まれるのか、その理由がサッパリ判らない。立身出世の早い人間は、人から憎まれるものだと割り切つてしまえば、それつきりだが、それでは小説にならない。

善意にして才腕すぐれた人物が自分の仕える主人によつて信頼され重く用いられる。ただそれだけのことで人から憎まれる。そして自分の過失でもないことで、自分を滅ぼさなければならないこととなる。これは悲劇である。作者は

結婚式場・御写真
東條會館

おことわり

九月十六日号で紹介したハウザーの「若く見え長生きするには」について、その後判明したところによると、この著者は、専門的な栄養学者というよりは、栄養学的事業家で、いろいろふしぎな信者を作つているという説がある。この栄養法に従つて別に害はないのであるが、著者のいう通り実効があると単純にお考えにならないように、念のためおことわりしておきます。

（SUN・L）

むらかみ・げんぞう＝明治四十三年（一九一〇年）二月朝鮮元山生れ、満四十一歳。青山学院卒。長谷川伸氏の門下で、昭和九年「利根の川霧」（サンデー毎日大衆文芸）でデビュー、同十五年「上総風土記」で直木賞をうけた。夕刊朝日に連載した「佐々木小次郎」によつて、大衆文壇の第一人者となる。（東京都目黒区上目黒五の二六一五）

この悲劇を書こうと思つたのであろう。

この悲劇が小説となるためにはどうして大槻伝蔵が人から憎まれ、一番全部を敵に廻さねばならなくなつたのか、その経緯が読者に納得のいくように書かれなければなるまい。残念ながら、作者は成功しなかつた。始めから大槻伝蔵は憎まれることになつており、前田土佐は憎むことになつている。それで大槻伝蔵は身を滅ぼすことになつている。これでは大槻伝蔵――前田土佐も人間ではなく作者に都合のいい人形にしか過ぎない。

話を面白くするために事件を作り上げ、その事件の中に人物を嵌

らせて行く作者の手腕は、なかなか見事である。大槻伝蔵と四人の女との関係の描写も巧みである。安宅郷右衛門という浪人の使い方もうまい。しかしそれは話の面白さであつて、小説の面白さではない。作者はこの小説で、大槻伝蔵という人間を描こうとする野心を持つたのである。それに成功すれば、大衆小説に新しい境地を開き得たはずである。だがそれは成らず、やはり大衆小説に終つてしまつた。

この小説は享保十五年から寛延元年まで十九年間の出来事を扱つているが、その間に活躍する人物の年齢が、事件の進みと一致せず勝手に殖えたり減つたりするのは困りものである。それともう一つこの小説は雑誌に連載されたものを纒めたのであるが、分載された場合には、幾度も同じ説明が繰返されても、それも読者の便宜とはなろうが、一冊に纒める場合にはこんなうるさい重複は当然削るべきであろう。この作者に、もつと自分の作品を大事にすることを勧めておきたい。（SUN・I）

（B6・三四五頁・二五〇円＝東京郷千代田区有楽町毎日新聞社）

『日本占領』
ロバート・A・フィアリ著　日本太平洋問題調査会訳

これは、日本の降伏から一九四七年の末までの占領政策を説明したエドウィン・M・マーティン著「連合国の日本占領」の続篇で、それ以後一九五〇年前半期に至るまでの政策の発展と問題の所在を示した解説書である。占領政策は一九四八年以後になると「最初希望されたよりも思わしくない経済環境のなかで」推進しなければならなかつたり国際情勢の変化からしばしば計画を変更し、またその計画を破壊する内外の力にも対抗しなければならなくなつたりして問題がはなはだ複雑になつた。それだけに本書は前篇よりも占領政策を判断する手がかりが多く、もともと米国国民のために書かれたのではあるが、講和後、自らの手によつて処理しなければならないわれわれにとつては、本書は適切な、またよくまとまつた手ごろの資料を与えてくれるのである。

著者は当初から占領政策に関与し、現在もワシントンの国務省極東局に勤務しており、資料の出所は信用してよいであろう。グルー大使の秘書として戦前の日本をも知つている人であり、その見解も良識と経験のある米国人の見解ではあるが、そのまゝが米国当局、あるいは米国民の大多数の考えであるときめるのは、判断をあやまる誤れがあり、どこまでも著者個人の見解であることは知つておかねばなるまい。

七つの章に補遺と統計附録が加えられ、連合軍総司令部の機構と対日諸関係、戦争犯罪人の審理、教育、労働、農業、経済諸機構の改革、内閣と諸政党の運動、貿易、海運、外資導入、税制改革、人口問題、講和問題など、その発展の跡が残りなく要領よく記述されている。しかし何しろ数年にわたるさまざまの事蹟とその見解が二三〇頁ばかりに要約されているので、楽に寝ころんで読めるというような本ではない。それに、例えば人口問題の如きは僅かに四頁で、知りたい解決の方策については示すところがないというような不満足もまた免れ難い。

占領政策の問題は民主化の問題に帰着するともいえるのであるが、政治、経済、社会の法制機構を改めることが必要とはいえ、国民が日常生活についての民主的態度を身につけ、それに相応した生活様式を生み出すことが出来なければ、そうした法制、機構の改革も生きたものにはなるまい。著者は、日本人は「実際的であり、もし事情が必要とするなら順応性を発揮する国民」だから、早晩民主化をなし遂げ得るであろうと、やや楽観しているのだが、思慮をめぐらすことなく、外部的事情にただ順応しようとする性格があるからこそ、これまで失敗もして来ているので、すでに日本的という名において民主化に逆行する傾きも出ている時であり、順応性を当てにするのは、むしろ危険であろう。ものを合理的に考えて、理のあるところに就く精神を養うことが民主化の根本だと思われる。

講和問題について述べられている章の中で、ソ連、中共を加えない対日講和の不利益を考察し、連合国は「日本問題について、米・ソ二大陣営の正面衝突の可能性という危険を十分に考慮に入れなければならない」としている。日本人自らが、これまでこの問題について果して真剣にあらゆる可能性を理を尽して見きわめる努力をして来たかどうか。たゞの順応性の発揮ではなかつたか。今日にしてもなお反省する価値のあることである。

本書はさまざまなことを教えるが、もし読者が、米国が自らの意思を貫くにいかに強固であるかを読み取り得れば、それだけでも有用であろう。（SUN・J）（B6・二三五頁・二三〇円＝東京都千代田区神田駿河台　弘文堂）

ロバート・A・フィアリ＝Robert A. Fearey　米国の新進外交官。ハーヴァード大卒後、一九四一―二年にグルー駐日大使の私設秘書となり、太平洋戦争勃発後、交換船で帰国。四五年連合国司令部政治顧問、四六年九月北から国務省東アジア局員として勤務している日本通。本年一月、対日講和特使ダレス氏の随員として訪日。卅二歳。

徳川夢声連載対談

問答有用

（第卅一回）

服部一良氏

服部良一（はっとりりょういち）

横山泰三・絵

初対面はAKで紹介され一寸挨拶、二度目は国電の中で、そしてこれが三度目ぐらいの対面である。別に親交はない。

放送「世界の音楽」が始まった時、さる玄人仲間から〝あれだけの編曲者は、アメリカにも少いと、GHQのさる士官がいってた〟という話を聞いた。

果してその通りであるかどうか、素人の私には判断がつかない。が、彼が或る種の天才的人物であること、そして彼のブギが日本を風びしたこと、こいつは確かな事実だ。

ただ、私の受けた印象では、彼があまりにも軽音楽第一で、人生の総てをそれで簡単に割りきった恰好に見える点、いささか物足りない。

従来の日本の歌謡曲なるものは、殆どが所謂「コジキ節」であった。もつともこいつ、考え様によると〝民族のメロディー〟であるから、私は全面的に否定はしない。しかし、そればかりでは情けない。そこへ彼が出現して、ブギ・ウギで、心ウキウキさしてくれたことは結構だった。（夢声前白）

最初のブギ「荒城の月」

夢声　久保田万太郎さんとの対談で、改良剣舞というものの話が出たんですが、これは男と女がハチマキをしましてね、（フシをつけて）「牡丹に唐獅子ィ竹に虎ァ、ジャジャンボン」てな調子でやるんです。この三味線のひき方が、いまのブギ・ウギに似てるんですよ。

服部　それは知りませんが、馬鹿踊りだとかお座付き三下がりというような、いわゆる返しバチ、ジャズのほうでいうアフター・ストローク、これでやる三味線はやつぱりブギと共通のものがありますね。あちらの歴史を見ると、ブルースからブギが出たというんですが、はじめはブギ・ウギといつてもわからないから、ぼくはウキウキとかズキズキとか、語呂あわせみたいにして説明したわけです。

夢声　あなたがブギを手がけたのはいつどろから……？

服部　昭和十七年にアメリカから「ビュールコール・ブギ」とかいう名前の楽譜が入つてきた。その時分には考えつかないような、突飛なもんです。ピアノがアフター・ビート（後の拍子）でやつてくると、聞いておつて興奮してくるんですね。これは面白いテであると思つて、ブギともなんともいわずに「荒城の月」の曲でぼくは使つてみたことがあるんです。昭和十九年、ぼくも徴用されましてね、石黒（敬七）旦那、高見順、佐伯孝夫なんかと一緒、音楽では堀内（敬三）さんとぼくと仁木他喜雄と三人です。一行は漢口と上海と広東へやられたんですが、ぼくは上海にとゞまることになつた。「シナの連中と仲よくして下さい」という話なんで、ぼくはいろ〳〵中国の流行歌を調べたら、「夜来香」（イェーライシアン）という歌があつたんです。もと〳〵「夜来香」というのは三曲か四曲あつて、メロディーも歌詞もみんな違うんですがね、日本でいうと古賀政男か中山晋平みたいなもんで、なか〳〵面白い曲なんです。そこでぼくは四つの「夜来香」を集めて、ブギを取り入れたシンフォニック・ジャズを作つた。北京におつた李香蘭（山口淑子）を呼んで演奏会を開いたんですが、李香蘭おどろきましてね、「あたしはこんなリズムじや歌えません」というんです。「君はジャズの経験がないから無理もないが、最後にはこれしかない。ルンバじやクライマックスにならないんだ」といつた。これが上海でうけましたね。

戦争がすんで帰つてきたら、笠置（シヅ子）君とかいろんな歌うたいが「待つてました」というわけです。「日本のジャズを作つて下さい。いまこそあなたの時代だ」なんておだてられて、いろ〳〵やつたんです。しかし、ぼくの最後のきめ手はブギだつた。それをいつ出したらいゝかというので、たいへん苦労しました。ぼくは白井鉄造さんにいわれて、「ジャズ・カルメン」というのを日劇（日本劇場）でやつた。その時のトランプの歌とか闘牛士の歌は、みんなブギのリズムでやつたんです。

電車で浮んだ「東京ブギ」

夢声　ビゼーの曲を使つたわけですね。

服部　そうです。バイ・ビゼー、アレンジ・良一なんです。このとき突如、カルメン（笠置シヅ子扮す）のおなかが大きくなつた。（笑）さてその子供ができてから、なにかカム・バックぶりを華やかにしなきやならん。しかもその間に御亭主が亡くなつた。「センセ、たのんまつせ」というから、「実はぼくは東京ブギというものを考

えてるんだ」「なんですか、ブギつて」「君には、うつてつけのものだ。ぼくはこれをアメリカでヒットさして印税をもらおうというくらいの夢を持つてる。これをきくとジッとしてることができないような歌だ」……それまでは笠置君はあばれなかつたですからね。

夢声　日本では唯一のジャズ・シンガーとして、戦争中に軍から「あんまり体をウゴかすな」といわれた人ですがね。

服部　でも、いまほどじやなかつた。「これからのわたいは派手なことがいゝから、ぜひやらして下さい」というんです。それからぼくはニシオギ（西荻窪）へ帰る省線の中で一生懸命、何かいゝ出だしのメロディーがないかと頭をひねつておつたら（「東京ブギ」のはじめのフシを歌う）タータッタ、タッタ、タッタ、タタタ、タッタ、タッタというのが出てきた。これには、ぼくの「チャイナ・タンゴ」とか東洋的メロディーのエッセンスみたいなものがあるんです。この八小節を逃がしたら大変、ニシオギの駅の前の店へ飛び込んで、こゝのところ芝居みたいですけどね、ナプキンに鉛筆でアタフタと書きつけて、うちへ帰つてすぐピアノでやつてみた。最初の八小節がよけりやこつちのもの、「これはいたゞいたナ」と思つた。（笑）それから曲を幾たびか換えたけれども、この八小節だけは変らなかつたんです。

放送局でほかの歌の稽古の時に、ピアノでひいてみせますと、笠置君あんまり興奮しないんですね。「歌詞は頭だけできた。西条（八十）先生にたのんでも、藤浦（洸）さんでも駄目だから、自分で考える」といつてしばらくあつためておいて、さてどこで初演するかという問題になつた。東京でやるのがちよつとこわかつたんですね。大阪の梅田劇場でパッと出してみた。笠置君、どういう演出をやるだろう……。「この音楽に合わして、君の思うように動きやいゝ。ブギのリズムはエイト・ビート（八拍）だから、これだけは忘れんように」といつてまかしといたんです。ところが非常な熱演でね、「ヘイ！」といつたら、伴奏の間に、どつかへスッ飛んでいつちやつた。（笑）…またもどつてきていろんな身ぶりをやる。ぼくはおかしくてしようがなかつたですね。すんでから「あんな恰好してよく歌えるね」つていつたら、「歌う時は力ぬいて動いてる。むかしバレーをやつたから心得があるんです」といつていました。

梅田劇場へ笠置君がパッと出た

大阪じやあまり反響がなかつたけども、ぼくには成算があつた。日劇で漫画祭があつた時の、龍宮を扱つたショーのアンコール代りにブギをやつたんです。横山隆一、小野佐世男なんていうサムライが「こりや面白いじやないか」といつて歌詞を自分たちの部屋に貼つて、毎日歌つておるんですよ。笠置君も「大阪よりも景気よろしわ」といつて喜んでる。そこで二週間やつてる間に、火がついちやつた。山本嘉次郎が「春の饗宴」という映画の主題歌に使う。レコードにも入る。放送もやつた。かくしてブギ・ウギが世に出てきたんです。

夢声　そりやもう、えらい影響だつた。ぼくのやつてる「西遊記」の音楽は、オーケストラを使わないで、古関（裕而）君のハモンド・オルガン一点ばりなんですが、古関君なかゝ〳〵洒落を用いるんです。金角大王と銀角大王の時には、レハールの「金と銀」をやつたりね。（笑）こないだ、金兜山の化け物の子分たちが槍だの刀だので武技の猛訓練をしてるというところがあつた。そこで伴奏がブギ（武技）ですよ。（笑）美空ひばりなんかも、まさにブギの産物です。ノド自慢で笠置の真似をして、合格はしなかつたけれども大喝采、これがあの子の売り出す機縁になつたんですからね。

服部　それじや、ブギの親方は笠置君かというと、彼女の力ではまだ本当のリズムを把握することができない。動いてることも、エイト・ビートじやないんです。結局あのおもしろおかしい行き方が、非常にブギ的であるというに過ぎないんです。どうもブギというものは、歌では表現できないので、ピアノなんかを十分に使つてはじめていろんなビートが出てくる。そういう点でぼく自身も疑問を持ちだしたんですが、ブギの次には何を書くのかといわれても、アメリカでもブギはさかんだし、そう簡単には換えないんですよ。

ウナギ屋バンドに入団

夢声　東京の人間がジャズ、ジャズといい出したのは、大正八年ごろですね。

服部　大正十二年にはじめてぼくは音楽というものの洗礼を受けたですね。十七か十八の時です。音楽家になろうと決心したのは、大正十二年九月一日です。【小生はその時、神田東洋キネマの主任説明者で、まだ頭髪は黒々たり】

夢声　あゝ大震災の日……。それでこう（両手で揺れる形をしながら）ブギ・ウギになつちやつた。（笑）

服部　そのころ大阪で、三越とか高島屋に少年音楽隊というものがあつたんですがあの子の売り出す機縁になつたんですからね。

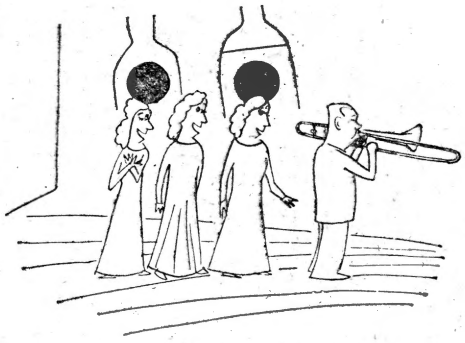
服部良一氏　明治四十年十月大阪生れ、満四十四歳。大阪音楽学校ピアノ科中退。音楽好きな家庭に生れたが、最初に音楽の基礎教育を受けたのは大阪のうなぎやが作つた少年音楽隊に入つてから。サキソフォンやフルートを吹いているうちに大阪フィルハーモニーの指揮者メッテルに作曲を学び大正十三年国際レコードを振り出しにレコード界に入つた。現在までに約二、〇〇〇曲の流行歌、六〇本の映画の伴奏音楽を作曲している。古くは「別れのブルース」「雨のブルース」「湖畔の宿」「白蘭の歌」戦後は日本を風びした「東京ブギ」をはじめ一連のブキものなど、ヒットソングは数知れない。現在ビクター専属。（東京都武蔵野市吉祥寺二四七二）

ね、これに負けじと、出雲屋というマムシ（ウナギ）屋が、だいぶ金もたまつたしバンドをやろうというので……。

夢声　ウナギのバンド、ね。（笑）

服部　出雲屋少年音楽団というものを作つたんです。ぼくは小さい時から、歌がうまかつた。教会へいくと、ボーイ・ソプラノで一番前で歌わされるし、学校でも必ず歌わされたもんです。姉さんが、出雲屋でこういうことをやるそうだから、志願してみたらどうかというんですね。その募集広告を見ると、赤い服をきてラッパ吹いてるところがかいてある。一生涯赤い服きてラッパ吹くなんていやだナと思つた。（笑）でもヒョッとその気になつて受けてみたら、一番でパスしちやつた。その入団式が九月一日ですよ。そこで三年ばかりやつてるうちに、経営の都合で音楽団は解散になつた。運がいいことには、そのころ無声映画からトーキーになる、レコードもラッパ吹込みから電気吹込みになる、ラジオができる、音楽方面のあらゆる情勢が変つてきたんですよ。ぼくが赤い服をきてやつておつたことが、いまやえらく重宝がられておるという気がしたので、いよ〳〵書く（作曲）ことを勉強し始めた。

ぼくはこんどはBKの専属オーケストラへ入つて、フルートを吹くことになつたんです。当時、エマヌエル・メッテルという外人が大阪フィルハーモニック・オーケストラの指揮者として迎えられたんですが、メッテル先生がぼくのことを「あの若い人、とても勉強家だから、うちへいつぺん連れてきて下さい」というので、連れていかれた。神戸の山の手です。「勉強しなさい。教えますから」という。「月謝を払つて先生につくということは、いまのわたしにはできません」「お金は要りません。もし偉くなつたら、なんでもわたしの手伝いして下さい」というわけで、その次にいく時、ぼくは無理して饅頭のカステラを持つていつた。その日から稽古なんです。カステラを渡すきつかけがない。「ちよつと……」といつて、やつとの思いで出したら、



その頃ぼくは道頓堀のダンスホールへアルバイトに行つた

「要りません、こんなもの」（笑）「こんなことしちや駄目です。勉強しなさい」こりやだいぶ勝手が違うわいと思つて、はじめから驚かされた。全然月謝とらないんですよ。それからはじめてメッテル先生からリムスキー・コルサコフのハーモニー（和音）を教えられた。それが後年、作曲に自信が持てた一つの動機です。少年音楽団からそこまできたのはとにかく運がよかつたんです。【大正三年の夏のこと、小生はその出雲屋で、生れて初めてマムシを食つた。代十五銭也】

夢声　ウナギのぼりですな。（笑）それで先生に恩返しをしましたか。

当時八十円のアルバイト

服部　先生の放送局の月給が六百円か八百円だつたのを、そのうちに、あんまり高いからというので下げてきたんです。メッテル先生がぼくに「服部さん、わたしは残念ですが、こんど放送局で月給下げましたから、来月からあなたの月謝もらいます」（笑）これはなんぼ取られてもしようがない。「喜んで払わしていただきます」そこでタダからいつぺんに前金で二十五円です。（笑）それを補うみちとして、ぼくはアルバイトを考えた。そのころ赤い灯青い灯の道頓堀のダンス・ホールでジャズを入れだしたんですが赤玉食堂にジャズ・バンドができて人を求めたので、こゝへ入つた。ぼくはサキソフォンを受け持つて、リーダーになつたんです。そうするとたちまちに夜だけいつて六十円か八十円くれる。ひるま放送局で百円近く入るし、その時分に二百円近い金をとるということは、ぼくの身分としてはちよつと不相応なものだつたんです。非常な御機嫌になつた。ところがぼくはその時分、酒を飲まない。女の子がヘンな目つきをしても「お前なんかに惚れられるもんか」……。（笑）

夢声　立志伝の巻だね。（笑）刻苦勉励したわけですな。

服部　それからじき、酒をおぼえたし女も好きになつたんですがね。（笑）

夢声　なんだ。（笑）

服部　そうこうしてるうちに、ぼくもだん〳〵野心が出ました。タイヘイ・レコードという会社ができて、それに関係して、作曲家として六十円か八十円……。

夢声　全部六十円か八十円ですね。（笑）

服部　その時分に、松平晃とかいろんな連中が大阪へ内職にやつてきよつたんですが、「服部さん、あんたの編曲は変つてるから、ポリドールでもどこでも紹介する。東京へいらつしやい」と松平君がいうんです。メッテル先生に相談して賛成を得て、東京に出てきたわけです。

夢声　メッテル氏は、その後どうしました？

服部　アメリカへいつてハリウッドの近くのビバリー・ヒルズで死んじやつたんです。先生は「君が代」を駄目だつていつていましたね。国歌というものは、どこの国の人が聞いても音楽的にいゝものでなければいけないというんです。

夢声　しかし、それほどの国歌はありませぜ、ほかの国のものでも。

服部　だけど、何か音楽として世界共通

週刊朝日の姉妹誌
婦人朝日
をお読み下さい
定価95円
お近くの書店か新聞販売店で

のものはありますね。「君が代」にはそれがないから、音楽としては面白くない。なるほどあれ聞くと「かえりみれば皇紀二千六百年……」という気にはなりますけど。

夢声　そこがわれ〳〵には魅力なんですがね。

服部　やっぱり、ジャズ屋さんとしては……。（笑）日本人の服部としては「君が代」結構ですけれどね、音楽家としてみると、あの音楽はハーモニーがつけにくいし単調ですよ。

夢声　そう、あれはちよつとブギ・ウギにはならんですね。（笑）

服部　ぼくは「愛国行進曲」をフォックス・トロットにしたことがありますよ。去年アメリカへいつた時に、ホノルルで放送局にインターヴューされたんですが、その放送で「軍艦マーチ」をやつてからぼくを紹介したのには、驚きましたね。「臨時ニュースを申しあげます」といつてから、これをやるんです。

夢声　「大本営発表」とはいわなかつたかな。（笑）「軍艦マーチ」は、むかし映画館の呼び込みの音楽に使つたもんです。それと「君が代マーチ」『日の出マーチ』ね、おきまりだつた。

服部　「君が代マーチ」を聞くと、ぼくは大阪の楽天地を思い出す。自動オーケストラであれをよくやつていましたよ。ぼくは明治四十年生まれですから、割りに古い音楽を知つてる。そのために、流行歌を書くのに非常にトクすることがあるんです。「さのさ節」「どん〳〵節」「まつくろけのけ」そういうものでも、いまの流行歌製造の助けになる。大正になつてからの中山晋平）先生の「さすらいの唄」「カチューシャの唄」なんか聞いて、胸がしめつけられるような気がしたもんです。いかに歌というものが若い人間の気もちを動かすかということを、体験してきましたから、たとえば「夜のプラットフォーム」をはやらしたら、これをどういう気もちで歌つてるかということを想像することができる。

アメリカで見た演奏には，する方も聞く方も一緒に興奮していたのがありました

夢声　服部さんは中山晋平によつて胸が迫り、あたしなんぞはちよつと違つて、三下がり都々逸などで感きわまりましたね。（笑）たとえばへそんなにヤマノカミがこわいのか――てえあの節ね、ぼくには悲しいんです。（笑）西洋音楽じや、ぼくらはそういう気もちにはならなかつた。【左様。雨の降る中、傘もささず、この三下がりを唄つて涙を流して歩いたことがあります。呵々】

服部　へあァ千葉行きィの終列車ァ――（芳川鎌子情死事件の歌）なんてのを聞くと、運転手でもあゝいゝことがあるのかと思つたり、（笑）女中でもいゝからだれかに惚れられたいナと思つたり、（笑）想いがちぐに乱れるんですよ。だから流行歌は魔もの、つくづくこわいことだと思いますね。

流行歌曲は明るいものを

夢声　服部さんを前において、いさゝかお世辞に聞えるけども、あなたの歌は陽気だからいゝですよ。おゝむね日本の流行歌は陰気でしてね、「右や左のお旦那さま」というような調子のものが多い。

服部　ぼくは改心したんですよ。前にはたいへん憂鬱な陰気な歌を書いていたんですね。たとえば「別れのブルース」「雨のブルース」「湖畔の宿」みんなそうです。少女趣味の淡いセンチメンタリズムにあきたらなくなつて、終戦後、方向を換えたんです。ことに最近は、明るいもので流行するんなら、そのほうがよつぽど日本のためにもなるじやないかということを、まともに考え出してきましたね。

夢声　陰気な歌は、ほつといてもはやるんですからね。……尾崎紅葉はあらゆる歌のうちで「しののめ節」が一番悲しいといつたそうですがね、へ何をくよ〳〵川端柳、氷の流れを見て暮す――なんてえところは文句も節も悲しい。その次にへしののめのストライキ、さりとはつらいね――といつといてへてなことおつしやいましたかネ――という、これが実に悲しさを現わしてる。（笑）これは日本人らしい言い方でね、外人なら、悲しいことはまともに悲しいつていいますよ。日本人は「悲しい……テナことおつしやいました」とくる。（笑）そこへいくと、「東京ブギ」などには、どこにも悲しいところがないからね、少しヤケになつたようなところはあるけども。（笑）

服部　そういわれるけど、ぼくは決してヤケ節じやないと思うんです。

夢声　ケンセツ的ですか。（笑）……こんどは少し、クラシック音楽についての御高説を伺いましようか。

服部　軽音楽と純音楽に分けること自体が、間違つておるんですね。軽音楽というものは完全に純音楽に入つていかなきやいけないし、純音楽の楽器の扱い方、解釈のしかたを知つていなきや、軽音楽というものは伸びない。山田和男君は「ぼくはいつも純音楽をやる人に、軽音楽を演奏するようにひとを楽しませるつもりで演奏してくれといつてる」というんですが、ぼくも軽音楽をやる人に「もつと音譜を大事にしてくれ。正しい音譜の読み方と正しい解釈のしかたを、もつと尊重してほしい。やたらに崩してヘラヘラやることが、軽音楽じやない」というんです。いまの軽音楽と純音楽のプレイヤー（演奏者）の違いをいえば、軽音楽の連中は、リズムのつかみ方が、シンフォニーのようなものばかりやつてる人とは違うところがある。これは知らない間にリズムの分解を自分でしておるわけです。同じリズムを繰り返して、いかに人生は楽しいかということを味わつておる。クラシックの人はそれをやらない。あんまり同じリズムをひくと、この音楽はつま

らないという。ジャズは同じものの連続です。純音楽のほうじゃ、ヴァイオリンがおもに活躍して、打楽器なんかポカンとしてるんですが、ジャズでは太鼓たゝく人もリズムを楽しみながらやっていますからね。

夢声　馬鹿ばやしの太鼓なんてものは見ているとわけないようで、あれもはやしに合わして打つためには、よほど稽古しなきやならない。それがラクにやれるようになると、あの人たちは、陶酔してやってるに違いないと思うんです。それから日本のツヅミも、こんな単純なものはない。「いよゝ、ポン」てなことをやってる。ほかの音、出やしません。（笑）ところがツヅミ打つ人はひとつ音だからつまらないなんていいませんよ。全心全霊を打ち込んでやってる。これが入るべきところでちやんと入ると、たとえば六代目（菊五郎）の踊りでもひき立つて見えるんですからね。ジャズもそういうタチの人でないと向かないな。

聴衆も演奏者と共に興奮

服部　金管楽器でも、純音楽のオーケストラでやると、三百小節も休んだりする。最後のにぎやかなところでないと、彼らは活躍しないんですよ。恋人でも聞きにきておつたら、まことに工合が悪い。（笑）ところがジャズになると、金管楽器はなんと花形ですね、トロンボーンでもトランペットでもサキソフォンでも。楽器の革命ですよ。太鼓もギターも目ざましく活躍する。いままであまり重きをおかれなかつた楽器が、それ〳〵独得の味を出すということになつて、プレイヤーの個人的な人権が尊重されたような感じがするんです。

夢声　むかしの楽士は、譜面通りに吹いたり叩いたりしないことを「ジャズる」といつたもんですがね、本格なジャズからいうと、自分の即興でグシグシとリズムを生かしてさえいれば、どうやつてもいゝというものなんですか。

服部　ジャズの初期には、楽譜通りでなくてたらめにやつておつた。ところがいまは楽譜にハッキリと「この通りにやれ」と書いてあるんです。それから「あなたのテクニックによつて自由にやれ」という時には、アドリブ（Ad lib）という記号がついておる。いまは作曲家とか編曲家というものから離れて、演奏家自身のテクニックで音楽を作りたがつておる時代で「お前この音を吹け」といわれるのがいやなんですね。従つて技術もどん〳〵うまくなつた。たゞリズムを楽しむ。クラシックの持つてるようなメロディーはない。しかし、楽器から楽器へ移つていく時の面白さ、これは楽器に自分の精神を打ち込んでる面白さです。アメリカ人の連中も、夢中になつてやつていますよ。演奏しながら、だん〳〵洋服ぬいでいきよる。（笑）あぶら汗ですよ。だから聞くだけでなく、見る音楽でね「どこまでやつたら倒れるだろう」という緊張した気もちで見てるんです。

夢声　山口淑子もそういつてたが黒人の演奏を見てるとたいへんですつてね。聴衆も一緒になつて凄く興奮するんだそうですよ。

服部　日本の女の子が、ターキーやなんか見て声を立てるのと同じような状態ですね。「子供みたいに……」と思うほど、興奮しているんです。

夢声　思わず声を出さずにはいられないんでしような。快感、不快感を超越した一種の生理現象としてね。日本にはまだそれほどの音楽はない。そういうものがあつたら、ぼくらも聞いて「ワアッ」と叫んでみたいですね。（笑）【今日の日本には真正のジャズなしという説もある。ジャズは本来、黒人の哀愁であり、黒人の慟泣号泣であると云う】

服部　シンフォニーとかコンチェルトの場合は、第一楽章、第二楽章、第三楽章、第四楽章というふうに長い時間かけて全部聞いてから、楽しみが与えられる。ジャズはそうじやない。ルイ何世時代に、ロウソクの灯の下でメヌエットを聞いたころとは感覚が違うんですからね。

夢声　原子爆弾時代には、ピカドン音楽がなきやいけない。（笑）

服部　やはりこういう音楽というものは日本で、はやるのが必然なんですね。ぼくらも日本の流行歌ばかりを相手にしておつたら、えらい間違いです。外国の流行歌をしよつちゆう見ていなきやいけないんですよ。だからアメリカへいつて何かを感じてくることが、大きな勉強なんですね。

夢声　アメリカへいかれた時に、非常に唸らされるような演奏を聞きましたか。

服部　しば〳〵聞きました。

夢声　そのしば〳〵のうち、にば〳〵ぐらいを話して下さい。（笑）

服部　新しいジャズでスタンケントンという人のを聞いたんですがね、これは不協和音の連続なんです。「ピーナッツ・ベンダー」（南京豆売り）のあの単調な音がタ、タ、ターでなくヒャ、ヒャ、ヒャー（ちよつと文字には現わしにくいフシギな発声）と聞える。これには驚きました。ドとレが一緒になつてる。いままではきれいな一本の音が快感を与えたのが、いまはこういうのを聞いて快感をおぼえるんです。ぼくはこれを聞いた時に、日本へ帰つたらこういうような編曲をしてやろうと思つた。鼓笛隊でよく演奏する、明治時代のメロディーを使つた行進曲がありますね。あれをピッコロ一本でピッ、ピッ、ピーとやるんじやなく、スタンケントン式にヒャッ、ヒャッ、ヒャー……。（笑）これでぼくは日本を幸福にしようと思つていますよ。（笑）

（速記・本誌　橋本正雄）

★本号は岡山県赤磐郡瀬戸町　水川道子さん案

訂　正＝9月30日号21頁2段目、夢声氏注の中、右から6行目の「有り得る」は「有り得ない」の誤植でした。

次回のゲスト　元国務大臣で朝日新聞主筆だつた緒方竹虎氏　二・二六事件秘話、親友中野正剛氏の逸話、戦後新聞論など。

膽石
膽嚢炎
黄疸・ネフローゼに
デヒコール
錠・注
製造發賣元　日本薬産化学株式会社
（東京都中央區銀座東8の13）
販賣元　田辺製薬・東京田辺製薬

妻を語る

井口秋子さん

秋子先生

井口基成

僕が学生のとき、既に先生で、遊学は殆ど同時、彼女はドイツに、こちらはフランスへ。帰国後、仲の悪い独仏が一緒になつたのだが、それからというものは専ら子供製造業で、八年半に六人の子供を立続けに生産して仕舞つた。しかし一番下の子が大分手が省けるようになつたので、またこの春から先生に逆戻り、これは他の人達も非常に賛成だし、当人もそれを是認しておさまつている感じだ。

よい処は、人の噂をいつたり、聞いたりしたがらないで、ものにこだわらないことと、或るものをあまり気前よく出したがらないので僕が助かること。即ちケチであること。

悪い処は、僕がいうことをすぐには肯定しないこと。即ちハイという返事が中々聞かれないことである。

とりも直さず、彼女は偉い。初めは、うちのやつと呼んでいたが、そのうち、女房になり、今ではうちの奥さん、または秋子先生に変つた。今度はなんと呼ぶようになるだろうか。（ピアニスト）

★宮城県刈田郡福岡村巻平

跡辺和子さん案

次回は時津風（元双葉山）氏

ら　小山いと子，中里恒子，円地文子，平林たい子　第三列左から　森田たま，
，横山美智子，阿部光子，峰　雪枝

今日の群像

女流文学者会

最前列左から　吉屋信子，宇野千代，真杉静枝，芝木好子　第二列左か
村岡花子，城　夏子，川上喜久子　最後列左から　阿部艶子，大原富枝

女流文学者会は戦時中にできて相当活躍したが終戦と一緒に解体した。戦後、鎌倉文庫の助力で再組織されて旧メンバーを整理し、新人を加えて三十七、八名となつた。ごく少数の例外のほか大体小説家中心である。

会の方針としては作家相互の親睦や向上、国際的な文化交流など、鹿爪らしい申合わせもあるがいまゝでは、集つて喋つたり、温泉に招待されたりの外、目ぼしい仕事としては、女流文学賞を出したこと位のものだつた。その間、宮本百合子氏林芙美子氏の相次ぐ急逝もあり、もつと積極的に団結をかためて、何かお互の役に立つことをしようということに期せずして気持が一致した。そこで、七月十日、鎌倉山の森田たまさん宅の例会の席上、会務をたのんでいたひまわり社から事務をとりかえすこと、文学賞基金の設定、事務所設置などの事務の方針の外、新人の激励や随時研究会をひらくこと、海外との文化交流など新しく申合わせた。

その申合わせにしたがつて、とりあえず、ひまわり社に世話して貰つていた事務所を宇野千代氏宅に移した。この写真は、九月十日の例会に、婦人公論とタイアップして戦後の東京地理を再認識するため、観光バスにのつたときのものである。

当日は、割合に集まりはよい方だつたが、尚この外、壺井栄氏や佐多稲子氏、大谷藤子氏、野上彌生子氏その他多数の方々の顔が見えない。

毎月十日にきまつている例会には、通常十名位の会員が集まる。来月は箱根方面一泊の旅行とほぼきまつている。尚、会務は、宇野氏宅に事務所がある関係もあり先輩宇野千代さんのあつせんを俟つことが多い。

（平林たい子）

パパもママもボクも元氣です

食物だけでは色々なビタミンを充分にとれないので、アメリカでは皆んなが綜合ビタミン剤をのんでいるそうで、僕の家でも綜合ビタミン剤　ボンミツクス　を毎日のんで、皆んな元気です！

ボンミツクスはビタミンのA＋B_1＋B_2＋C＋D及びカルシウムの各高單位を一粒中に含有！

一粒中に日本人が一日に必要なビタミン量を總て含んでいるので一日一粒のむだけで充分です

1日1粒て充分な綜合ビタミン剤

こんな方に！

従来のビタミン剤やホルモン剤に御不満な方にも
脚気・虚弱体質・貧血症
過労・激務・視力の衰退
乾燥性眼炎・病後の衰弱
生殖機能並びに中枢神経機能の衰退・栄養の補給

ボンミックス VONmix

三〇粒…（一ケ月分）…三〇〇円
一二粒……一五〇円

お子様用綜合ビタミン剤

ボンチョコ 糖衣錠

お子様に甘くておいしい糖衣錠
ボンチョコを！（30錠 100円）

販売　中村滝商店　東京・日本橋・本町3　製造　富士製薬株式会社

爽涼の秋！
行楽の秋！
食慾の秋！

おいしい御料理にカロリー満點….

TRADE MARK

日清サラダ油

日清製油

ストラディヴァリウス

ストラディヴァリはヴァイオリンの名工の名。

十六世紀後半から十八世紀にかけて、北部イタリアのクレモナの町を中心に、ヴァイオリンの名工が輩出した。ロンバルディア地方をひかえて、この地方の木材が楽器に適し、製作者は祕訣を親から子へ、師匠から弟子に伝えて一家をなした。なかで最も有名なのがアントニオ・ストラディヴァリ（一六四四年―一七三七年）でニコロ・アマティと呼ばれる名工の弟子。

ストラディヴァリともストラディヴァリウスともいわれるが、前者はイタリア人としての名、後者はラテン名で、その製作になる楽器を指す名ともなつている。

メニーヒンのストラディヴァリウスは一七一四年の作になるもの。一七一一年から一五年ごろまでが、アントニオの全盛時代で、この年は製作の数は少いが、それだけに最も傑作を作つた。従つて名器中の名器である。

高貴で円味のある音色、耳が裂けるようなすばらしい音量、やゝ赤色に輝く、柔かな褐色のこつてりした漆のぬり、まさに完全な芸術品だ。

映画「かれらに音楽を」のなかに出てきたハイフェッツのストラディヴァリウスは、時価七万ドルとあつた。

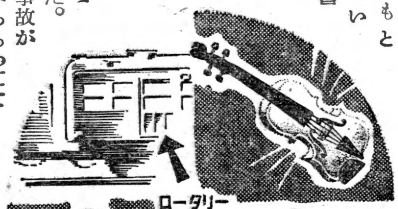
諏訪根自子のストラディヴァリウスは、アントニオの息子のオモボーノの作で、「アントニオ・ストラディヴァリウス指導のもとに」という添え書きがしてある。

五七型

「六三型」の悪名がようやく世間から忘れられかけたころになつて、また国電が珍妙な事故を起した。満員電車のドアが抜け、乗客四名が転落重傷を負つたというのである。その車体番号が五七〇一五。ロータリー三年ころまでの製作なので、車としては見かけばかりのアプレ・ゲールよりずつと優秀だという。たゞ、これを造つたころは定員の四倍も五倍も詰めこむなんて夢にも考えなかつたので……との話。木製ドアの取替工事は昨年から始まつているが、残り全部やるのに三億円。金があつてもなくつても無数。このうちには欠番もあり、わずか一、二台の試作程度で消えたのもあるが、最も多いのが例の「六三」で約五七〇台。「五七」は五一台だが、日本がまだ豊かだつた昭和八年から十調べたところ東鉄管内だけで総数一、八〇〇台のうち、ドアに帯金のないのが三四九台、縦桟に補強してないのが一六一台、ツカ棒のないのが七〇台あつたとか。結局「六三」、「五七」を問わず、電車という乗物はまだ当分の間危いという結論になりそうだ。

「五七型」を被告として起訴状を書こうというのだが、「六三型」とちがつて「五七型」には、どうやつても主犯の地位は与えられそうにもない。

国電の型は大正初年の一型からはじまつて八七型まであつて、あの事故があつてからあわてて命にかゝる問題だ。



特派員

敗戦国日本の特派員に二つの型―「GHQ型」と「招請型」がある。前者はGHQの特別の厚意によるもので、いま朝鮮に特派中のものや、今度サンフランシスコの講和会議に派遣されたものなどがそれである。

朝鮮特派員はひとしく国連の従軍記者となつており、制服、制帽を着用、期間は休戦会談中。これに反して講和特派員は各社別に各社負担で、期間は大体一カ月。

招請型は、例えば米国の場合、向うのある通信社から、だれそれに来てほしいというインヴィテーションがあつて、これによつてヴィザ（旅行免状の査證）を申請して許可されて行くものだ。もちろん各社負担。これは期間まず一年。

いままで海外特派を抑制していたものは、何よりも敗戦国の地位そのものだつたが、このほか各社のドル入手難があつた。渡航手続が完了しても、大蔵省から外貨の割当をうけねばどうにもならなかつた。外貨割当の緩和は一に日本経済の立直りいかんにかかつている。

この六年間というもの、外電といえば、もつぱら向うの通信社にたよつていたのが日本の新聞だつた。講和会議の報道は特派員の電報で紙面を埋めた。久方ぶりに日本の新聞らしい新聞を見ることが出来たと読者のうけもよかつた。講和発効と日本経済の自立化にともなつて各社が「自主的」に特派員を出せる日もそう遠くはなさそうである。

マツタケ

「秋もはや松茸飯の名残かな 子規」も、走りの信州物が九月初旬一貫三万から五万円では、しよせん香をかぐのみ。十月に入つて、岐阜・丹波・奈良・広島の本場がドッと出て一貫二百五十円の頃になつて、庶民にはようやくのゼイタク。十一月に入ると、終りの静岡産でまた値が上る。今年は照り続きで、出足がおそい。

ラテン名、アルミラリア・マツタケ。日本特産。近似種にマツタケモドキ、サマツタケあり、アメリカマツタケは加州邦人が祖国をしのぶが、いずれも香味におとる。シャンピニヨンを西洋マツタケというが、全くの別種、むしろハラタケと呼ぶが正しい。

香りのもとは、マツタケアルコール、マツタケアルデヒト、肉桂酸メチル。主成分、マンニットとエルゴステリン、後者はビタミンDの母体だから、栄養も多いわけ。

花崗岩質で、樹齢三十年位の赤松山に多い。赤松があつても、石灰岩質の土には生えぬ。マツタケは赤松に寄生するというのが常識だが、科学的に証明されたわけではない。そこで京都大学では赤松の幹に放射性同位元素を注射して、これがマツタケの傘まで移動するかどうかを、実験することになつた。放射性マツタケ、まず秋の学界の話題となろう。

毎年、入札で採取権を落す。所有権、採草権とは別、それ故、落札者は不作だと大損をする。

戦後派、小遊侠傳

女やくざ、夫の憲趣晴らし

犯人は……

午後十時五十分。ゴー……と鳴動が来て、上り最終の大阪行列車が鹿児島線、紫川鉄橋横の踏切番小屋前を通過して行つた。その小屋にはN信号手が次の下り最終の都城行列車を待つていた。

夏もやがて終ろうとしている八月末の夜空の下、小倉市内を流れる紫川には歓楽街〝楽天地〟のさんざめきがネオンとともにはねかえつている。

その時だ。遮断器の下をくぐつて、十数名の人影がひとかたまりパラ〳〵と番小屋の裏手へ回つた。そこはK製鋼会社のスクラップ置場。真暗い空地がある。

「ハテナ？派手なけんかかな？」こう思つたN君が小屋を出ようとした時、下り最終列車が光芒のように彼の目前を走つて過ぎた。

「だから、わずかの間でしたよ。しかし、その時、人影の中に、白か水色のツーピースが動いたのが列車の光でチラリと見えました……」

N君は見たまゝを、こう証言した。

スクラップ置場で殺されていたのは幡磨一雄という二十六の若者。〝楽天地の顔〟といわれたやくざだ。

この幡磨一雄という男はけんかというものに負けることを知らぬ男だつた。いわばけんか上手、一応のやくざ度胸を持つて生まれたような男、しかも気つぷよく、好男子。かつては東京は新宿安成組分の盃をうけたこともあるという被は〝小倉遊侠伝〟戦後派番付では

殺された幡一雄（上）と自首した立川薫信（下）

先ず、いい顔の方であつた。

「楽天地の幡磨が殺された」その夜歓楽街に飛んだ彼の悪報に一瞬、アロハ連が手にした盃をとり落したほど、それは意外な事件だつた。

「旦那、あたしに一パイ頂戴」チラリと眼に涙、幡磨殺さるの悪報にヤケ酒をねだつた飲み屋のねえさんもあつたという……。

やくざ出入りの町だけに、チャンピオン倒る——の反響は強かつた。「一体、たれが幡磨をやつたのだろうか？」

私て……

そのころ、警察署にその犯人は自首していた。

立川薫信という年齢卅四歳、不精ヒゲがしよげ返つて、みるからに弱々しい、やせ男だ……

「こんな男が、あの幡磨をたつたひとりで殺したのだろうか？」

刑事は納得出来かねる面持である。そこへ現場から、N君の証言が報告された。

しかし立川は

「刑事さん、あつしが一人でやつたことに間違いは絶対ありません」

とガン張りにうそぶく。

では原因は——幡磨と立川とはかねてバン〳〵ハウス賃借問題でもめていた。そのもつれで幡磨が立川をぶんなぐつた。

「その復讐にやつたのだ」

とこの殺人犯は主張するのだ。興奮のためか手許のかすかなふるえさえとまらぬほどこの男が……あのチャンピオン幡磨を……。

何故……

立川と幡磨。二人はこの町の親分格やくざの隣座の助さん一家で兄弟分の盃をうけた者同士だつた。しかし二人には悲しい宿命があつた。そのためには小倉繁昌記の裏話をたぐらねばならない。

戦後、疎開あとの小倉の町は、妙に沈んだ町だつた。そのころ、はじめて楽天地という歓楽地帯が出来た。助さん一家の大黒柱、立川が開設したものだ。当時たつた一つの盛り場。その草分けの恩人として立川薫信は押しも押されぬ顔だつた。

そこへ幡磨が楽天地へ姿を見せはじめた。やくざ度胸では到底二人はその比ではない。

やがて、腕と度胸の一押しで幡磨が立川から楽天地の縄張りを頂戴する日が来た。

こうなると、創設者も忽ちみじめな追放者にすぎぬ。

といつて幡磨の強さは十二分に知つている立川。けんかを売る勇気は毛頭ない。

助さん一家は全く幡磨の人気で圧倒されて来た。

一方、楽天地を追われた立川はバン〳〵業者へ転向した。そこへまた幡磨が口を入れて来た。

天下一品
センオーストーブ
粉炭モ燃ル最モ経済的ナ
貯炭式一本胴
カタログ呈
火力強大
堅牢優美

杉山産業株式会社
大阪市南區安堂寺橋通二ノ九
電話船場(25)4038—9
北浜(23)7301

斜陽やくざの立川と肩で風切る好調の幡磨——助さん一家の兄弟分を〝やくざの宿命〟は静かに待つていた形勢であつた。

一寸待て

立川はあくまで〝自分ひとり〟の一点張りである。狐につまゝれた気持で刑事がしつこく問いつめた。ところが彼の顔が神経質にひきつりはじめ、表情が苦しそうになつて来た。やがて彼の口から共犯者の名が出て来たとき、彼はほとんど泣かんばかりの顔だ。

二人の宿命がやくざらしくない残酷な謀殺によつて解決されたのである。

立川の自供によると、N君が目撃したという白のツーピースの女性は彼の妻ツル子の姿だ。そして彼女が実はこの事件の参謀格だつた。

翌朝、警察は彼女を殺人幇助罪容疑で逮捕した。またこの朝任意出頭で同署に来ていた参考人二十数名のうちから、屈強の若者九名が同様の容疑で逮捕された。

彼らの口から、その夜の〝チャンピオン殺し〟の一件が暴露された。

女の意地

妻のツル子にとつて、気の小さいやくざの夫を持つことが、どれほど悲しく、また、辛かつたか。夫の悲運も、一家の苦しさも……彼女の憎悪は夫以上にはげしく、そのすべてがチャンピオン幡磨にむけられていた。

そのうち、神経質な夫は極度の幡磨恐怖症にかゝつた。やがて、これが高じて夫は猛烈なヒロポン中毒者にまでなつてしまつた。

その夫が幡磨からなぐられた。彼女もやくざの妻。我慢にも限界があつた。彼女は矢も楯もたまらず知合や親類縁者の家へ走りこみ、悲しいやくざの妻の立場を訴えたのである。

だから九名の殺人協力者を得たその夜、一同をわが家に集め、彼女はみんなに焼酎の大盤振舞い。勿論、かねて用意の匕首も手渡された。待たせたハイヤーに分乗したこの宿命の一家は、ツル子の執念にとりつかれて現場へ向つた。

呼び出しをうけた幡磨は「ナニッ、立川の奴が……」そこは日ごろの元気のよさだ。げんかに負を知らぬ彼は、素手のまゝ、折柄さんざめく楽天地をひとりで飛び出して行つた。ヤミ討ちとはツユ知らず……。

十一対一。

勝敗は自ら明らかだ。立川とその妻ツル子はついに幡磨を倒した。いつさいの結末を、やくざの仁義にかけ、立川だけが現場から真直ぐに警察署へ自首して出た。

一方、現場には駒をたゞ一突きされ、その額には苦悩の色さえ見せず、幡磨はやくざの生命を終つていた。

所詮……

この事件は小倉遊侠伝中の不名誉な事件として親分薩摩の助さんが非難の的となつた。

幡磨初七日忌の日、急遽、東京から安成一家の身内が来倉、幡磨の家へ入つて行つた。アラシを呼ぶ襲行を知つた警察では警戒に当つたが、別に彼らの動きは見られなかつた。

数日ののち、この町の退役侠客といわれる祐天の角、鳥居の松、それに志摩親分、上村親分の現役連の妻があわたゞしく料亭小倉屋に入つて行つた。

あたら、若い者が生命を粗末にして……その会合は戦後派やくざの仁義頽廃をなげいたといわれる。

また、警察の調べのとき、一言も口を割らなかつたという立川の妻ツル子。

息子の死を聞いたとき、幡磨の実父がたつた一言

「相手もやくざか……」

つぶやいたきり、口を封じてしまつたという話もある。

とにかく、今更、幡磨の追悼に涙を流してみたところで、所詮、小倉遊侠伝、最大の不始末事件としての汚名はぬぐいされないようだ。

（筆者おことわり＝必要人物以外は仮名を使用した）

―西部本社　砂津角夫―

胃腸×過労に！

自律神経刺戟劑

ホドスチン

化

自律神経刺戟劑

ホドスチン

弱つた神経に直接作用します
從つて胃腸の働は素晴らしく
よくなり又、夏まけや過勞に
もてき面に効きます。

自律神経刺戟劑

ホドスチン

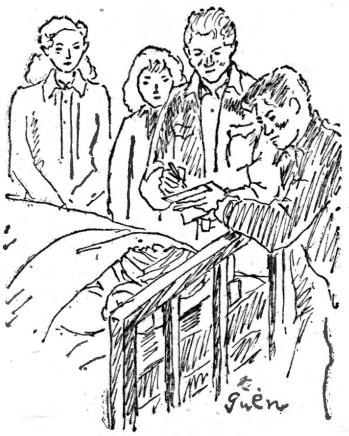
20錠 150円
100錠 500円
10管 152円
50管 720円
他に散藥もあり

製造元 保土谷化學（東京虎ノ門）
販賣元 田邊製藥（大阪・東京）

連載・現代小説

夏子の冒険

〔第十一回〕



三島由紀夫

猪熊弦一郎・絵

第十九章　会見記

1

ところでこの牧場には、（なにしろ牧場主が政治を志すくらいだから）電話が引かれていた。電話で新聞社を呼び出して事の不首尾をなじられるのがこわい野口は、もっぱら電報で熊のニュースを問い合わせた。熊にやられた男は、千歳の病院に入っている由である。夏子をつれてのかえりがけに、重傷者のインタビューをとってこい、という社命があった。

夏子も毅もこの男にぜひ会う用事がある。一方、私が行けば野口さんをクビにしない自信がある、と主張する不二子が、風よけに札幌までついて来ることは、野口にとっても何だか妙にたのもしい。千歳は札幌までゆく途中の駅なので、ともかくそこまで四人うちそろって行くことになった。

千歳は今ではアメリカ空軍の町である。病院までゆく道すじの櫛比した、二三人派手な女がよりかかっている。北海道の田舎町が東京の避暑地になったかと疑われる。そうではなかった。その日傘よりも派手なジャケツやネッカチーフは、その子供のかいた絵のような鮮明なお化粧は、避暑なんぞではない、もっと切実な生活の必要に出たものである。

彼女たちは通りかかった二組の男女を見ると、ヘイヘーイと云って口笛を鳴らしてからかった。

「ちよいと、こっちの兄さん、いい男ね」

夏子がこの言葉で何気なしにふりむいてみると、

「怖いよ、女が睨みやがった」

と爾次られた。

「睨まないつもりで睨んでいるなんて、あたくし、藪にらみなのかしら」と夏子は悲観した。

夏子にとってこの町ははじめて見る町である。しかし毅の物語のなかにたびたびあらわれて、その地名だけは親しいものになっていた千歳町は、想像とはまるでちがって、丁度下宿屋の部屋々々を買ぬいて無遠慮に拓かれた洋風の廊下と謂った具合に、町のまん央をまあたらしい舗装道路があざやかに走っていた。ジープがとおる。高級車がとおる。時々ちかくの飛行場をとび立つた戦闘機が、爆音すさまじく急降下してみせて、道路に切紙細工のような影を切り抜いた。

病院は川ぞいの古風な西洋館である。夏子はむかしあそんだ積木細工のモデルに、こういう洋館があったのを思い出した。剝げかけてけば立ったペンキ、スレートの屋根、手のこんだ欄干をもった露台、鎧扉…

…。

四人は馬車廻しをまわって医局の受付の前に立った。消毒薬の匂いがさわやかである。この匂いをかぐと、健康で若い四人は何かしら病気になつかしさを感じた。

門前の花屋で買った見舞の花束は、夏子と不二子が一つずつ持った。それは平凡なダリヤや百合や石竹だった。なかに一本注文したおぼえのない小さな萎れかけたバラがあった。

『この一本はサーヴィスのつもりかしら？』と病院の廊下をあるきながら夏子は考えた。『招かれない客という風に、この小さいバラはしよんぼりしているわ。これはあたくしがいただいておきましよう』

彼女はこのバラをとって、髪にさし、不二子のほうへ笑ってみせた。するとおどろいたことに不二子は、真似をしてみせるつもりで自分の花束からいちばん立派な赤いダリヤをぬき出すと、これを髪にさした。

「おいおい、そんなことをしてたら、病室へゆくまでに花がなくなっちやうよ。君たちと来たら、象にやるお煎餅を自分でたべちまう子供みたいだな」

と毅が言った。

病室には幸い、ほかの見舞客が居なかった。顔の半分が繃帯におおわれ、目と髪だけにわずかにその若さがうかがわれる青年があおむけに寝ていた。野口があいさつして、すぐ枕許に下っているカルテを見た。

「本多菊造殿二十九歳」

と書いてある。

この木こりの青年は、しよっちゅう木と取組んでいるだけに、無口で、口下手な様

子だつた。話がとぎれたりすると、皆は傷が痛むのではないかと心配したが、そうではなかつた。

彼の目はびつくりしたように夏子の上に釘付けになつた。皇后陛下の御見舞をうけた忠良なる兵士のように直立不動の姿勢で立上ろうとするつもりか、体をひどく大幅にうごかして、看護婦に叱られた。しかし話しだすと、その目は繃帯の中に埋もれているせいか、去りやらぬ深い恐怖をうかべた。

「目的は？」

と野口が手帳を出してきいた。

「は？」

「あなたが山へ入つてゆかれた目的は？」

「ああ。それは伯父の家へ用事があつたので、山越えをしないで行けばよかつたのですが、近道だし、それに今は熊が人里ちかくをうろつく季節ではなし、安心して山へ入つたのです。自分の家の裏手からすぐ山に入りました……」

2

……そこは支笏湖畔の製材所や旅館や小さい造船所のある中心地から北方へ約一キロ半行つた千歳川の流域である。

菊造の家の裏手はすぐ山で、下の方をゆく道は渓沢に沿うてめぐり、上の道は二尺ほどの笹の中をほそぼそと通つている。

菊造は上の道をいそいだ。

この道はあまり歩いたことのない道である。

夏というのに木かげはひんやりとして、曇天のために、木洩れ陽も葉末をかがやかさず、ナラ、ハンノキ、カエデ、ナナカマド、などの木が密生している下かげは、いちめんの笹である。

菊造は口笛を吹いた。知つているのは、炭坑節ぐらいである。

梢を見上げると、鳥も啼かず、リスの走る影もない。風がないので、細かい葉の一枚一枚までが動かない。葉も枝も、曇天の燻し銀の上に浮彫した彫金の細工のようにみえ、何か風景全体が彫刻のように身を堅くしている感じである。

天地に音というものがなかつた。菊造は気圧されて、口笛をやめた。

あるところまで来ると、笹が枯れていた。ものの十メエトル半径ほどの範囲の笹が、ほとんどすり切れたように、枯死している。

『去年ここをとおつたときは、こんな風になつていなかつたがなあ』

と菊造は思つた。

そのとき菊造は異臭をかいだ。何ともいいようのないなまぐさい悪臭である。戦地へ行つていた菊造は、ちかくに屍体があるのではないかと思つた。しかし屍臭ともちがう。ちよつとかいだだけで、口の中まで青黒くなるような感じの匂いである。

笹がカサカサと云つた。

ふと前を見た。

熊が向つて来た。その瞬間、熊は異様に大きく見えた。

菊造はあたりを見まわして逃げ場所をさがした。大体平板な地形である。身をかくすには木にでも登るほかはない。

近くの楢の大木にのぼろうと思つた。

このとき菊造の目には熊が見えなかつた。彼の目には、自分のつかまるべき枝ばかりがみえた。これは火事場から逃げ出す人がほとんど火の記憶をもたないのと同様である。

枝はどれも手が届かない高くにある。菊造は、それを探すうちにも、身をかくそうとして、体をかがめてしまうので、枝はますます絶望的な高さにみえる。一本、頃合の枝がみつかつたので、それに手をのばそうとすると、ほんの一尺ほど高すぎた。

熊が背中に迫つたような感じがしたので、仕方がなしに、大木の周囲をまわつて逃げた。どこか木に接近したかくれ場所を、逃げながら物色しようと思つたのである。

物色したりしている余裕はなかつた。明らかに熊の、あのやりきれない臭さを持つた息吹が背中に感じられたからである。

菊造は何か叫んだ。

何を叫んでいるのか自分でもわからない。叫びながら大木の周囲を一周した。

この楢はさしわたし一米半もあつたであろう。一周するのに永い時間がかかつたような感じがした。

まだ熊は追つて来る。そこで前よりも拍車をかけて木のまわりを逃げた。

二めぐり目か三めぐり目か、そのへんの記憶はたしかでない。あまり夢中で速く駈けたので、熊に追いついてしまつたのである。

目の前にあるのは、何ともしれない大きな半ば立上つた熊の背中であつた。汚れたけば立つた毛が視界を覆つた。文字どおり、目先が暗くなつて、菊造は、

「わつ！」

と叫んだ。すると熊はひどくすばやい運動をした。その大きなだぶついた体が、野球の投手のように、くるりと身をひねつて向きを変えると、稲妻のようにその前肢が菊造の頭に走つた。

「バン！」

という音がしたように思われたのは、熊の前肢が菊造の左の目の下三寸のところを打つた時である。

菊造はその瞬間、雷に打たれたような気がした。彼はおそらくぼんやり立つて、熊を見ていたのであろう。熊の口がひらいて、彼の二の腕にくらいついた。

そのとき、彼の体は非常な勢いでふりまわされた。痛みの感覚がまだはつきりしな

これまでの前号まで

この物語は、北海道を舞台にした若い男女のロマンスで、そのカゲに四本指の人喰い熊がひそんでおり、かれらの情熱も熊の形をしている。

主人公の夏子は二十歳で美人。わがまゝで冒険好きの現代娘である。彼女は、自分をとりまく平凡な男友だちから逃れるため函館の修道院に入ろうと上野駅を発つが、おなじ列車に乗りあわせた井田毅（いだ・つよし）のかゞやく情熱の目に心をひかれる。彼は、去年の春、大学を出た倉庫会社員で、彼の恋人を喰い殺した四本指の熊を討ちとるための渡道であつた。——この話をきいた夏子は、はげしい情熱をおぼえる。そして修道院入りをやめ「熊を仕止めたら結婚しましよう」と、毅について態狩りにでかけてしまう。東京から夏子にお供してきて函館の旅館に、おいてけぼりをくつた祖母、母、伯母三人のおどろき、新聞記者野口の出現等。この脱線旅行は、函館から札幌。W牧場からY牧場へと発展するが、Y牧場では老牧夫の一人娘不二子が登場して〝夏子の恋の冒険〟に一寸ヒビが入る。

この時支笏湖（しこつこ）に四本指の熊がでたという。

い。そこで、旋風にさらわれたような気がしたゞけであるが、熊は彼の胴をくわえて、その体をふりまわしていたのである。

菊治は丈の高いほうではない。五尺二寸足らずである。しかし腕力には自信があつて、徴兵検査のときには、十数回も米俵を頭上高くもちあげたのである。彼は喧嘩でも、人に負けたことがない。その彼が、こんなにやすやすとふりまわされているあいだ、ちらと考えたことは『こんな弱い奴が村にいたつけな』という感じであつた。

菊治は枯れ葉の上へ放り出された。うつぶせになつて、じつとしていた。死んだふりをすれば、熊は行つてしまうというあの言いつたえを思い出したのである。

しばらくふしぎな沈黙があつた。菊治は目をとじている。蟬の声がきこえるような気がしたが、耳鳴りかもしれない。胸の鼓動があらあらしく、心臓が口からとび出しそうに思われる。

自分でも気がつかずにいて、右足がうごいていた。熊はじつと見ていたらしい。いきなり動いている足首に食いついた。そして菊治の体をふりまわして、二三間さきの木の根の草むらに叩きつけた。菊治はまだ気を失わない。しかしおそろしくて目をあけることができない。熊のうごきを、体全体で感じとろうとしていると、熊はあたりを無意味に嗅いであるいている様子である。やがて、フーッ、といいながら行つてしまつた。

菊治はほつとした。　しかしまだ油断ができない。

死んだふりをつゞけていない限り、又どこから引返してくるか、わからない。彼は全身で死人の演技をした。自分を死んでいるものと想像して、目をあけて熊の行方をうかがいたい誘惑を感じながらもそうしなかつた。

しかし背中の肉がうごいていた。息づかいがはげしくなり、どうしても背中に呼吸が波打つのであつた。菊治はそこまでは思い及ばない。しかし上から見れば、彼のカーキいろのシャツの背は、もぐらもちがもちあげる土のように、うごめいていたのである。

しらぬ間に熊がかえつてきていた。

菊治の背中を平手で叩いた。菊治は背骨を折られたような気がした。

熊は『ヌフッー』というような鼻息を洩らして、立去つた。

こうなるまでの間、菊治はほとんど熊を見ていない。熊はたゞ真黒な巨大なおそろしい影、目に見えない悪の力のように、彼のまわりをうろつき、鼻息を響わせて去つたのである。われに返つて、菊治があたりを見まわして、もう熊の影ひとつ見なかつたとき、彼は今の自分の体験を、客観的に思いえがくことができなかつた。自分が熊を相手にしていたとは思えない。あたりは再び、森閑とした白昼の山である。彼は茫然として歩きだした。

彼は鼻血がとめどもなく流れているのを感じていた。鼻血などにかまつていられない。しかし口の中へ入つてうるさいので、手拭で血を拭つた。すると血の流れてくる方向がちがつている。手拭に包んだ指を鼻にあてがつた。すると鼻の肉に指がすつぽり入つた。

菊治は『あつ』と思つた。総体が急に寒くなつた。

鼻がぶらぶらして、唇のところまで下る。

無臭ビタミンB1
アクタミン

る。下りる足がだんだん痛んできた。しかしその痛みは刺すような痛みではなくて、熱いものにさわっているような痛みである。見ると地下足袋の上がぼろぼろになつて、血がにじんでいる。彼はポケットをさぐつて、もう一つ汚れた手拭があつたので、それで足をしばつた。

林道へ上り、また沼へ下りて、沼のふちをしばらく行く。

沼に下りていた水鳥が、はげしく羽ばたいて飛び立つた。その羽搏きの音が、耳におそろしくひびき、体中の痛みがつのるような気がした。

川ぞいに来ると、ついに支笏湖が目の前にひろがつた。

静かな、神秘的な湖である。かなたに雲の裂け目があつて、青空がのぞいている。その小さな切地のような青空が、湖に影を落している。

右方に恵庭岳、左方に、風不死岳と、活火山のドームを戴いた樽前岳がつらなつている。湖畔の白樺は、微風に葉を揺らし、湖は曇天の沈んだ光にみちて、今日は帆影ひとつうかべていない。

彼は湖畔の営林署の舟着場を目にした。それは最近クリームいろに塗りかえた瀟洒な小屋である。窓には白いカーテンが風にそよぎ、舟着の白い柵が、湖の中へ、この緑いろの水の牧場の柵のように、突き出ている。

菊造はその戸口まで辿りつくと、戸を叩いて、大声で知り合いの署員の名を呼んだ。呼んでいるうちに、力が急に抜けて来て、戸の前に気を失つて、倒れた。……

3

……聴きおわつた一同は、この集まりにおそろしい話に顔を見合わせた。

毅は頬の筋肉を緊張させて聞いていた。そしてきおわると、重要な質問をすることを忘れなかつた。

「そうしてその熊が、例の四本指の熊だとどうしてわかつたんです」

「それは」と若者は、看護婦の手がさし出す水呑みから、うまそうに水を呑むと、言いついだ。「そのときは、熊の姿を見るどころじやなかつたんです。あとから現場を見に行つた人が、熊の足あとをしらべたんです。足あとには、指が四本しかありませんでした。それに、今ごろ、熊がのこのこ人里に近くやつて来ることはめつたにありません。秋になつて、とうもろこしがみのつたり、山ぶどうが熟してから出て来るのがふつうですから。それで見ると、この熊は、ふつうの習性から外れていることがわかります」

「なるほど」

一同は口々に、菊造の勇気と沈着さをほめそやし、勇士に送る花束を、その枕許に飾つて、一日も早い全快を祈つた。

野口は、メモをとりおわると、それをポケットにしまつて、夏子のほうをふりむいた。

「どうです、夏子さん、今の話をきいて、怖気づきませんか」

夏子は、萎れたバラを髪からとつて、ありあわせの小さい壜に水を注いで、それをさしながら、いたずらそうに笑つた。

「ちつとも！」

不二子も大きく胸で息をした。

「あたしも熊狩りについて行きたくなつたわ」

夏子がパーティーへ人を招くような調子で、今度は気軽に肯つた。

「どうぞ。一緒に行きましようよ」

毅が何かいおうとしたとき、聡明な不二子は、すぐ察したように、

「いいわ。女の人が二人も行つたら大へんだわ。あたし、野口さんについてくから、いい。野口さんがクビにならないように、夏子さん、祈つてて下さいね」

このおませな依頼は、一同を笑わせたが、毅は、笑いに一寸片足をかけてやめたように、まじめな顔に返つて、独り言のように言い出した。

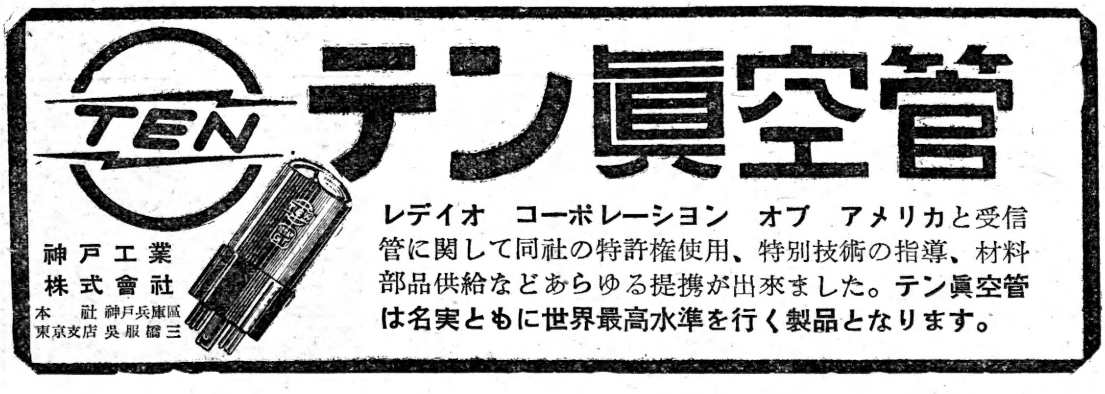
「この次の情報で、大体熊の行動範囲がきまつてくる。行動半径がだんだんせまくなりつつあるね。今度こそ本格的に、熊を待つて網を張ることができそうだ。支笏湖畔のアイヌ部落全員に、助力をたのむんだ。ねえ、野口君、札幌の猟友会支部長にも乗り出してほしいんだ。君にはしかるべきところで連絡をとるから、支部長からアイヌを動かしてもらいたい。それがいい。猟友会員は、去年までは冷淡だつたが、今度は便宜ぐらいはかつてくれるだろう。もしそれもだめなら……」

夏子は毅の次の言葉を待つた。その言葉を占つた。言葉は彼女の占いどおりになつた。

「僕が一人でやる！」

（つゞく）

【無断上演・上映を禁ず】



銀歩三の岐れ（三）

八段　原田泰夫

終戦直後坂口八段と今は亡き詰将棋作者として第一人者であつた北村研一氏がこの型で戦つて北村氏が勝ち「銀歩三の岐れは先手良し」の断案が下されたことがある。

その将棋はこの局面から次の順で進んだ。

▲5四飛　△4六歩　▲5五角　△3三歩　▲9一角成　△2七角　▲4四香　△4三銀打　▲同香　△同銀　▲5三飛成　△4九角成　▲6八金　△8六歩　▲7八玉　△8七歩成　▲同玉　△5二金　▲5五龍　△3九馬　▲5三歩　△4二金　▲8一馬

（飛二枚△2は図）

△後手持駒　金、歩二

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香		歩				歩	歩	香	一
桂	飛	金	歩			金	飛	桂	二
		歩		玉				歩	三
			銀		歩				四
		銀			銀				五
歩		歩		歩	歩	歩		歩	六
桂		歩	金	銀	玉	歩		桂	七
香			飛		金			香	八
									九

▲先手持駒　角、歩二

これから十数手で終つている。この手順中▲5三飛成とせずに▲5五角が好機、指導棋戦とはいえその後の指手も見事である。

当時北村氏は謙遜して次のように述べている。「八段の先生が一介の素人と平手将棋を研究的に指すのも、かくの如き稀なる場合があり、棋案の定跡に対する何等かのヒントが与えられることを期待されるに違いない」

果して先手良しか、その後山本五段（当時）と当時四段の私の対戦にこれと全く同型の局面が現出し、銀を取合つてから山本氏はやはり▲4五角と打つて来られた。

私は坂口北村戦を知らず大いに悩り、△3三銀と打つた。この銀打がよかつたのである。これなら▲4四香を△同銀と切り▲同飛△4三香と打ち飛車が逃げた時△4九角成があるので面白い。

定跡は絶対なものでないから新手創造により打破され、一歩一歩完璧な定跡に近づいて行くのであろう。

将棋学校

〔A図〕今春行われた、本因坊戦の第一局に現われた局面です。今日が一・三と中央を利かせた処ですが、さて次の白の着点について考えて見ます。

現在打ち度い処は上辺、左辺等に無数にあります。しかし問題は、右下隅です。黒△から二、四と上方の囲いが完成した現在黒ろと隅をシマル事になると、右下隅方面に約四十目の黒地が固定してしまいます。

この黒ろとシマル手の大きさを感覚の上で銘記して頂き度いのです。

黒四につゞいて白い黒ろ白は黒に白ほ、が実際打たれた碁の進行です。

黒にのノビはその一路下へ直接オサエル手もありその方がむしろ常識的ですが、両者の比較については此処では深く触れません

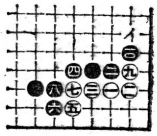
白ほと転じたのは、白い乃至黒にの交換を利かしと見た意味であり、将来黒から、一手かけてこの隅をトリに来ても色々の味が残る点、全然手をつけずに、黒からろと下られ味無しで黒地が固定するのに比すれば、有利とする意味であります。

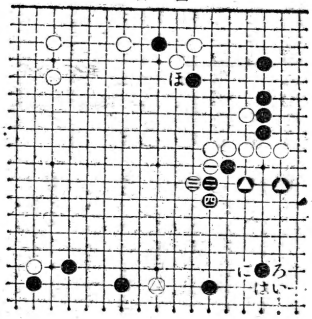
黒ににつゞいて、さらに白がこの隅を打つとすれば

（B図）白五―十一です。この後なお白からはイのハサミがあり、これをA図黒ろとなるのに比すれば、黒地の減りが二十数目、隅の白地が、七目、A図△の白への影響ということを別にすれば実質は優に三十目を越す大きさとなります。

三々の大きさ（三）

七段　高川格





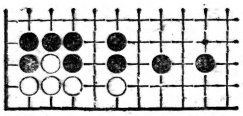
詰碁新題

八段　瀬越憲作

白先で隅の白はどうなりますか。

実戦に出来た形をそのまゝ掲げました。

詰碁としては至つて簡単な問題ですから五分もあれば解けると思います。

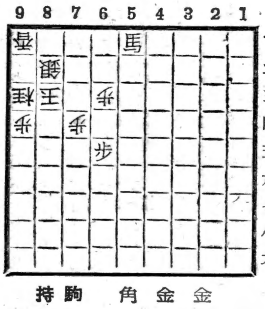


詰将棋新題

前名人　塚田正夫

一　二　三　四　五　六　七　八　九

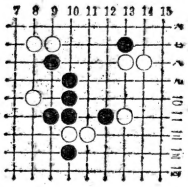
持駒　金　金　角



考案時間十分。七級。

詰連珠新題

八段　新井華石



黒より打出し、二珠にて四三勝となります。

（解答は58頁）

伊豆椿ポマード
純植物性
楽しさが2倍になる！

婦人のメモ

離乳期の献立

夏の間待つた離乳も、これからしばらくが絶好の時季で、この期になるべく母乳から離してしまうとよい。

生後六、七月から母乳の成分だけでは、乳児の栄養に十分でなくなるので、めんどうでも重湯、おカユなどをおぎなつて行く。

離乳準備期、離乳期の標準の献立を上げると別表のようである。

生後9カ月には表の外にすり魚茶サジ1—4杯与えるとよい。

なお、人工栄養児には、母乳の代りに砂糖5%、穀粉3—4%入りの全乳百八十ccを用いる。

離乳準備期

	回数	果汁	スープ	野菜ごしら	鶏卵
生後7カ月	母乳 母乳 母乳つぶし粥乳50cc 1 4	50cc	50cc	茶サジ 1—2杯	
生後8カ月	母乳 母乳 母乳つぶし粥乳50cc 2 3	50cc	100cc	茶サジ 2—3杯	卵黄 1コ
生後9カ月	母乳 母乳 母乳つぶし粥乳100cc 2 3	50cc	100cc	茶サジ 4—6杯	全卵 1コ

離乳期

	回数	副食物
生後10カ月	母乳 3 粥1—1.5椀 2	全卵 1コ すり魚肉 1—6 茶サジ 野菜うらごし 6—8 茶サジ 豆フ 味噌汁 軽い菓子（ビスケット ウェファース等） 果物（煮たもの オロしたもの） 鉄 適宜
生後11カ月	母乳 粥2椀 3	
生後12カ月		

(二) 最初から献立の分量全部を食べることは少いから残したらそれはそのままにして、足りない分は母乳をやる。

(三) 野菜うらごしはじやが薯をスリつぶしてやるのが一番よいが、ほうれん草、人参のように色のついた物も裏ごしして一緒に食べさせる方がよい。

(四) すり魚肉は背中の青い魚サバ、イワシなどは消化不良をおこすといけないから、ヒラメ、タイ、キスなど白身の軽いものをやる。

(五) つぶし粥は米十グラム、水百五十ccの割合で火にかけ、煮立つたらフキこぼさないよう弱火にする。出来上りが百cc位になるまでとろ火で煮つめ中の米つぶをしやもじでつぶす。(水のかわりに味噌汁、牛乳を使えばなお良い)

(国立栄養研究所・森本喜代氏談)

男の手帖

相手の夕飯時に呼び出す電話は確実に通じるが、好感を持たれないことも確実。

＊

受話器は呼んだ人が置いたのちに、呼び出された人が置くのが正しいエチケット。

＊

ガチャリという受話器の音は〝ノウ・コメント的〟無神経さがある。静かに置きましよう。（咲）

女の手帖

乗物の中で席をゆずられたらうれしそうに礼をいつて、ぐずぐずしないで坐りなさい。

＊

雨が止んだら、レインコートはぬいで手にもつこと。雨傘をすぼめるのと同じです。

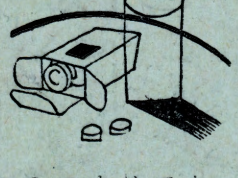
＊

飾りのハンカチの何日も洗わないで折り目のうす汚れたのはいやらしいもの。（灰）

OSK Line 大阪商船

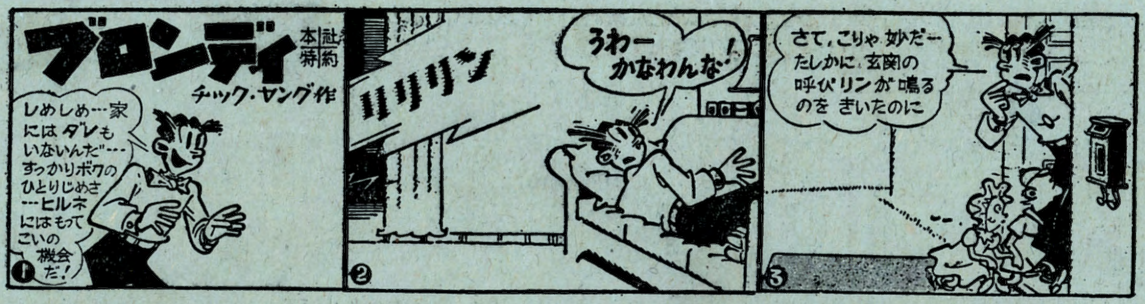
出帆案内
——日附は日本最終港発——
★紐育線（桑港・羅府・パナマ・紐育行）
あとらす丸（10,400瓲）…10月14日横浜
★南米線（リオ・サントス・ベノス行）
星光丸（9,007瓲）…10月17日神戸
★アフリカ線（ケープタウン行）
大郁丸（10,507瓲）…10月6日横浜
★カルカツタ線（ラングーン・カルカツタ行）
錏光丸（7,200瓲）…10月18日門司
★ボンベイ・カラチ線
南海丸（7,315瓲）…10月29日門司
詳細は全国大阪商船へ

御主人の二日酔を治す法



胃と肝臓の衰弱から二日酔がやつて来る。胃の衰弱はハキ気をもよおすが、アルコールで炎症を起し、胃のネン膜が荒らされているからである。水が欲しくても、ガブ飲みは悪い。かえつてハク原因となる。薄い食塩水や砂糖水がよい。

頭痛は肝臓の働きの限界以上にアルコール分を飲んだのが原因。肝臓は解毒作用を果すことが出来ず、メチールその他の有毒物質が血液中に残り、頭にのぼつたため。有毒物質を早く尿から出せばよい。従来は糖分（含水炭素）をとれといつていたが、動物性タン白質、とくに魚類殊に獣類をとるとよい。ひどいときは、ブドー糖の静脈注射とか、リンゲルがよい。（東大柿沼内科・吉利和医博談）



Oh, boy - - - nobody home - - I've got the house all to myself - - what a swell chance for a nap!

RING OH-NO!

Now, that's odd - - I'm sure I heard the doorbell ring.

I hear footsteps - - little feet walking around.

Somebody's been at the bread and jam - - the house is haunted.

I'm sure I heard someone in the cellar dragging chains.

I hope I didn't scare you, Mr. Bumstead - - - I'm just reading your light meter.

I'm glad there's some black coffee - - - my poor nerves are worn to a frazzle.

MISTER, WE'RE LOST! Can you show us the way to the front door?

You live up the street one block and then turn right.

Thank goodness, the mystery's solved and I can have my nap in beautiful peace and quiet.

YOO-HOO, DAGWOOD - - - - WE'RE HOME.

打の巨人・足の南海

日本シリーズの見どころ

青田選手　川上選手　蔭山選手　木塚選手

㉔……昨年のセントラル、パシフィック両リーグ分派独立以前、わがプロ球界の看板取り組が戦前から引き続き巨人対阪神戦だったことは読者先刻ご承知の通り。がしかし、この巨人神というプロの早慶戦的人気に対し、巨人対南海戦が廿四年あたり巨人川上一塁手の九回逆転満塁本塁打勝（南海中原投手）、巨人三原監督（現西鉄監督）の南海筒井捕手殴打事件等々で、とみに人気を高め、東京六大学野球ならさしずめ早明、慶明戦見当というプロ野球新名物にのし上ったのは未だわれわれの記憶に新しいところ。ところで十日から七回戦予定で行われる五一年度日本プロ野球選手権試合にはこのいわく因縁つきの巨人（セントラル）と南海（パシフィック）が「日本一」をかけるのだが、この顔あわせは前年の第一回日本シリーズあたりともどもぽつと出の松竹（セ）毎日（パ）が雌雄を決したのとはちよつとわけが違つている。つまりこの対戦には前記の通り妙にうれしい「伝統」と二年ごしの愛球家の夢があるわけで、東京、大阪のファンとしても選手権者決定という表だつた理由以外、あれやこれやと考え併せてどうしても巨人に、南海にと特別の力が入ることになる。

㉔……そこで第二回日本シリーズの下馬評はと後楽園ネット裏筋の声に耳を傾けると、巨人に分ありとすならばと巨人、あるいは南海に決めたとのことで、ここらあたり同じ六・五対四・五でも実際には五・五対五・五の五分五分に近いものと考えられ、巨人、南海の実力はまさに伯仲と見るのが妥当なのかも知れない。

㉔…ところで右の通り或いは巨人を推し或いは南海がと断定したよりどころだが巨人の場合は青田、川上を中心とする長打力、一挙に決する破壊力が高く買われているようで、この迫力、重量感は藤本、中尾、千葉、楠、宇野、南村、与那嶺など多数の大試合経験者群（宇野、南村は学生野球時代の経験）により層一層の強味を増加しようと見られている。一方、南海の場合は出塁率新記録樹立のトップ蔭山、十回盗塁して一回強しか刺されないという木塚を中心とする全員の機動力が重視されており、公式戦百数試合中零敗がわずか二回という「コツ〳〵稼ぎ」は、目まぐるしくも小うるさい武器として大豪巨人が相手となると特にその本領を発揮しようし、またこのチームがはえぬき選手ばかりで、他所育ちが一人もいないのもこの際、結集の力を一層強固なものにすると見ている。

㉔…さて巨人水原、南海山本両監督の心構えであるが、巨人としては公式戦後半、快調の打力にまかせ知らず〳〵のうちに身についた試合運行の粗雑化を厳戒しており、ことに南海がちよつとのスキにも食入るチームだけに、すでに転ばぬさきの杖としている。また蔭山、木塚を絶対に塁に出すなも巨人ベンチの合言葉で、そうすれば最も危険視される山本の適時打も事前に芽をつむことになる。これに対し南海は蔭山、木塚、飯田、山本の上位三割打線を主軸に一人でも多くの走者を出し、何とか巨人を自分のペースに引き込むという攪乱戦法一点張りを画策している。【雅】

・五の割合いで巨人が有利という比率が出て来る。もつともこの六・五対四・五の大部分は、それぞれまず五分と五分と前置きしながら、強いて甲乙をつけるならば巨人、あるいは南

ニュースの背景

その一

空宣傳の〝美術の秋〟

保守團体擡頭の傾向

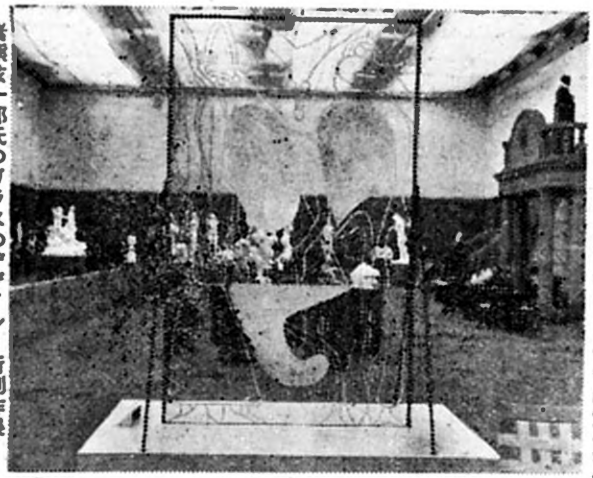
秋の美術シーズン上半期の話題は、なんといつても二科と新創作の派手な宣戰合戰だろう。ともに画壇きつてのモダン派の花形、それだけにこの宣伝戰の張り合い、上半期で最も興味津々たるものであつた。

裸女まかり通る

まず先陣の二科会が白壁、裸女をトラックにのせて東京都内の盛り場をねり歩く奇手に出れば、第二陣の新創作派は突如日本画の創造美術と合体という爆弾ニュースを発表、いずれ劣らずジャーナリズムを賑わせて画壇をアッと云わせた。が、さて、この軍配、どちらに上るか――新創作展も終幕に近づいた昨今、その成績を見くらべてみると、どうやらこの判定、二科の惨敗、新創作の辛勝、ということになるらしい。

二科の前夜祭は、その宣伝面から云つたら確かに効果一〇〇%といえたが、なにしろ浅草のストリッパーをスパンコール（乳首かくし）なしの裸のまゝ、会員扮する黒ん坊七十名と一緒にトラック二台にのせ、真昼間、久我山の東郷青児氏邸から渋谷、新橋、銀座、上野とえんえん十数里の道のりをまかり通らせ、おまけに渋谷と万世橋とご丁寧にも二カ所で立番の巡査と風俗問答をかわし、各新聞にデカデカとそのいきさつを書かせたのだからこの奇手、完全に的を射ぬいた――と見えたも、さことに無理からぬ話であつた。

その上、二科会は宣伝にさらに二段、三段の構えを用意していた。その一つは、従来の絵画、彫刻、工芸三部のほかに今秋から清水崑、近藤日出造氏らの有名漫画人を加えた漫画部と、官公庁とタイアップした商業美術部を新設、それに新入賞十万円という賞金までつけ宣伝をかねて出品者の大量吸引策をとつた。



猪熊弦一郎氏のガラスのデザイン＝新創作展

この出品者への宣伝は一應図にあたつた。出品者数は絵画、彫刻、工芸とも昨年より増えたほか、漫画、商業美術両部で新たに千五十名を加え、その総数二千五百五十九名。出品手数料一人五百円だから、この出品料だけで百五十万円という美術展としては空前の収入を上げた。これで入場者が例年通りあれば、まず黒字間違いなし、という皮算用だつたのだが――いざ、フタをあけてみると、この予想がはり外れて、百円の入場料を払つて入るいわゆる有料入場者は「前年の半分」（高岡徳太郎氏談）という惨状。

策士、策に溺る？

これには、さすがの二科会もかなりあわてたらしい。前夜祭の費用だけでも大変だ。ちよつとその内訳を紹介すると、これにはストリッパー一人、アーニイパイルの踊り子十五人、バンド二組、トラック二台、乗用車二台の費用のほかに招待客も加えた総数二百人分の食事代、黒ん坊七十名の扮装代（簡単なようだが、これも馬鹿にならない。黒ん坊一人につきドーラン代、首輪、腰みのなど雑費あわせると約千円の費用、とあるから、七十名分でざつと七万円）と、いうわけで、合算すれば軽く百万円近い金が、タッタ四、五時間の前夜祭に文字通り湯水のごとく使われてしまつた。

「まだ、すつかり精算していないが、恐らく五十万円を下らぬ欠損になろう。入場税が大幅に引下げられたというのに、逆に戰後はじめての赤字展になつた」と大番頭高岡徳太郎氏、タメ息をついている。さて、この現象はどうして起きたか――。ある事情通は、これをこう説明している。

「東郷青児のジャーナリズム利用の行きすぎ、それに対する鑑賞者層の正直な反撥だろう。新聞、とくに学芸欄のスペースの少くなつた戰後、東郷は戰前のようにいわゆる展覧会評だけの宣伝では効果がうすい、これからはどうして

日新の医薬
NISSIN
風邪なら
ダン
dan
アメリカで話題の新風邪薬―日本版
効能★鼻かぜ・四季感冒・頭痛・眼痛・神経痛
成分★アネルゲン・アスピリン・フエナセチン・カフエイン
20粒 100円
日新化學工業株式会社
大阪北浜五（日住友化学）

もなにか〝事件〟をおこして社会面の記事になるようにしなければ、十分に宣伝は出来ないと考えたのじゃないか。だから、二科展の戦後の行き方を見ていると、新聞の社会面がとりあげなければならぬような〝事件〟をつくっている。それもつねに社会面記事になるよう新手々々と考え、まず一昨年の額ぶちショーに始まり、昨年は会場へモデル女をかつぎ出して〝生けるヴィナス〟、そして今年はとうとう〝裸女まかり通る〟と発展してしまった。こういうエゲツない趣向でも昨年までは、まだよかった。だが、大衆の感覚は案外正常なものだ。限度をこえた異常にはつねに無言の反撥を示す。三年目、ついに柳の下にどじょうのいなかったというわけだろう。二科展のこの失敗は、正にそういう大衆の健康な感覚に無智な展覧会興行政策の行きすぎからだと思う。結論すれば、策士東郷、策におぼれたという図に外ならぬ」

事実、そうかもしれない。なぜなら、今年の二科の作品傾向は御大の東郷氏の「旅人」をはじめ一般にかなり地道な真剣味を見せていたし、また鈴木信太郎、松本弘二といった地味な作家たちに会員努力賞が与えられたという、今までの二科には考えられなかった新しい展開を示していたからだ。

相撲に負け勝負に勝つ

ところで、一方、新制作の場合はどうか。いわゆる洋画の新制作派と日本画の創造美術の合体は、すでに昨年から内々話合いが進められていたが、今回、急転直下合流と決定。ただジャーナリスチックな効果をねらって、双方とも合体の期日についてはそれまでかたく口をとざし、展覧会開催の直前、一斉に新聞発表と事を運んだものである。

展覧会にひっかけてジャーナリスチックな効果をねらった点、まずは抜かりなき演出ぶりだったが、しかし実際にはこの画伯連の期待は見事に外れた。新聞には意気ごんだ声明書も載らず、わずかに五、六行、合体のニュースだけ社会面の片隅に報道されたにすぎなかった。宣伝面からすれば、これは二科の巧妙な宣伝にはるかに抜かれたかに見えた。

しかし、この合体は二科の宣伝のための宣伝とは異なり、やはり根底には画家たちの真剣な日本繪画への祈念がこめられてあるようだ。作品に熱のこもったものも多く、その意味で画壇からも一般からも好感をもって迎えられた。果然、各紙の展覧会評は筆をそろえてこの合体の善意を認め、結局良い意味での宣伝という点では新制作の方がはるかに得をした結果になったようだ。入場料を二科展と同じく百円にするについて、会員の一部にかなりの不安も見られたようだが、入場者数が前年にくらべ好調を続けている点、二科展に比しわずかながら新制作展に軍配が上ったというところだ。

新手・宝クジ登場

この宣伝合戦の結果は、今後の美術展へ微妙な影響を与えているようだ。展覧会形式はこれを機にようやく騒がしいアトラクションから展覧会の内容充実へと方向転換を始めるようだ。もつとも近く第三陣として十月九日からはじまる二紀展では、客よせの一法として宮本三郎氏以下の展覧会作品を賞品にあて、入場券に番号をうつて宝クジ式にこれを当てさせる、という新手を使うらしい。しかし、この二紀展と日を同じくしてはじまる独立展にしろ、自由美術展にしろ、アトラクションは行わず、もつぱら会場整備に力を注ぐ方針だとある。これに拍車をかけているのは客よせ的催しをなに一つしない穏健な一水会が、新制作展と肩をならべて百円の入場料でも例年に劣らぬ成績をあげていること、これは保守派団体の一般的勢力挽回傾向としても大いに注目されている。この第三陣が終れば、日本アカデミズムの牙城日展が開幕する。この日展の成績如何も注目の的だが、ともあれ、戦後六年、講和後の美術展がどこへ行くかは、大体このシーズンで定まるようだ。（P・S）

うつらぬうちに
BCG
★我国では結核のために年々十五万人以上の方が亡くなられ、又結核で病臥されている方の数は百五十万人を超えています。そして結核のために失われる国富は年間実に一八一五億円という巨大な額にのぼるといわれています。文化国家を目指す今日の日本が当面する問題で結核対策ほど重大で緊急な課題はありません。
★結核に未感染な方は結核菌にとつて全くの処女地です罹つてからの百の手当より、まず予防が第一です。未感染の方は必ずB・C・Gを接種して下さい。
明治生命
◇当社は皆様の健康増進のため「保健の栞」を編集しています。その第8集「結核菌とBCG」は結核の予防について詳しく説明してあります。御希望の方はハガキに住所、氏名、年令御記入の上、下記宛御請求下さい。（無代進呈）
東京都千代田区有楽町1の3の2
明治生命医務部

ニュースの背景　その二

多すぎる150万人

—行政整理問答—

田中二郎

さてこんどはどれだけ追えるか（根本進）

昭和六年の二倍半

A　近頃は、役所はどこも行政整理行政整理で、街頭まで進出して行政整理反対を叫んでいるようだが、これはどうしてもやらなくちやならないのかね。

B　そりや、やらざるを得ないんだ。一口にいえば、行政機構も人員も、わが国の国力を遥かに超えた尨大なものになつているんで講和条約もできて、これから、ひとり立ちでやつて行こうというときには、これを国力と国情に合うものに直す必要がある。国の職員は、国鉄専売まで含めると約百五十万といわれているが、昭和六年には約六十万といわれていたんだから、およそ二倍半になつている。地方公務員の方も、これにまけないふえ方のようだ。

A　どうして、また、そんなにふえたのかね。これまでも、たびたび、行政整理をやつて来たのに。

B　そうだ。これまでも周期的に行政整理をして来た。一昨年も相当大幅に整理した。だから一昨年の整理前に比べると今の方が少い。しかし、これまでの行政整理の経験からいうと、二、三年たつうちに、また、ポツポツふえて、元に戻つてしまうんだ。そして、また、整理が必要になる。

A　そりや、どういうわけだ。

B　根本を正さないからだ。というのは、行政事務を減らさないで、機構や人員だけの縮小を考えるからだ。行政事務を元通りにしておくと、負担が、残つた人にかかつてくるから、何時の間にか、人をふやして補おうとする。官僚というのは、本能的に、自分のところの人と予算とをふやそうとする。そういう能力をもつている人が有能だとされて来た。だから何かの都合で行政事務が減つても、絶対に人を減らそうとはしない。代りの新しい仕事をみつけて、それに充てて行くんだ。

A　ふえる一方というわけか。

B　必ずしもそうでもないが、そういう傾向にあることはたしかだ。

A　それにしても、何年かごとに繰返し整理整理と騒ぎたてるのはまずいね。役人もたえず不安にさらされて、ほんとうに打込んで仕事ができなくはないか。

B　そうなんだ。暗い不安な空気を起させることはよくない。だから、こういうことを繰返さないように、こんどこそは、根本から正して、日本の国力と国情とに合う行政機構と人員とを考えて行こうというわけなんだろう。

国力に合う機構と人員

A　「国力と国情とに合う」という機構と人員といつたつて、その標準はむずかしいね。

B　それはそうだが、現在のそれが尨大にすぎることだけはたしかだ。だから比較的意味の少い仕事を減らして、国力の耐え得る程度にまで引き下げようというわけだ。行政事務は、一つ一つをとつてみると、多かれ少かれ、意味がある。無用だとか有害だというわけではない。しかし、これだけの人と金とを使つてまでの仕事かどうかということになると、考えさせられるものが決して少くはない。有益ではあつても、それだけの效果のあがつていない事務はこれを整理しようというわけだ。

A　というと。

B　例えば、食品衛生法という法律がある。われわれが安心して食生活ができるようにと、食品衛生監視員という役人がいて、飲食店等の監視をしている。これなども決して無用とはいえない。飲食店の料理場を何ヵ月目かに見廻つて検査をする。設備が悪ければ直させるし、不潔なところがあれば注意する。結構なことには違いない。しかし、こういう監視が行われているから、どこの飲食店に行つて飲食しても絶対安全というわけにもいかない。お客さんがいちいち飲食店の料理場まで注意するわけにもいくまいが、どこで飲食しなければならないと決められているわけではないんだから、みんなが、多少衛生に心がけ、適当に選択しさえすれば、店の方でも、自然、直していくようになる。沢山の人と金とを使つて「行政」としてそういう監視をしなくてもよくはないか、というんだ。また、例えばこのごろは統計調査ということが大流行だ。これなどは、これまで軽視したことの反動だろうが、どうでもよいような複雑な統計調査が四重五重に行われて、民間でも地方でも迷惑しているところが多い。こんなのは、

ほんとうに必要なものに限つて重点的に徹底して行うようにし、あとはやめてしまうんだ。またこのごろは、何でも試験を受け免許を受けなければできないような仕組になつて来ている。新聞にも出ていたろう、近頃は、行政書士とか測量士とか、調教師とか、家畜人工受精師とか、士や師のつくものが数十あるつて。実に馬鹿げた話だよ。

A なるほど、こういう仕事を行政からはずすと、大分違うだろうな。

B その外に非常に重要なことがあるんだ。

A それは何だい。

B それは、人事とか会計とか監査とかの事務が非常に複雑でこれに大へんな人と金とがかかつているということだ。最近、民間会社の社長さん連が今の人事行政のやり方に関する説明を聞いて、民間会社でそんなことをしていたら、みんな、つぶれてしまうといつていたが、それは相当なものだ。どんなやり方をしているか、一ペン実地にみるといいよ。科学的人事行政をやるためとか、公正な会計経理を確保するためとか、それぞれ、大義名分は立つているんだし、全部が全部無用というわけではないが、必要以上に複雑になつていることは事実だ。

A いろいろ聞いてみると、尤もと思われることが、どうして実行されないのかな！

B それは、見る人の立場によつて判断が違つて来るからだ。官庁の人は、官庁の立場だけで考えがちだし、国会議員も自分達の作つた法律には執着をもつものらしい。しかし、それではいけない。国務大臣その他、およそ一国の政治をあずかるほどの人達は、もつと高い見地から考えてくれなくてはいけない。

尨大な人と予算とハシコ（根本進）

根本は事務の縮小

A ところで、行政機構の方はどうだ。

B これがまたものすごく複雑尨大になつているよ。もと内務省一省でやつていた仕事を、今でいうことになつた。公益事業委員会とか、国家公安委員会などの、行政委員会もその例だが、こういうものが独立してできると、その事務局が自然大きなものになりがちで、全体として機構の尨大に拍車をかけることになるんだ。何れも理由がないわけではないが、こう大きくなつてみると、国民はその負担に耐えきれないから、もう一ペン考え直さざるを得ないんだ。

A 通産省なども大きくなつているそうだね。

B あに通産省のみならんやだよ。農林省にしたつて、法務府にしたつて、皆然りだ。

A そうすると、やはり、省を統合することになるのかい。

B そこだよ、問題は。これまで機構改革というとすぐ省の統合と来た。大臣が何人減るかを最大の問題としている。たしかに省が一つ少くなると、人事とか会計とかが、どこまでも必要な人員が相当整理できる。だから省の統合も大いに考える必要がある。しかし、根本は、事務を整理し、まず、省の内外部局を縮小整理することだ。そうすると、自然、省の統合にも及んで来るだろう。相互に関連する仕事を全体としてうまくやつて行くために合理的な省の統合を行うことができれば、それに越したことはない。何省かを減らすために、無理に省と省とをくつつけてみても、効果があがらないだけでなく、水と油とを一緒にしただけで、余りうまくいかない。反つて摩擦を生じて困るということもある。

A こんどは、行政委員会が大分やり玉にあがつているようだが。あれは、行政の民主化というので生れたのだろう、それをつぶすというのはどうかな。

B 行政委員会がやり玉にあがつているのにはいろ〳〵の理由がある。もと〳〵は、政党政治の影響を受けないで、公正中立の立場で仕事ができるようにとか、民主的な機構を作るためにとか、それぞれ立派な理由があつてできたわけだ。その必要がいま消えてなくなつたわけではない。

エーサイ
ルチンC＝Vitamin C+Rutin
ビタミンCはそれだけでも血管壁を強化し、止血剤として効果的ですが、それにルチンが加はると効果は更に倍加されます
◇
従つて、腦溢血、眼底出血などの毛細管出血の予防と治療には必ずビタミンCとルチンとを同時に併用することが、處方の常識となつて居ります。
◇
エーサイルチンC錠は二〇瓲のビタミンCと等量のルチンを糖衣錠内に安定させた錠剤で、豫防には一日三錠で足ります。
エーサイ ルチンC錠
百錠（一ヶ月量）五八〇円

なつたわけではない。しかし、一つは日本の実情に合わないということもあろうが、必ずしもうまくいつていない。能率の発揮とか責任の明確化という点に欠けるところもあり、殊に、機構が多大になつて、何といつても金がかゝりムダが多い。だから、労働委員会とか公正取引委員会とか、どうしても必要なものの外は、なるべく整理しようというわけだ。

窓口事務の簡素化

A 国の地方出先機関も問題になつているんだろう。

B 終戦後、その種類もふえたし人員もふえた。一時、各省が競つてこれを作る傾向さえあつた。その整理が一面で喧しく叫ばれながら、他面では新しいのがふえて行くという矛盾を犯して来た。人員が多く抵抗が強いために、これまでも、整理整理といいながら実行できなかつたのだが、特に必要なものは別として、整理するなり府県に統合するなりしなければならないだろう。

A ところで、その府県とか市町村の方はどう。

B 地方公共団体の方も、国と同様に、機構、人員の整理をしなければならない。ものすごいふえ方だから。もつとも、それは、国から強制的にやらされている仕事が多いのだから、まずその仕事そのものを減らす必要がある。しかし、同時に、もつと〳〵簡素に仕事をすることを考えなくてはいけない。

A 国民がたまらないということだが、役所の窓口がわかれていて、建物一つ建てるのにも手続が面倒で、時間がかかつて迷惑するのだが、こういう点は何とかならないのかね。

B 大いに「なる」よ。建築もそうだが、船が港に入つた際の手続なども、もとは、一枚の届でよかつたのが、今では、場合によつて、七、八枚も出さなくてはならぬということになつている。こういう点は、今後、窓口を一本にし、関係者が、一所にいて、その場でテキパキ片づけて行くようにすればいいわけだ。受付で受理してから決裁があるまで十も二十もハンコを押してぐる〳〵廻りするなんて、全くナンセンスだよ。仕事の軽重によつて、責任を分ち、課長その他それ〳〵責任者が窓口に出て、補助者の補助を受けつつ仕事をすることになれば、機構も簡素ですむし、人員も大いに縮小できる。これこそ国民のためのサービス機関だ。

必要な整理後の対策

A そこで、人員の整理というわけか。ところで、こんど初めのかけ声では、これまでと考え方が違うといつていたようだが、それはどういう意味だ？

B それはこうなんだ。これまでは、一律に天引三割とか二割とかいつて官庁におしつけた。これが一番手取り早く効果があがる。じかし、これは理窟に合わないし、そこに無理も生ずる。直ぐまた元へ戻る。また整理が必要になる。そこで、こんどは、根本を正すという考え方から、第一に、事務を減らし、それに応じて人員を減らす、これを考えようというわけだ。第二、人事とか会計とかを簡素化し、機構を整理し、行政事務処理の仕方を改める。この面からも相当人員が浮く。これは普通の行政事務の関係では、実際に当つてみて、二割位にのぼる。この二つを併せて整理をしようという考え方だつた。

A その方針が大分くずれて来たということじやないか。新聞によると、やはり天引主義でいくとかいつているぜ。

B 必ずしもそうでもないんだろう。ただ、事務の整理といつても、今直ぐ実行できないもの、また、もう少し検討を要するもの等いろ〳〵あるだろう。従つて、その面で最初考えられていたほどの数字が差当つてはでて来ないということは当然考えられる。そうなると人員を整理し、財政を緊縮して国民負担を軽減しようという政府の狙いがそれだけ実現できなくなるので、一般の整理の方をもう少し高めようというような考え方が出て来たのではないかな。

A 随分反対も強いようだね。

B それはそうだろう。誰もが今の役所はふくれすぎているとはいつているが、いざ「自分が」ということになると、死活の問題だからね。しかし、一般の国民も、租税負担が重くなつて来たので、行政についてもこれまでのように無関心ではなくなつている。行政に対する国民の批判の声が高まつているがら、今のままでは、国民が承知しないだろう。

A しかし、大量の失業者ができて、社会不安を惹き起すようなことにならないようにして貰いたいものだね。

B それは同感だ。政府も、これは真剣に考えなくてはいけない。しかし、だからといつて、役所を失業救済機関のように考えてはいけない。だから、整理は整理として断行するが、同時に、その対策は十分考える。少くとも、家族をかかえて路頭に迷うというようなことが絶対生じないようにする。また、役所の中には、待遇改善、諸施設の整備等を図り、もつと明朗な空気を注入する。こうすれば、自然、大いに働こうという気分もでてくるし、仕事の能率もあがることになるだろう。（政令諮問委員会委員、東大教授）

「麥秋」の原節子（右）三宅邦子（中）笠智衆（左）

香気ある力作

『麥　秋』（松竹）

やはり香気ある力作である。大体において一昨年の「晩春」とほぼ同じ主題。婚期を過ぎた二十八歳の娘、原節子の「間宮紀子」が多くの縁談に気乗りせず、家族を心配させていたが、ヒョンなことから一子あるヤモメ暮しの医師、矢部（二本柳寛）と結婚の決意をする。男は然も秋田の病院へ転職という直前のことだ。貧乏暮しの、矢部の母（杉村春子）がうつかり口を滑らした「夢」のような話が、案外に紀子の心の琴線にふれ、彼女を決意させる。矢部の老母もびつくりする。見物もびつくりするが、少しも不自然はなく、この二人の人間の心の美しい触れ合いと、人生の重大な転機が、鎌倉のわびしい家の夜の一室で展開される。紀子が玄関を出た時、帰つてくる矢部に会つてもこのことにふれないのも良い。息子を迎えて母の感動も美しい。「麥秋」の重要な場面はここで、それまでの約三分の二は緩やかなテムポで小津流の「遊び」をまじえながら、紀子の「生活環境」を展開する。人生を「斜め」に見て暮すようなこの作者独特のアンニュイ（倦怠）と、気取りと香気あるヒューマアがまざつて流れる。急に劇的なものにぶつかるその構成が決く、かつ新鮮な映画美である。その後の終結部には疑問が多く、テムポも乱れて成功でない。

北鎌倉に住む間宮一家には老父母（菅井一郎と東山千栄子）と長男康一と妻、史子（笠智衆と三宅邦子）、その子供二人に、康一の妹、紀子が同居している。老父は植物学者、康一は病院の内科部長。近所に住む矢部は同じ病院の部下で三十四歳。紀子は丸の内の商事会社の専務（佐野周二）の秘書として通勤し、ときどき築地の料理屋「田むら」の一人娘アヤ（淡島千景）を訪ねる。「田むら」に「専務」もよくメシを食いにくるし、アヤとはよく冗談もいい合うが、このへんの描写にも小津流の面白さがある。

紀子は「晩春」の紀子より積極的で、専務が持出した金のある四十男の縁談をさけ、秋田の田舎生活を決意するのだが、このモダンお嬢さんが、はたして耐えられるかどうか、原の表現では些か不安がある。矢部と一緒に何気なく語る場面も、伏線としてもう一つ位あつてもよさそうである。康一夫婦始め家族が、紀子の突然の「決意」を結局通してやるのはよいとして、彼女の父母の態度は少しフヌケている。矢部の母と紀子のホンの口約束でたよりない話だ。家人のだれかが矢部自身にぶつかつてたしかめてみる親切があつてよいだろう。それが日本のこの種の家庭の現実であり、常識であろう。元来、老人間宮は最も描き損われた人物で、菅井の演技は芳しからず、虚脱した人間のようであり、小津監督も老夫婦描写をめぐつては「思い入れ」が多過ぎる。博物館の庭の場面も不得要領だし、老人独りで散歩の時の感慨なんか意味がない。娘の重大事件を家族で相談するのに、父母がさつさと二階の寝室へ行つて終うのもわからない。東山千栄子も平凡だが、大体この役は不明瞭。笠智衆は「晩春」より若い役だけに成功し、この作では中軸になつている。三宅邦子の妻は、彼女の戦後では最良のキメのこまかい演技だが、これという芝居のやり所のない役だ。この人物が後半でもつと突込まれると作品の熱度も増したろう。案外に軽いワキの役者たちが小津流の指導で成功で、佐野、淡島が軽妙で、二本柳も悪くない。高堂国典（紀子の伯父）、井川邦子（紀子の友）が案外に良く、杉村春子も地力を発揮している。子役二人の選択はよいし、随所に滑稽味もわくが、玩具のレールの件でちよつと家出する一件は作つたようでどうも面白くない。

原節子は「晩春」の場合ほど重みのかからない役で、淡々と演じて柔軟味もあり、マア普通の出来

日興のニコニコ投資信託
お金が貯れば家中ニコニコ！
魅力あふれる無記名投資！
一口五千円・総額十億円
第四回募集中
くわしい目論見書進呈
東京・日本橋・兜町
日興證券

だが、いつも同じような微笑をくりかえしているのは単調である。

題名の「麦秋」は最後に、老父母が大和へ移り、麦秋の頃の風景描写などあるからだろうが、映畫は何か中心をそらした感じで拍子抜けである。

脚本、小津監督と野田高梧。撮影の厚田雄春は彼として可もなく不可もなし。音楽效果は伊藤宜二、オルゴオルだけが效いて家庭映画らしい雰囲気を出したが他は単調。

要するに「晩春」ほど強く訴えるものなく、やや散漫のうらみはあるが、小津芸術にもふっくらとした人生肯定の味がにじみ出て、清潔で、やはり圏指の作である。

みなぎる緊迫感

「キイ・ラーゴ」

(Key Largo)

(米国W・B社)

「キイ・ラーゴ」のハムフリイ・ボガアト（右）とロオレン・バコオル（左）

アメリカの東南端、フロリダ半島の南にある多くの珊瑚礁、キイ・ラーゴとはその中の島の名前である。

マックスウエル・アンダスン（「目撃者」、「ジャンヌ・ダルク」）の戯曲に基いて、「黄金」のジョン・ヒューストン監督がリチャアド・ブルウスと共に脚色したメロドラマで、先日公開された「破局」に似た構成である。配役が素晴しい。

発端先ずハムフリイ・ボガアトの復員軍人フランクが大型バスで島への橋を渡る光景、インディアン二名が脱獄したので官憲はすでに非常警戒をしている。第二次大戦に少佐として出征した主人公は戦死した部下の遺族を慰めるために島の小さなホテルに来たが、ホテルの玄関にも酒場にも奇妙な男数名が頑張っていて、ホテルは閉鎖中だという。一見してギャングである。

ホテルの老主人テムプル氏（ライオネル・バリモーア）や、死んだ息子の妻ノオラ（ロオレン・バコオル）に主人公は会う。二階の一室に宿泊することになったが、二階には国外追放されたギャングの頭目ロッコ（エドワアド・ロビンスン）が潜伏している。四名の男は手下で、他にもう一人アルコール中毒の年増の情婦ゲイ（クレア・トレヴォ）が酔払っている。これらの人物たちで映画は回転しハリケーン（暴風雨）の襲来の中に不気味な空気をたゝえる。

監督ジョン・ヒューストンの「黄金」に次ぐ一九四八年度作品で、筆法は旧作「マルタの鷹」同様にかなり強烈で、ギャングの冷酷さをえぐると同時に、主人公フランクの無感動の冷たさを描いているし、冒頭から順々に人物を紹介しながら、不安と緊迫の空気の中に見物を引きずりこむ手腕は鮮かである。

ロッコは子分に命じてテムプル氏とノオラと主人公の三名を二階の一室に監禁するが、すでにホテルを調べに来た官憲の一人は、拔叩きに会って彼等の面前に引き出され、間もなく射殺される。ロッコは年増のゲイを虐待し、ノオラに色目を使うが、この監禁中の場面のスリルなども秀逸。フランクは大戦後の社会に失望し、かなりのニヒルを持つので、ギャングなどを相手に生命を賭する気はない。その臆病さを老人やノオラは軽蔑する。この主人公は別に深味はないがボガアト一流の歯切れの良さは久方振りのロビンスンのギャング役の重量感と相対して迫力がある。ロビンスンの旨さはやはり光っている。硬骨老爺としてのバリモーアも生気がある。

ロッコ達は何を待っているのか。そのサスペンスがハリケーンの夜の恐怖と共に次第に濃厚になるが、漸く別のギャング団が到着する。ロッコは彼等に大量のガン造紙幣を売り渡す。商取引がすみ、嵐もおさまった。一味は出発するが、用意しておいたヨットが流されているので、ホテルのモオタア・ボートで逃亡する。フランクが運転に経験のあることを知られていたので、強制的に乗船させられる。

乗れば何れは殺されることがわかっている。ロッコに捨てられたゲイは、出発に際して間一髪の芝居をやって巧みにロッコのポケットからピストルを抜きフランクに渡した。このピストルによって海上で如何にして五名のギャングを退治するかというのが、最後のみものになっている。一應合理的にスジの通る退治かたをしている。しかしバコオルの描さにもよるが、主人公とノオラの恋の発生及びそれを暗示した結末は内面的裏付けがなく、お定まりの結びの感を深くする。

「マルタの鷹」、「黄金」の方がこれより新鮮味をおぼえ、監督ヒューストンとしても、あまり上等の出来とはいえず、内容は乏しい。しかし、単にスリルを味わう面白さというだけなら胸のたしかな一篇である。秋の洋画中で、十指に屈すべき力作。なお、トオマス・ゴメズ以下悪漢どもの助演者もよく揃えてあるし、トレヴォもバコオルよりは旨い。

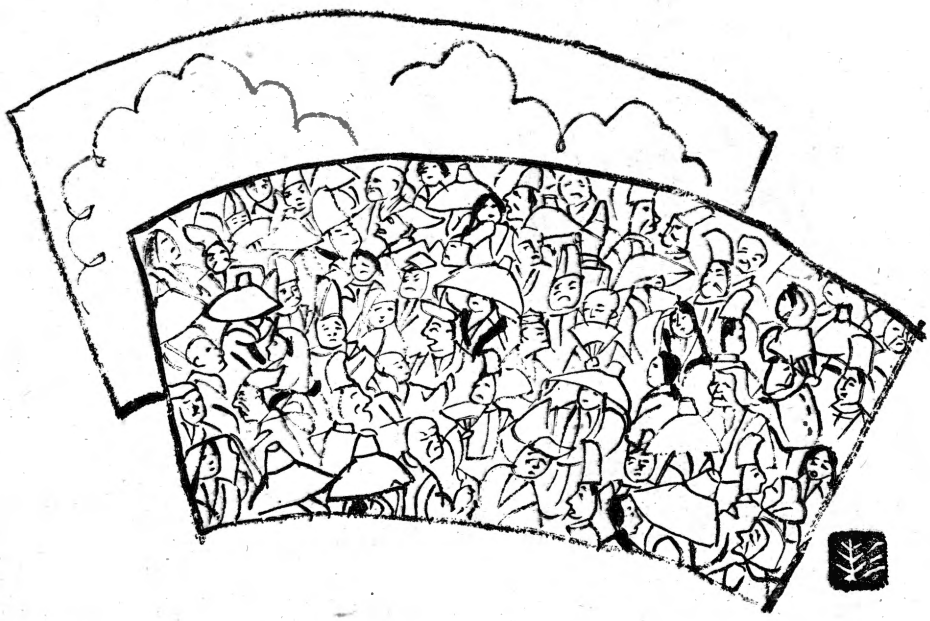
(Q)

長篇小説

新・平家物語

（第八十回）

吉川英治
杉本健吉・絵



白粉まだら

一

山は巨大な生き物に見える。生きてゐない山はない。まつ白な朝霧は山々の体温から立ち昇るものみたいに感じである。

をゝひ、きのふ、そして今日。鞍馬祭りも三日目の朝となつた。山上の曉闇は、萬燈の灯影と僧俗の人影に明け初め、読経の唱和と仏楽のうちに、けふも暑さうな六月末の太陽を、東方の峰々の上に見せてゐた。

『遮那王がきれいになつたよ』

『きれいになると、遮那王みたいぢやないや』

『でも、遮那王だらうおまへは。——返辞をしてごらんよ、遮那王』

稚子部屋の稚子たちは、みな化粧されてゐた。

同じやうに化粧されて、学問所の床に坐つてゐた遮那王を取り巻いて、彼の友達が揶揄ふのだつた。

『……なにさ。うるさいな』

今日の遮那王はとり澄ましてゐる。——髪を大きな稚子輪に結ひ、罌粟の花みたいな真つ紅な双の袂に、紫濃ぼかしの袴をはいて、導師のいひつけを、守つてゐた。

（暴れ廻つて、髪や化粧を崩してはならないぞ。きちんと坐つて、時刻を待つてをれ）

導師の命令は、さうであつた。

けれど稚子たちは、導師が去ると、とたんにはしやぎ出してゐた。何しろ、天上の御山が、下界と同じ世間になる。人間の匂ひや食物の匂ひに山が埋まつてしまふ。童心は浮かれ立たずにゐられなく。

跳んだり跳ねたりしないのは、ひとり遮那王だけである。けふは稚子行列だけでなく、遮那王の組は、舞殿に立つて舞ふ番だつた。

『それが心配なんだろ』

ひとりが又、からかつた。遮那王は顔を振つた。顔には白粉がほどこされ、描かれた黛が、悲しげな翳に見

えた。
『ちがふよ。ゆうべ、よく寝なかつたんだもの』
『うそ云へ。ぢやあ、どうして寝られなかつたんだい』
『うれしくてさ』
『うれしいつて』
『あゝ、うれしいんだ。今日がうれしくて、寝られなかつたのさ』
『ちえつ、ヘンな奴』と、稚子たちは、日頃とちがふ遮那王を軽蔑した。『――心配さうな顔したり、うれしいと云つたりさ！』そして皆、囃しながら廻廊の角へ走り出した。そこから見える景観に昂奮して、またべつな歓呼をあげ始めた。
『やあ、今日も大変な人だぞ』
『まだ、あんなに登つて来らあ。まるで、蟻みたいに、人がつゞいてる』
『どれ、どれ、どの辺……』と、欄にのぼり、柱にすがつて、騒いでゐた。
そのすきに、遮那王はついと立つて、自分の部屋へ馳けこんだ。そして机や書物の蔭から小さな厨子を取出した。厨子は捨てて父のかたみの観世音像だけを肌身に持つた。落さないやうにと、何度も内ぶところを確かめたり袴の紐を締め直した。
『遮那あつ。遮那王はどこか』
導師の声に、彼はあわてて、ばいつ、はいつ――と何度も答へながら馳け出した。
二十人もの稚子が、もう二列に並んでゐた。導師は、遮那王を見て、どなりつけた。
『こらつ、どこへ行つてゐたかつ』
『厠へ行つてをりました』
『うそをつけ。稚子部屋の方から出て来たではないか』
『はい。袴がゆるみましたから、はき直してをりました』

二

導師が先に立つて群集を掻分けてゆく。鞍馬楽人が鈴を振り鉦を叩きながらその後につゞく。次に、夜の行事の"竹伐"をやる大法師の一群と、稚子行列が練つて行く。――暑さと人出は刻々に増してゐた。
空には雲の峰が高い。
観音院、毘沙門堂、本坊などのいづこを見ても、人波の揺れでない所はなかつた。その中を、山上巡りの稚子行列は、揉みに揉まれながら、二刻ちかくも歩かせられた。稚子たちは白粉剥げのまだらな顔を汗にして、漸く童心の生地も剝き出してゐた。導師が何と叱らうと、列をくづしたり、ふざけたりして、やまなかつた。
遮那王は、こゝでも、おとなしい。彼は行列の一番しまひの方に尾いてゐた。始終、行儀よく、列に従つて歩いてゐる。けれど、遮那王の眼づかひは、たえず左右の群集に気をつけてゆく風であつた。――するとまた人混みの中からも、まゝ特殊な眼ざしを以て、彼の眼に応へる者が幾人もあつた。――お互ひに、眼と眼で頷き合ふやうな、そんな顔が時々、人波の中にあつて、遮那王をじつと見まもり――そして見送つてゐるのである。
山巡りが終ると、稚子たちは、日盛りの一定時間を、中食や化粧直しに休み、やがて又、選ばれた一組は、舞殿に立つて、稚子舞を舞つた。
その中に、遮那王もゐた。
楽座の奏楽者は、周山の楽師たちであつた。偶然か故意か、阿部麻鳥も、楽手の一人として交つてゐる。――遮那王は気づいたらしい。時折、彼の舞ひぶりに、些細ではあるが、過ちや乱れが見えた。
『むりもない。あの稚子はいちばん小さい』
人々はむしろ可憐なものに眺めて、折々、笑ひのさゞ波を立てた。
舞曲は幾番も進み、舞人も楽座も、番毎に変つてゆく。そしていつか山上は、無数の夜篝の煙りと、夕せまる色が濃くなつた。
『僧正坊の庭で、竹伐があるぞ』
『竹伐を見に行かう、竹伐を』
稚子溜りを抜け出した稚子たちの仲間に、遮那王も交つて、馳け出してゐた。観音院と僧正坊の境のあたり、大篝りが炎々と夜空の星を焦がしてゐる。
一山の僧衆が、修法の壇を繞つて、さかんな読経をあげてゐた。行事はその後であるらしい。太い青竹のたばが山と積んである。法衣の下に具足を着た荒法師が、長柄や太刀で、竹伐の競技をするらしかつた。
群集は修法に興味はない。後の竹伐を見ようとして、押し合ひへし合ひの噪ぎである。稚子たちは大人と大人の間を巧みに潜つて前へ出た。猶、うろ／＼してゐたのは、遮那王だけだつた。
すると、彼の姿を見つけて、つと走り寄つて来た男があつた。物も云はず、いきなり遮那王の稚子輪の頭の上から、羅の被衣とも云へるやうな布を、ふはりと、投げるやうに被せてしまつた。
『さ、若君、今ですぞ』
『正近か』
『いづれも、お供いたします。毘沙門堂の裏から、峰道へ』
『柵があるぞ。あの道にも』
『かまひません。いざ、お早く』
遮那王が走り出したのを見てから、鎌田正近は、二度ほど、するどく指笛を吹き、先の小さい影を慕つて馳け出した。
と。あたりの人混みのうちから、その影を見て、なほ二人、三人と続いてゆく同じやうな男があつた。
元より雑閙の中、夜の事、人はみな一方へ気をとられてゐたので、誰もこれには気づきもしない。
然し、程なくその竹伐の行事が始まつて、荒法師の面々が、各々、刀法の技を競ひ、時には喝采を浴びたり、時には周囲の笑ひどよめきを呼んだり、演者も見物も夢中になつてゐた頃である。突然、何事か起つたやうに、そこにゐた法師たちが、五人、十人と、果ては一人のこ

らず、どこへともなく駈け去つた。

『毘沙門堂の裏で、法師が斬られた』

と、誰ともなく、云ふ者があり、又、

『西の峠道でも、橋の番人が殺されたさうな』

とも聞え、やがては、取り殘された群集の間を、いろ〳〵な噂が、あらしのやうに伝はつた。

『山の稚子が一人、峠の橋を破つて、逃げたとかいふことだぞ』

『稚子が、法師や橋守を、斬つたのか』

『稚子ぢやない。斬つたのは、僧正ヶ谷の天狗らしい』

『祭りの人混みに、天狗もゐたのか』

『人か天狗か、よう知らぬが、天狗のやうに汎かつたといふ事だ。あれ〳〵、松明をかざした山の衆が、なほも山狩りに出て行くぞ。何とこれは、火祭りのやうな騒ぎに成りよつたぞよ』

三

楽人ばかりが大勢——周山の楽師も交つて、その夜、観音院の一室では、慰労の酒もりだつた。

そのうちに、こゝへも外の騒ぎが響いて、

『逃げたのは、けふの昼、舞殿で舞つた稚子の一人だといふが……そんな不敵な子が、あの舞の内に居たらうか』

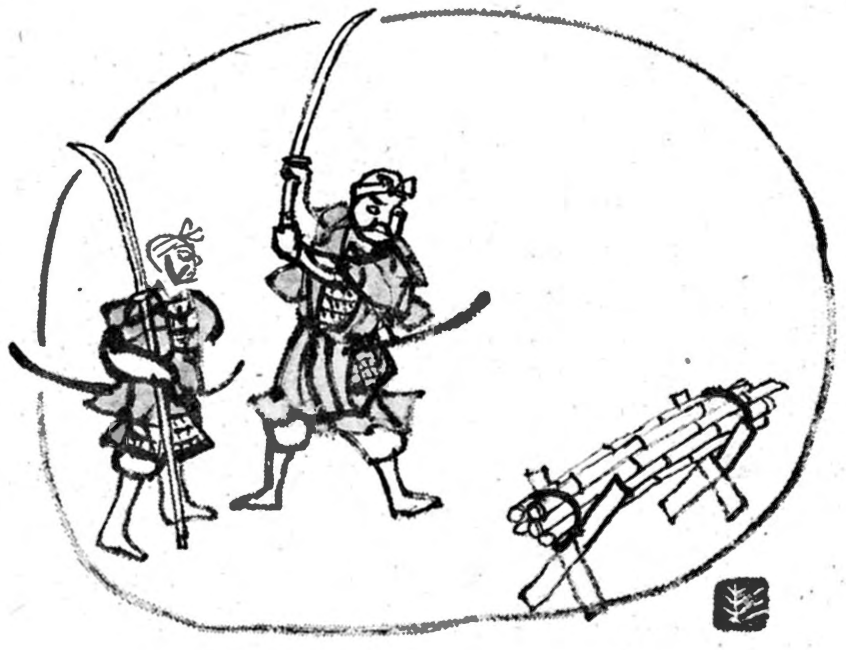
と、自分で伝へて来た噂を、自分で疑ふやうに、その者は、一同へ告げるのだつた。

一座に興まつて、数杯の酒に、もう燗を真つ赤にしてゐた麻島は、

『えつ、稚子衆の内の誰かが逃げたんですつて？』

さつと、酔をさましたばかりか、箸のさきに挟んでゐた里芋も膝に取落して——『そ、それは一体、何といふ稚子でせう。ほ、ほんとでせうか』と、左右の人々へ、首を長くして、臥きちらした。

『いや、まだよくは聞いて居ませんがね。一体、稚子衆には、事情のある子が多いのですよ。けれど、今夜のは、何でも六波羅から預かつてゐる厄介な子なんださうです。だから騒ぎも一通りではない。慕くすると、源氏の預かり人か何かぢやありませんかな』



悠々と、飲む者は、なほ飲んでゐる。

麻島は、忽ち、座から姿を消してゐた。いかに挙動を怪しまれたかといふ覚えもない。そのほか、何を顧慮してゐるゆとりもなかつた。たゞ心のどこかで頻りに「しまつた！」と悔い叫ぶものがあるだけだつた。悔いが、彼を走らせてゐるのである。——寒つ暗な鞍馬の西の峠道へ向つて。

『……しまつた！』

走りながらさま〴〵な感情は胸を駈けまはつてゐるが、噛ぎ出る声は、それだけでしかない。

と、われ知らず、燗にたれて来る涙だけであつた。

『あゝ、もう間にあはぬ。——追ひつけもせぬ。——何しにわしは駈け出したのか』

よろ這ひながら、峠の頂きに立つて、全身の汗を、宇宙の風に吹かれたとき、彼は自分の無力さに気がついた。別にこの世を動かしてゐる大きな力に跳ね返された気がしたのである。それを運命といふならば、まだ思考も充分に固まらない小さい一生命さへも、もうその運命環の外のものではない。

『……けれど、自分に、もつと強い愛情があつたら、あの和子の今夜の一歩を、思ひ止まらす事は出来なかつたものであらうか。わしに真実が足りなかつたのではあるまいか。——それとも、いかに生みの母御前が斬つても、他人が心をくだいても、つひに世の人の子は、世の必然と、本能の手招ぎには、つひに愛も道理も振向いてゐる遑なく、渦流の巷へ攫はしてしまふものなのか』

彼はもう歩く気力もない。

峠頂きの岩の一つに腰かけて、茫然、際涯もない星の夜を見てゐた。

こゝから覗けば、鞍馬山上といつてゐる所も、ほんの一峰の中腹でしかない。チラ〳〵瞬めいてゐる灯や鐘の何と他愛もない小ささであらう。十方にキラめく星と見くらべて、夢多い人間の子が、あの一つの灯にすら足りない生命と自分を観じるとき、山に縛られたまゝの生涯に甘んじてゐられるわけもない。

『けれど。……こよひ、この峠から外へ、黒白も分たず走り去られたあの和子の行くても——長かれ短かれ、嶮しい茨の道に極まつてゐる。……思ひやられることではある』

麻鳥は同時に、都の片隅に住んでゐるその子の母なる人の姿を思ひうかべた。世には子に泣く母が星の数ほども多いこの地上の広さと果てなき闇を眺めまはした。

その遮那王を追ふ松明であらうか。鞍馬と背なか合せの谷や嶺々たる山影の遠くにまで、火の紐とも見える赤い光が群れ乱れてゐた。

大天井

一

『貫船は危ない。貴船山にはすぐ手が廻つて来ようぞ』

『では、天ケ嶽を越えて、大原へ出るか』

『なほ悪い。法師暨が通ひ馴れてゐる叡山への裏道だらうが』

『では、どう落ちてゆくか』

『ひとまづ、雲ケ畑なる足立義数の小屋へ行かう。その上の思案がいゝ』

僧正ケ谷の谷底でよく聞くあの天狗たちの声と同じものである。

遮那王牛若をまん中に囲んで、一陣の山風にも似た迅さだつた。

渓流までは、馳げ上つて来たが、それから先、道らしい道はない。

然し道に関はつてゐる者共でもなかつた。木の根にすがり岩によぢ、忽ち次の一峰の嶮も越えてしまふ。

『あはゝゝゝ。あんな方角を、松明の群れが、走つてゆくわ』

一人が哄笑した。

まさに天狗と云つてよい空の声だ。

『お疲れでおはさう。誰ぞ、若君を負ひ参らせい』

すると、牛若が、

『なんの。疲れはせぬ』

凛と云つた。

やがて、雲ケ畑の木樵小屋へ着く。こゝの主は、鞍馬から一しよについて来た足立義数。附近にはなほ、入間余一郎、児玉次郎貞常、横山相模介などが、ちり〳〵に、猟師小屋や炭焼小屋をもつて住んでゐる。

『箱王。見張に立て』

『はい』

『鬼冠者と、小藤次も、外に立つて、見張をたのむぞ』

大勢は小屋の内にかくれた。

ともかく、こゝ迄が、のるかそるかであつた。一人が、ほつともたやうに、

『まづは、御大望の一歩。おつゝがもなく、祝着にぞんじ上げまする』

と、牛若へ向つて云つた。

切窓の星明りのほか燈火もない。牛若は、自分を囲む黒々としたものの中で、じつと、小さな体を硬めてゐた。少年の幻想をも超えた幻想が、事実となつて自分を取巻いてゐる。不敵な天性も、さすがわく〳〵顫いて居たにちがひない。

『祝ひにはまだ早い。秀衡殿も頼まじと、吉次にさへ計らずに決行したこと。鞍馬を脱け出すのは易いが、世を忍ぶこれからの道が難儀よ』

児玉次郎貞常は、この中での年長である。ぜひなく仲間の多数の意見には従つてゐたが、これが無謀の挙だといふ懸念は今も去らないらしい。さう、たしなめてからまた云つた。

『幸に、吉次との連絡がつけばよいが、さもなくば、これしきの同勢で、六波羅の追捕を破り、東国へ逃げのびて行かうなどといふ目的は、まるで夢のやうな希望でしかない。……危いのは、夜が明けてからの一日々々。一歩々々の行く先だ』

『然し、時期として、待てない時に来てゐたのだし……われ等の発意といふよりは、若君御自身のお望みだつた』

鎌田正近は、血気組の頭目である。当然、かう酬はずにゐられない。

『——吉次も頼まぬ、否といふなら、誰も頼まぬ。たとへ牛若一人でも、山を脱け出すぞ——といふ若君の仰せを聞いたとき、この上は是非もなしと、われ等の腹も極まつた事だつた。——今となつて、貞常の云ひ条は、ちと卑怯に聞ゆるぞ』

『いや、卑怯でない。大事の上にも大事をとるのがあたりまへだ』

『だが、すでに、議論の線は踏み越えた』

『いま初めて打明けるが、おれはおれ一存で、金王丸へあらかじめ今夜の挙を報らせておいた。その金王丸が見えぬゆゑ、じつは胸をいためてゐるのだ。義数の小屋へ来たら待ち受けてゐるかと思ひきや、こゝへ来ても見あたらぬし』

なほ、彼に云はせれば、由来、東国落ちに成功した落人はない。東国への通路は平家として最も眼を光らしてゐる所であり、宿駅や間道の守りにも、古くから組織がある。飛馬一鞭すれば、中央の令は、いたる所の関を閉ざす。

そんな嶮路は越えられるものではない。年来の計画どほり、おとなしく吉次に計つて、安全策をとるのが賢明といふものではないか。吉次の使の金王丸を待たう。金王丸はきつと来る。二心をもつやうな男ではない。——さう諄々と仲間を説いたのである。——で血気組もそれに傾いて、ともあれ、吉次の返答を待たうとなつた。

二

金王丸がこゝを尋ねあてて来たのは、夜明けに近い頃だつた。

『いや、慌てたなあ』と、彼は云ふ。

夜半と思つてゐた事が、突然、宵に起つたのみか、一同の後を追つても、所詮、天狗仲間の迅さには尾いて行けず、さん〴〵迷ひ歩いて来たのだといふ。

『いや、悪かつた。初めは、夜半といふ云ひ合せだつたが、きのふになつて、雑閙中の宵がよいと急に模様が変つてゐた。……然し落ち合へてよい倖せだつた。ところ

そこ迄には及び得ない奥州藤原氏の領野こそは、せまい日陸に生きる彼ら源氏の仲間には、陽あたりのいゝ魅惑の天地だつたに違ひない。そして、それへの魅惑と背景を通して、吉次の存在までが、何か一商人以上の、ふしぎな潜勢力を持つ感風的な人物に見えてゐたのは確かである。

『そこで、吉次殿には、何か良策でも和主に授けたか。それとも、飽くまで時機は早いと云つてゐるだけか。金王、まづ吉次殿の考へを聞かしてくれい』

——それからの肚だとしてゐるやうに、一同は金王丸の屑元を見まもつた。

金王丸は、それに答へた。

『もとより、かうなつても、吉次殿に心変りのある筈はありません。然し、あの人には、条件があります。——その条件が容れられなければ、若君の将来はひき請けられぬと云ひ切つてをる』

『条件とは』

『若君の身一つならお預かりしよう。けれど影身に添つてゐる天狗仲間は、今日を限りに、雲か霧となつて消え失せてくれ。——と、堅くそれを望んでゐた』

で、吉次殿は、どう云つてをるか』

『止めても止まらぬ事なら仕方がない。是非もないさと、笑つてゐましたよ』

『あはゝゝ。やはりわれ等と同じことだ。——』

みな笑つた。切窓の夜明けの色と共に、ほの〴〵とした行くてが何となく感じられ出した。

それ程に、やはり吉次といふ人物には、味方として彼を感じるとき、何か大きな量感と魅力があつた。たゞその魅力がどういふ形のものかが的確につかみ得ないために、折々、彼への疑念もわいて、全幅的には信じきれないで来たこの仲間だが、なほかつ彼の背後に藤原秀衡が在ることだけは否み得なかつた。広大にして平家の勢力も

『たに、われ等に退散しろといふのか』

『さうだ。若君の御安全を願ふならば……と』

『どうして、それが若君のお為であらうか』

『こゝは知らず、世間を天狗で渡つて歩くわけにはゆくまい。吉次殿の考へでは、若君のまはりに源氏が付き纏つてゐることは、何よりも、それ自体、危険な事としてゐるらしい』

『金王。わぬしも、それを良いと思ふか』

『よいと思ふ。……おれ達の役目は、もう済んだのだ。若君が鞍馬を出た今日を最後に、おれ達は、若君のお側から遠き消えるべきだと思ふ』

『そして、たゞお一人の若君を、どうするのだ』

『あとは、あの人が呑みこんでゐる』

『任せきるわけか』

『さうだ。——任せきれぬ程ならば、初めからこんな大事を吉次に打明けた人々の性根が疑はれると、吉次殿は申してをる』

『もし、間違つたら』

『仕損じたら、誰よりも、吉次殿自身、一命を賭に振つてしまふだらう。そんな念を押すのは愚だ。たゞ信じるか否か、それしかない』

他の信義を疑ふことは、自分が信義に薄いことを自白してゐるものにひとしい。さういふ心を卑しめ合つてゐた武門社会の者共だつた。なほ一抹の不安は抱いても、これ以上、吉次にたいして疑ひの言葉は誰も吐けなかつた。

けれど、若君自身はどうだらう。自然、人々は牛若の眸を窺つてゐた。そこで鞍田正近が——「お聞き及びの通りですが、若君はどう遊ばしますか」と訊ねると、牛若は生まれて初めて、可能と知つた希望に向つて、率直に云つた。それは少年らしい熱情と潤みをおびた魂の声でもあつた。

『わしは、この侭すぐ東国へ行くのは嫌だ。東国へ下れ

ば、また母君と会ふことは出来なくなる。皆と一しよでも、たゞ一人でもよい故、都へ出たい。……そして、母君にお目にかゝるのだ。わしは母君に会ひたい！……母君に会はせてくれい』

三

遮那王脱走の不始末を、山から六波羅の庁へ届け出て来たのは、夜明け頃であつた。

すぐ追捕使や放免（密偵）が全面的に動き出したことはいふ迄もない。

一隊の将兵は、鞍馬へ検分に来、べつに追捕の兵は、山に明るい法師等を先に立てて、山野を狩り立てた。

『案のぢやう蔭で助けた一群の曲者がある。——十五の稚子が、たゞ一人でやり得た事かは』

追捕の武将は、鞍馬の責任者から、事態の詳細を聞きとつた結果——この山を繞つて暗躍してゐたらしい源氏の幻の方を——より重大視して、

『ゆゝしき事だ』

と、さらに六波羅へ、数百名の応援を求めた。

それが着いたのは、午ちかい。鞍馬を中心として、あらゆる間道を塞ぎ、一つ一つ民家や山小屋も、詮議して行つた。

『いぶかしい山小屋や、百姓のあばら屋などが、人も見えず住み捨ててある』

さういふ幾軒の内から、土民の小屋にはあり得ない文書やら武器なども見出された。

『調べたあとの巣は、焼き払つてしまへ』

市原野から十三石山や市ノ瀬あたりへかけて、かうした黒煙りが、幾すぢも立ち昇つた。

その頃。——雲ケ畑の小屋を捨てて、棧敷ケ嶽を登りつめてゐた鎌田正近や児玉、足立、渋谷、秩父などの十数名は、

『では、この辺で別れよう。こゝは滋賀、丹波、山城の大天井、思ひ思ひに別れ去るには恰好な場所——』と、しばしの名残りを惜しまうため、各々、そこらの岩に腰を休めた。

金王丸は、たえず牛若に侍いて、手を取らぬばかり宥はつてゐたが、

『私ひとりは、都におはす間も、朝夕、よそながらお世話申しあげますが、吉次殿と一しよに奥州へお下りのときは、今日まで、お守りしてゐた者共は、もう誰一名もお側には居りません。まつたくのお独りにお成り遊ばすのですよ。お覚悟はよろしうございませうな』

と、囁いたりした。

牛若は、うなづいた。

そして、その代りにと、云ふやうに、

『金王。ほんとに、母君に会はせておくれだらうね。母君には、いつお会ひできるの』

と、幾度でも念を押すのだつた。

『吉次殿と相談して、吉次殿のよい思案をかりませう』

『そちの一存では出来ないのか。なぜ、吉次に計らねばいけないのかい』

『あの人との約束です。武士と武士との約束ですから』

牛若は、さう聞くと、黙つてしまつた。

『オ、、六波羅の追捕の兵だらう。……あれみろ、おれ達に代つて、おれ達の古巣を、焼き払つてくれてゐるやうだ。あはゝゝゝ、これは世話がなくていゝ』

遠い山蔭や麓から立つ煙りを眺めて、彼らは胸さまざまに、過去一齣の歳月を、その遠煙りに回顧してゐた。

『さ。——新しい明日からだ』

『秩父五郎は、どこへ行く』

『ひとまづ、丹波に身をかくす』

『足立義数。わぬしは』

『北滋賀へ落ちようと思ふ。——鎌田、わぬしは』

『おれも近江を越えて、尾張の知多へ忍びゆき、父鎌田兵衛政家が、頭殿（義朝）と共に討たれ給うた跡をよそながら弔ひたいと思つてゐる。……そして、頭殿がおん遺子の君を、かく守り育て、かく行く末を計らひ申して候ふと、亡父へお告げしたいと思ふ』

落ちる先、身をかくす工夫、それは思ひ思ひだつたが、他日、必ず会はうといふ約束は一つだつた。

一人々々が、牛若に別れを告げた。牛若は頷ぢゆうを涙にして、彼らの真情と、彼らの誓ひに、たゞ頷いた。幾たびも頷いた。

やがて、誰の声もしなくなつた。棧敷ケ嶽の上に、牛若と金王丸だけが残つてゐた。こゝは、鞍馬や貴船などよりも、はるかに高いので、陽が翳り出すと、忽ち去来する霧が渦をなして裾や袂を吹いた。

『牛若様。まだお歩きになれますか』

『歩けるとも』

『明日の夜には、都の灯が見られませう。さる所に、牛車がお待ちして居るはずです』

『えつ、牛車に乗つて。……そして、どこへ行くのか』

『さあ、どこでせうか。それは私もまだ知りません。けれど決して、御心配には及びませぬ。何事も、吉次殿がのみこんでをりますから。……吉次殿をお信じなされませ。もしあの人に異心が見えれば、この金王丸がたゞは措きません。刺し交へる迄も、生かしておくものでは御座いませぬ』

（つゞく）

新・平家物語「第二巻」
B6・函入り・本文二九六頁・付録と便覧一二頁・定価二八〇円（送料三五円）
★第一巻『ちげぐさの巻』重版発売中
★第二巻『九重の巻』（定価各二八〇円）
『ほげんの巻』・発売中

読者と編集者

大らかな清盛入道

新・平家物語面白く拝見しております。そこで杉本健吉氏に一言。

今年の春頃だと記憶しておりますが。清盛の顔を柔和に画いて子供さんに否定された云々の記事が出ており、私も日本史で習つた清盛入道の恐ろしい顔の印象しか無く、その後、杉本氏がどの様な清盛を画いてくれるか楽しみにしていたのですが、クローズ・アップされた清盛は一度も拝見出来ない様です。最近、浮世絵を調べていて偶然、鈴木春信の清盛と女（確か白拍子と思われます。）の絵を知り、その大らかな人間的な顔に一驚しましたので、吉川氏の文中からにじみでる人間味を遺憾なく描いて戴き、我我の歪められた清盛の印象を訂正して戴きたいと思い、一筆した次第。

絵からうける印象はより大衆的だと確信しております。（東京都荒川区日暮里町四の一、〇五七、出光氷）

「夏子の冒険」をめぐつて

この前の「私は魔女」に代る今度の三島さんの小説「夏子の冒険」を読んでいる者ですが、第八回目にかぶりついて一気に読み流し、思わず「うまい！」と膝を叩いた。小学五年生の男の子も、中学一年生の女の子も週刊朝日ファンですが、「魔女」の時に雑誌をとり上げて、その後再び読ませています。

この小説のプロットが、これからどう展開するか知りませんが、香りの強いエチケットが最高の迫力で人間を養つてくれる。このように人間を養う小説は、近ごろ全く旱天の慈雨だ。説教ぬきで人生に信頼を生みつけるこのようなものが、もうそろ〳〵出廻つてもよい頃だと思つていた所です。あまり強く心を打たれたので思わず知らずペンをとりました。（長野県松本市外浅間　斎藤知徘）

9月23日号週刊図書館でSUN・I氏は「さくらんぼ大将」について、こつぴどくやつつけておられますが、子を持つ親として私は全く同感です。これをお取上げになつた貴方に感謝いたします。

それにつけても、御誌に掲載中の小説「夏子の冒険」についてですが、どうでしようか、「夏子の冒険」は全く上流階級の、時間と金銭の遊戯にすぎない。血となり肉となるヒューマニズムのかけらもありません。（奈良県北葛城郡王寺町堀の内三七九一　荻原富男　公務員）

今週の表紙

美粧室

渡辺阿以湖

この絵は第二回日月社展に出品したものを新たに縮小して、描いたものです。原画は今少し縦長で上部は頭で切り、下部がありましたので構図としては今よりは見られるものだつたが、紙面の都合で切りました。でも描こうとした部分はほとんど見えております。

出品画そのまゝを表紙絵に使用することは日本画では稀で、まして私などは少々心配ですが、面白い傾向だと思います。先ず画面の中心の線にそつて顔や手など人物の主体を入れ、その左右に効果的に二、三のものを配しました。窓の明るさや、衣服の原色赤青などの連絡に、ある程度のほのかな逆光を取り入れ、美粧室の雰囲気を表現しようとしました。

（作者は日月社会員。伊東深水に師事。大正8年1月1日千葉生れ、昭和25年日展出品の「診療室」は白寿賞をうく——現住所 千葉県野田市清水六五五）

結婚式は明治記念館

鈴木警視総監の場合

10月7日号のニュースの背景、大阪警視庁の鈴木総監罷免問題を読んで、私は即座に、この総監を今、罷免させることは大阪市民の利益に反するのではないか、ということを直感した。

（1）問題の動機となつた清水市議の理由書の内容中、第一の物資欠乏で市民生活が苦しんでいる際、公舎にヤミ物資が持込まれたことや、ヤミ商人の邸宅の招宴に出席したことなどは今日の官吏の実情から見て大したことはない。現実の問題として取上げたら今日の官吏の幾何がその職に止まり得るか、と私は問返したい。

（2）罷免意見は市会議員や公安委員や又警官の間から出ている。大体、市会議員や公安委員と警視総監の関係は言わば相対立するもので、常日頃から権力関係その他から反目しあつていると見るのが普通で、大阪の警視総監は大阪市民のため活動すればよいので、その成績が上つていれば少々の不平など問題視するに当らない。

（3）週刊朝日の記者の描いている彼の人間像は清水市議の理由書に記しているのとは大分違う。察するに、清水市議の言うような行為があつたとしたら、それは常識から考えて許せる程度であろう。

大体、仕事を積極的にやることは官吏資出世の妨げということが常識とされている世の中で、同総

奈良には古き佛たち

法隆寺　東大寺　興福寺　薬師寺
唐招提寺　長谷寺　室生寺　当麻寺

近畿日本鉄道
本社　大阪市天王寺区上本町6

盤のやり方は大阪市民としては一層感謝して好いのではないか。（東京都目黒区金町一一〇の七　会社員　榎本喜三郎）

記事らしい広告？

9月30日付22頁最下段の広告は記事との限界が明確を欠き、幾分疑似記事的な取扱をされておりますが、これは昭和22年5月10日の日本新聞協会広告専門部会で、広告掲載規準が布かれ、①正当な広告主を保護する為に広告を浄化する②右に求めた規準によつて広告の価値を高める。

この二点を中心に「記事とまぎらわしき広告は拒否する」ことも含まれていると聞いております

うそしんぶん

入札

孤児生存者をどうか我々に探させて下さい。

——出版屋一同

外務省御中

（門司・ルポ生）

放送合戦

NHKと民間放送が空中でものすごい火花を散らすので、危くて飛べません。

——民間航空

（東京・斗木瓜）

自信アリ

来年のオリンピックの選抜種目にパチンコを加えて下さい。

——パチンコ狂

（香川・えんま）

念のため

アカハタが立つてても〝売約済み〟ではありません。

——日共本部

（岐阜・ステテコ）

が。（東京都板橋区上板橋三の六、三三六栗坂方　久知村）

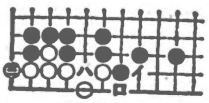
★広告と記事との間に念のため網をひいておくべきでした。これは編集のミスです。

表紙「夜」を讃える

御誌9月30日号の表紙、伊勢正義氏の「夜」は、何と清楚な作品であろうかと長時間眺めておりました。私は一年ほどの読者ですが、これほど情景の中に人物の崇高な知性とデリケートな光との一致を見た作品は、素人の感として、未だなかつたように思われました。

涙も、微笑も、苦悩も、快楽も、すべてを一つに浄化する真理の珠というものがあるとするならば、この「夜」の作者の精ではないでしようか。私は、ずぶの素人で鑑賞眼はありませんが、この作品の木ものの前に立つたら、何にも思うことも無い、神の、法の摂理が感得できるような、たまらない気持がいたしました。（愛媛県新谷局区内法眼寺主　八島竜晴）

解答



【詰碁】白先活。白一とコスム手が本題の主眼です。黒二と打てば白三で活。また黒二で三に打てば白二黒イ白ロで活。

白一をハにツグと黒三白二黒イでいわゆる六死八活の六死（二線を六本這つていることをいう）となつて白死です。

本題は白一が妙で一の手を考案された方が正解者です。

【詰将棋】8四金　9二玉　8三角　同銀　同金　同玉　8四銀　9二玉　9三銀成　同玉　8五桂　9二玉　9三金　8一玉　7三桂不成　7二玉　6一馬　7三玉　8三金迄　十九手詰。

【詰連珠】黒最初「9九」と打ちアト「11九」又は「11十一」で勝となります。

今こそ必要です

秋深まると共に　体力を創る絶好の時期です　若し食欲不振・倦怠感・体力消耗の激しい方は　今こそビタミンが必要！特にビタミン$B_1$2mg・C 30mg・葉酸0,1mgを含んだパラエス錠こそ最も効果的です

強力パラエス錠

SHIONOGI

塩野義製薬株式会社　（60錠 270円・20錠 100円）

電蓄はビクター

美しい音！ 正しい音！
ビクタートーン

電蓄は音が生命です……

ビクター電蓄は，電気的にも機械的にも，
そしてキヤビネツトさえも美しい音，正しい音を再生するために設計されています。
それはまたとないビクター独特の音の世界にあなたを誘います。
特約店に各種用意しておりますから御試聴御用命下さい。

世界のマーク

五球スーパーラジオ兼用
卓上型電蓄
SRE—17型　¥ 28,000

東京光学のカメラ 6×6 プリモフレックス

シヤッター
NKS B. 1～1/200
レンズ
トーコーデット付
F3.5f75mm
シンクロ同調発光装置付
ダイキヤストボデー

新発売
プリモフレックスII型
レンズJシムラーレンズ
1：3.5 F 75mm
四枚構成鏡玉（全面ハードコーテイング）
シヤッターさくら小西六製
コニラビットS B 1～1/500
自動巻取りストップ
透視ファインダー
（12月上旬発売予定）

御挨拶

プリモフレックス1A型発売以来絶大なる御愛用を賜り厚く御礼申上げます。皆様の御要望によりまして愈々お待兼ねのプリモフレックスII型を新発売致す事と成りました。東京光学機械株式会社が1A型発売以来一年有余の間今日迄数学的，光学的研究試作の結果，御目見得する事と成りました。東光が自信を持つてお薦め致しますプリモフレックスII型は必ずや皆様の御期待に添える事と存じます。何卒1A型に倍加して御愛用の程をお願い申上げます。

型録
（郵券同封）

発売元
株式会社 **大澤商會**
本店　京都市中京区三条通河原町東入ル
東京支店　東京都中央区銀座西二丁目五番地
支店　出張所　福岡・名古屋・札幌

週刊朝日 十月十四日号
大正十二年二月二十五日第三種郵便物認可
昭和二十六年十月十四日発行（旬刊発行）
通巻 第五十六巻第四十三号 千六百六十五号
編集人 扇谷正造
発行兼印刷人 春海織男
発売所 朝日新聞社
東京本社 東京中央郵便局区内 千代田区有楽町一ノ三
大阪本社 大阪中央郵便局区内 北区中之島三ノ三
西部本社 小倉郵便局区内 砂津宮田口北二八〇ノ一
中部支社 名古屋中郵便局区内 中区広小路二ノ二一
電話丸ノ内一三一一 振替東京一七三〇番
電話北浜 一三一一 振替大阪五五〇番
電話 二七八一 振替福岡一九六番
電話本局 二二六一 振替名古屋三八五八番
定価三十円（郵税三円）

ビニロンのシーズンが来ました

美しくて、温くて丈夫なビニロン新製品
が皆様の御愛用をお待ちしてゐます

靴下、肌着、服地
着尺、帯、洋傘
セーター、毛糸
家具用織物

合成繊維
倉敷ビニロン
商標名 クレモナ

全国百貨店
有名小売店 に発売中

倉敷レイヨン株式会社

高級毛織服地
ミリオンテックス

保証付耳マーク入の純毛製品
ミリオンテックスは経済的な広巾で仕立が容易しかも絶体無疵の優良毛織服地です。

東京都千代田区神田旅籠町一ノ四
大同毛織株式會社

凸版印刷株式会社印刷